## Parallels

# Remote Application Server

Copyright © 1999-2015 Parallels IP Holdings GmbH and its affiliates. All rights reserved.

Parallels IP Holdings GmbH Vordergasse 59 8200 Schaffhausen スイス Tel:+ 41 52 632 0411 FAX:+ 41 52 672 2010 www.parallels.com/jp

Copyright © 1999-2015 Parallels IP Holdings GmbH and its affiliates. All rights reserved.

この製品は、米国著作権法および国際著作権条約およびその他の知的所有権条約によって保護されています。製品の 基本となる技術、特許、および商標は、http://www.parallels.com/jp/trademarks に一覧表示されています。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、Windows Vista、および MS-DOS は、Microsoft Corporation の 登録商標です。

Apple、Mac、Mac ロゴ、Mac OS、iPad、iPhone、iPod touch、FaceTime HD カメラおよび iSight は米国およびその 他の国における Apple Inc. の商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds 氏の登録商標です。

ここに記載したその他のマークおよび名前は、それぞれの所有者の商標である可能性があります。

## 目次

2X Remote Application Server の概要	7
Parallels 2X Remote Application Server について	7
このドキュメントについて	8
バージョン 14.1 の新機能	10
2X Remote Application Server のインストール	11
システム要件	11
Parallels 2X Remote Application Server のインストールおよび構成	13
2X Remote Application Server を使用する前に	15
Parallels 2X Remote Application Server Console	15
SMB 環境の設定	17
サイトと管理者	22
サイトと管理	22
管理者:追加、管理、構成	29
ターミナル サーバー	35
ターミナル サーバーの追加	35
手動による 2X Terminal Server Agent のインストール	
ターミナル サーバーの構成	
ターミナル サーバーのグループ化	44
ターミナル サーバーからのデスクトップの公開	45
ターミナル サーバーからのアプリケーションの公開および構成	47
ターミナル サーバーからのドキュメントの公開	50
VDI ホスト	53
<b>VDI</b> ホストの追加	53
手動による 2X VDI Agent のインストール	55
アプライアンスのインストールおよび VDI ホストの構成	57
プールの構成と管理	62
ゲスト クローン用の 2X テンプレートの構成および管理	65

ゲストからのバーチャル デスクトップの公開 ゲストからのアプリケーションの公開 ゲストからのドキュメントの公開 リモート PC リモート PC の追加	72 74 76 79 79
ゲストからのアプリケーションの公開 ゲストからのドキュメントの公開 リモート PC リモート PC の追加	74 76 79 79
ゲストからのドキュメントの公開 リモート PC リモート PC の追加	76 79 79
リモート PC リモート PC の追加	79 79
リモート PC の追加	79
手動による 2X PC Agent のインストール	81
リモート PC の構成	83
リモート <b>PC</b> からのデスクトップ、アプリケーション、およびドキュメントの公開	87
公開およびフィルタリング	92
公開済みのアプリケーションの管理	92
公開デスクトップの管理	102
公開ドキュメントの管理	108
公開フォルダーの管理	118
ユーザー、クライアント、IP、MAC、ゲートウェイによるルールのフィルタリング	<sup>*</sup> 120
2X Secure Client Gateways	.129
2X Secure Client Gateway およびタイプ	. 129
2X Secure Client Gateway の追加	. 131
手動による 2X Secure Client Gateway の追加	. 133
2X Secure Client Gateway の管理	. 135
ゲートウェイのトンネリングポリシー	. 150
2X RAS ポータル	.153
Parallels RAS Web Portal:前提条件およびインストール	. 153
管理ページへのログイン	. 156
ファーム設定	. 156
一般設定	. 162
2X バックアップ サーバー	.174
<b>2X</b> バックアップ サーバーの追加	. 174
バックアップ サーバーの管理	176
ロード バランス	.179

リソース ベースのロード バランスおよびラウンド ロビンのロード バランス	179
ロード バランスの詳細設定	182
高可用性ロード バランス	183
2X ユニバーサルプリント	193
ユニバーサルプリントサーバーの管理	193
フォントマネジメン	195
2X ユニバーサルスキャン	198
ユニバーサルスキャンの管理	198
スキャン アプリケーションの管理	201
デバイスの管理	203
デバイスを接続するようユーザーを招待	203
デバイスのモニタリング	206
Windows デバイスの管理	207
Windows デバイスグループ	217
Windows デバイスおよびグループの電源サイクルのスケジューリング	220
Parallels 2X RDP クライアント設定の管理	223
レポート	226
2X レポートの展開および構成	226
Parallels 2X RAS レポート	230
接続および認証の設定	234
2X Publishing Agent の接続設定	235
二要素認証	237
<b>OS</b> ビルド番号によるアクセスの制限	238
2X Remote Application Server の管理	240
Parallels 2X Remote Application Server のステイタス	241
モニタリング カウンターおよび電子メール アラートの構成	242
Parallels 2X Remote Application Server の構成変更のモニタリング	245
ログの構成	247
Parallels 2X Remote Application Server の維持および構成のバックアップ	251
追加情報	1

トラブルシューティングおよびサポート	1
VDI Agent 技術文書インデックス	3
前のバージョンの文書	4

## 2X Remote Application Server の概要

#### この章の内容

Parallels 2X Remote Application Server について	7
このドキュメントについて	8
バージョン 14.1 の新機能	10

## Parallels 2X Remote Application Server につ いて

Parallels 2X Remote Application Server を使用すると、単一プラットフォームからバーチャ ル デスクトップおよびアプリケーションをベンダーに依存せずに配信できます。Parallels 2X Remote Application Server には、ネイティブ クライアントとウェブ対応ソリューション (Parallels RAS Web Portal など)を使用してあらゆる場所からアクセスできます。これを使 用することで、仮想環境内にあるすべてのデスクトップ、アプリケーション、ドキュメントを公 開でき、デスクトップの管理とセキュリティが強化され、パフォーマンスが向上します。

Parallels 2X Remote Application Server は、カスタマイズしたシェル と、Microsoft RDP プ ロトコルを介した仮想チャネル拡張を使用して、Windows ターミナル サービスを拡張します。 また、Microsoft 製、VMware 製など、すべての主要なハイパーバイザをサポートしており、バ ーチャル デスクトップやアプリケーションを Parallels 2X クライアントに公開できます。

この製品には、強力なユニバーサルプリント機能とユニバーサルスキャン機能、リソースベース の大容量ロード バランス、および管理機能が含まれます。

Parallels 2X Remote Application Server 用の Parallels 2X クライアント マネージャー モ ジュールでは、ユーザー接続のほか、無料の Parallels 2X RDP クライアントを使用してシン ク ライアントに変換した PC を集中管理することもできます。 仕組み

ユーザーがバーチャル デスクトップまたはアプリケーションを要求すると、システムは負荷の 最も低いホストの1 つを探し、ゲストの接続を開始または復元します。Microsoft RDP プロト コルを使用して、バーチャル デスクトップまたは公開済みのアプリケーションがユーザーに提 供されます。

ユーザーは、Windows、Linux、MAC、Android、Chrome、iOS で実行できる無料の Parallels 2X RDP クライアントを使用して、Parallels 2X Remote Application Server に接続できます。ユーザ ーは HTML 5 ブラウザーまたは Chromebook を使用して接続することもできます。

Windows XP はすでにサポート終了を迎えました。Vista もまもなくそれに続きます。その後 Windows 7、8 もサポート終了を迎えます。ビジネスの移行コストをどのように抑えることがで きるでしょうか?Parallels 2X RAS が役立つ場合があります。[デスクトップを置換] を使用す ることで、ハードウェア寿命を延長し、最新 0S への移行をユーザーに最も適した時期まで遅ら せることができます。Parallels 2X ソリューションを使用すると、非常に柔軟に対応できます。 たとえば、ユーザー側のマシン構成をロックすることで、企業データを極めて安全な場所に配置 することができます。また、ユーザーが実行できるアプリケーションを、一部のローカルまたは リモート アプリケーションに限ることもできます。Parallels 2X Client の [デスクトップを 置換]を使用すると、最もよく使用するローカル構成オプションを無効にすることで、ローカル マシンの操作性を低減できるとともに、シン クライアントによって既存の PC から直接提供さ れる同レベルのサービスとセキュリティが保証されます。

#### このドキュメントについて

はじめに

この製品マニュアルは、Microsoft ターミナル サーバーに習熟し、中程度のネットワーク知識 を有している読者を想定しています。

すべてのタイトル、ラベル、名前(製品機能、ボタン、リンクなど)は太字で記述されています。

#### 用語

カテゴリー

カテゴリーは、特定のタスクまたは操作に関連する多くの設定で構成されます。Parallels 2X Remote Application Server Console では、次のカテゴリーを使用できます。

- ファーム
- ロード バランス
- 8

- 公開
- ユニバーサルプリント
- ユニバーサルスキャン
- 接続
- クライアント マネージャー
- ・ ポリシー
- 管理
- 情報
- ・ レポート
- ライセンス

ファーム

ファームは、1 つまたは複数のサイト上の Parallels 2X Remote Application Server インスト ールで構成されます。

ライセンス サーバー サイト

メインの構成データベースが保存されているサイトであり、2X ファーム内の他のすべてのサイトを管理します。メインのライセンス サーバーを利用できない場合、サイト内の他のサーバーをライセンス サーバーにアップグレードできます。注意:Parallels 2X Remote Application Server のアップグレードは最初にライセンス サーバー サイトに適用する必要があります。

公開

リモート デスクトップ サーバー、VDI ホスト、またはリモート PC にインストールされたアイ テムを Parallels 2X Remote Application Server を介してユーザーが利用できるようにする行 為。

Publishing Agent

Publishing Agent は、公開済みのアプリケーションおよびデスクトップのロード バランスを提供します。

RDS

リモート デスクトップ サービスは、Windows Server のサーバー ロールです。このテクノロジ ーによって、ユーザーはバーチャル デスクトップおよびセッションベースのデスクトップにア クセスできます。RDS は、Windows 2008 R2 以降で使用されているターミナル サービスを置き 換えます。

#### サイト

サイトは、ターミナルサーバー、VDI、および PC にインストールされた1つの Publishing Agent、 1 つの Secure Client GW または複数のゲートウェイ、およびエージェントで構成されます。

#### バージョン 14.1 の新機能

新しい Parallels 2X Remote Application Server バージョン 14.1 は製品のローカライズに焦 点を当てており、新しい言語サポートを導入します。また、すべての Parallels 2X 製品が再ブ ランド化されました。主な新機能を以下に示します。

Parallels 2X 製品の再ブランド化

製品名、アイコン、リファレンスがすべて更新され、ブランドがより明確になり、Parallels 2X Remote Application Server およびすべてのコンポーネントに対する指示が明確になりました。

Parallels 2X のローカライズ

製品がローカライズされ、以下の言語が導入されました。

- イタリア語
- スペイン語
- ロシア語
- 日本語
- ポルトガル語
- フランス語

Parallels 2X Remote Application Server V14.1 の他の改良点

- フォワーディング ゲートウェイのための RDP UDP サポートの追加
- プリンター/スキャン デバイスの追加/削除時のマルチスレッドの追加
- UI の変更

## 2X Remote Application Server のインス トール

この章の内容

システム要	要件.							11
Parallels	2Х	Remote	Application	Server	のインス	トールおよ	び構成	13

## システム要件

ソフトウェア要件

Parallels 2X Remote Application Server のコアコンポーネント (2X Publishing Agent および 2X Secure Client Gateway) が Windows 2003、Windows 2008、Windows 2008 R2、Windows 2012 および Windows 2012 R2 Server オペレーティング システムにインストールされている必要があります。

推奨:DHCP サーバーを実行しているドメイン コントローラやその他のサーバーに Parallels 2X Remote Application Server をインストールしないでください。

ターミナル サービス/リモート デスクトップ サービスを有効にしている Windows Server 2003 SP1、Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2 Server オペレーティング システムに Parallels 2X Terminal Server Agent をインストー ルする必要があります。

Parallels 2X RDP クライアントは以下のオペレーティング システムで認定されています。

- Windows XP SP3
- Windows Vista
- Windows 2003 SP1
- Windows 7
- Windows 8.8.1
- Windows CE

- Windows Embedded
- Mac 10.5.x 以上
- iOS (iPhone および iPad)
- Android 1.5 以上
- Ubuntu 12.04 LTS, 14.04 LTS, 15.04 LTS
- OpenSuse 13.1, 13.2
- Fedora 20, 21
- Linux Mint 17 LTS (Qiana) 、 Linux Mint 17 (Rebecca)
- Debian 6 (Squeeze) 、 Debian 7 (Wheezy)
- CentOs 6
- Chrome OS

ハードウェアの最低要件

Parallels 2X Remote Application Server は、物理プラットフォームおよび仮想プラットフォーム上で広範囲にわたるテストが実施されています。Parallels 2X RAS を実行するうえで認定 されたハードウェアの最低要件を以下に示します。

- 物理マシン デュアル コア プロセッサ、最小 4GB の物理メモリ。
- 仮想マシン 2 x 仮想プロセッサ、最小 4GB の仮想ハードウェア メモリ。

Parallels 2X Remote Application Server のスケーリングに関する一般的なガイドラインにつ いては、次のサイトを参照してください。 http://www.2x.com/2x-server-hardware-requirements/ http://www.2x.com/2x-server-hardware-requirements/

各機能のポート要件については、次のサイトを参照してください。 http://www.2x.com/firewall-requirements-2x-remote-application-server/ http://www.2x.com/firewall-requirements-2x-remote-application-server/

## Parallels 2X Remote Application Server のイ ンストールおよび構成

Parallels 2X Remote Application Server のインストール

**注意**: Parallels 2X Remote Application Server をインストールするには、管理権限のあるアカウントを使用してログインする必要があります。インストールを実行する前に他のすべての Windows プロ グラムを閉じてください。

- **1** マシンにログインし、Parallels 2X Remote Application Server の最新バージョンを 2X の ウェブサイト (http://www.2x.com/ras/download/) からダウンロードします。
- 2 2xAppServer.msi をダブルクリックし、Parallels 2X Remote Application Server のインストール ウィザードを起動します。プロンプトが表示されたら[次へ]をクリックします。
- 3 エンド ユーザー使用許諾契約書を確認および承認して、[次へ]をクリックします。
- 4 Parallels 2X Remote Application Server のインストール先のフォルダーの場所を指定し、 [次へ] をクリックします。
- **5** Parallels 2X Remote Application Server のデフォルト インストール用の [Parallels 2X Remote Application Server] オプションを選択し、[次へ] をクリックします。
- 6 [インストール]をクリックしてインストールを開始します。すべてのファイルがコピーされ、 2X Application Server サービスがインストールされます。
- 7 準備が完了したら、[完了] をクリックします。

Parallels 2X Remote Application Server 管理者アカウントの構成

Parallels 2X Remote Application Server Console を初めて起動するときに、次の図のように、 ユーザー名とパスワードを FQDN 形式(例:administrator@domain.local) で入力する必要があ ります。指定したユーザーは自動的に Parallels 2X Remote Application Server 管理者として 構成されます。Active Directory またはローカル マシンの任意のユーザー アカウント認証情 報を使用して、Parallels 2X Remote Application Server がインストールされている場所にロ グインします。

Parallels 2X Remote	Application Server
Para	llels"
フーザータ:	administrator@2x.testing
	user@domainの形式で入力してください
パスワード:	<b> </b> ••••••
	▼ 認証情報を記憶する
	接続 キャンセル

Parallels 2X Remote Application Server Console の初回のログイン プロンプト

## 2X Remote Application Server を使用す る前に

この章の内容

Paralle	ls 22	X Re	emote	Appl	ication	Server	Conso	le	 	 • • •	 ••	15
SMB 環境	意の影	と定.							 	 	 	17

## Parallels 2X Remote Application Server Console

はじめに

Parallels 2X Remote Application Server の基本機能の 1 つに、シームレスなアプリケーショ ンをユーザーに個々に公開できることが挙げられます。つまり、ユーザーには、アクセス権が与 えられたアプリケーションのみが表示されます。ターミナル サービスの完全なデスクトップは 表示されません。

Parallels 2X Remote Application Server は Parallels 2X Remote Application Server Console から管理できます。このコンソールを使用して、アプリケーションまたはデスクトップを公開したり、ファームに VDI ホストのターミナル サーバーを追加したり、Parallels 2X Remote Application Server 構成およびその他の構成の変更をバックアップしたりします。



Parallels 2X Remote Application Server Console のレイアウト

Parallels 2X Remote Application Server Console

セクション1:このセクションにはすべてのカテゴリーが含まれます。

セクション2:この情報バーの左側には現在ログインしているサイトが表示され、右側には現在 ログインしているユーザーが表示されます。

セクション 3:このツールバーから公開ウィザードを起動できます。

セクション 4:ファームおよび公開のカテゴリーでのみ利用できます。ナビゲーション ツリー を使用して、該当カテゴリーに関連するオブジェクトを参照できます。

セクション5:このセクションには、ファーム内のサーバー、公開済みのアプリケーションのプ ロパティなど、選択したオブジェクトまたはカテゴリーのプロパティが表示されます。 セクション 6:このセクションには、最新のコンソール通知が表示されます。

#### SMB 環境の設定

このスタートアップ ガイドでは、Parallels 2X Remote Application Server がインストールさ れているサーバーを、ターミナル サーバーとしてファーム内のサイトに追加し、そこからアプ リケーション (2X Application Server Console) を公開する方法について説明します。

ターミナル サーバーの追加

- **1** Parallels 2X Remote Application Server Console を起動し、[ファーム] カテゴリーを選 択して、ナビゲーション ツリーから [ターミナル サーバー] をクリックします。
- 2 [タスク] ドロップダウン メニューから [追加] を選択し、セットアップ ウィザードを起動 します。プロンプトが表示されたら、サーバーの FQDN または IP を入力します。この場合 は、Parallels 2X Remote Application Server サーバーの IP アドレスを入力し、[次へ] を クリックします。

サーバー追加		? ×
サーバー(5): 「	çample	次

ターミナル サーバー ウィザードの最初のステップ

**3** 次のステップで、Parallels 2X Remote Application Server は 2X Agent がサーバーにイン ストールされているかどうかを確認します。確認したら、[追加]をクリックして、サーバー をファームに追加します。

1	ニージェント情報			? ×
	サーバー: エージェント: バージョン: ターミナルサービス: osタイプ:	10.124.4.19 確認されませんでした。 N/A N/A		OK
	ステイタス: 接続中	です	-Jb( <u>D</u> )	

2X Terminal Server Agent の確認

アプリケーションの公開

以下の手順では、Parallels 2X Remote Application Server Console をアプリケーションとして公開する方法について説明しますが、必要な他のアプリケーションも公開できます。

**1** [公開] カテゴリーを選択し、コンソールの上部メニューから [アプリケーション] アイコン をクリックして、ウィザードを起動します。

サーバータイプの選択	? ×
公開するサーバータイプを選択してください	
● ターミナルサーバー(I)	
ターミナルサーバーからアイテムを公開する。	
○ 仮想ゲスト(⊻) 🔛	
仮想ゲストからアイテムを公開する。	
୦ ሀቺ፦ト PC( <u>R</u> )	
リモートPCからアイテムを公開する。	
< <u>Back</u> <u>Next</u> > Cancel Help	

アプリケーション公開ウィザードの最初のステップ

- **2** ウィザードの最初のステップで、[ターミナル サーバー]を選択し、[次へ] をクリックしま す(上のスクリーン ショットを参照)。
- **3** 次のステップで、[導入されたアプリケーション]を選択し、サーバーにインストールされた アプリケーションのリストからアプリケーションを選択して、[次へ]をクリックします。

 4 [2X] > [ApplicationServer] ノードを展開し、[2X Remote Application Server Console] を 選択して、Parallels 2X Remote Application Server Console を公開します(以下のスクリ ーンショットを参照)。

導入されたアプリケーション	? ×
公開するアプリケーションをリストから選択してください:	
Parallels 2X Remote Application Server Console         Parallels 2X Remote Application Server Manual         Parallels 2X Remote Application Server Manual         RAS Log Viewer         RAS Monitor         Administrative Tools         DAEMON Tools Lite         Google Chrome         Maintenance         Microsoft SQL Server 2008         Microsoft SQL Server 2008 R2         Startup         Windows Media Player	
< Back Finish Cancel	Help

Parallels 2X Remote Application Server Console を選択して公開する

5 準備が完了したら、[完了]をクリックします。

#### デスクトップの公開

以下の手順では、Parallels 2X Remote Application Server がインストールされているサーバ ーのデスクトップを公開する方法について説明します。

- システムメニューから[公開]をクリックし、コンソールの上部メニューから[デスクトップ]アイコンをクリックして、ウィザードを起動します。
- **2** ウィザードの最初のステップで、[ターミナル サーバー デスクトップ]を選択し、[次へ] を クリックします。
- 3 次に、デスクトップの公開元のサーバーを 1 つまたは複数選択します。

4 ウィザードの3番目のステップで、共有デスクトップの[名前]と[説明](必須)を指定し、アイコン(オプション)を変更します。[コンソールに接続]オプションを有効にします。 これで、ユーザーは仮想セッションではなくコンソールに接続します。

デスクトゥブ		? ×
- V A		
「デスクトップ ――		1
名前( <u>M</u> ):	My desktop	
፤说明(₽):	Desktop	
	アイコン変更( <u>G</u> )	
אייאעב 🗖	接続(⊆)	
<u>┌</u> デスクトップサイズ	ς	1
サイズ( <u>Z</u> ):	フルスクリーン	
	幅(W): 高さ(H):	
	< Back Finish Cancel Help	1

デスクトップ公開ウィザードの2番目のステップ

5 上のスクリーンショットに示されているように、ウィザードの3番目のステップでは、[サイズ]ドロップダウンメニューからデスクトップのサイズと解像度も構成できます。構成が完了したら、[完了]をクリックしてデスクトップを公開します。

#### 第 4 章

#### サイトと管理者

この章の内容

サイト	と	管理			 	•••		•••	 	••	 •••	 		•••	 •	 		•	 22
管理者	• :	追加、	管理、	構成.	 		•••	•••	 	•••	 •••	 	••		 •	 •••	•		 29

#### サイトと管理

Parallels 2X Remote Application Server ファームには複数のサイトを含めることができ、各 サイトを異なる管理者が管理できます。

サイト

Parallels 2X Remote Application Server ファームには複数のサイトを含めることができます。 各サイトは、ターミナル サーバー、VDI、および PC にインストールされた 1 つの Publishing Agent、1 つの Secure Client GW または複数のゲートウェイ、およびエージェントで構成され ます。少なくとも 1 つのサーバーをサイト専用とする必要があり、そのサーバーにマスターの Publishing Agent とゲートウェイをインストールします。

Parallels 2X Remote Application Server ファームに追加される 1 番目のデフォルト サイト はライセンス サーバーです。ここに、メインの Parallels 2X Remote Application Server 構 成データベースを保存します。ファーム上の他のすべてのサイトの構成データベースには同期さ れたコピーがあります。特定のサイトに変更が適用されると、ライセンス サーバー データベー スが更新されます。 サイトは、[ファーム] カテゴリーで利用可能なナビゲーション ツリーの [ファーム] ノードか ら管理できます。

🚟 Parallels 2X Remote A	pplication Se	erver Console				_ 🗆 ×
ファイル(F) 表示(V) 言語(	L) ヘルプ(H)					
E. 1.	<b>—</b>	<b>-</b>				
アプリケーション グループ	デスクトップ	既存のアプリケーション	ドキュメント			
サイト2XRAS 👻					administrator@2x.tesl	ing 🔻
レンジョン ファーム ファーム ロードがランス 公開		- <b>2XRA52008</b> KRA5 ムデザイン ナルサーバー tスト トPC ウェイ アップ サーバー	ファーム情報 ファーム名: サイト 2XRA5 Site 2	2XRAS2008 2XRAS2008 メインのPublishing Agent 2XRAS2008 10.124.4.19	ファーム名の変更(C のの変更) クライオリティ ライセンスサーバーサイト セカンダリーサイト	) 2 • 11 12 13 14 14 14 14 14 14 14 14 14 14
ユニバーサルプリント シュニバーサルスキャン	— <b>《</b> 》 設定					
接続			•			
クライアントマネージー	情報 このセクション	では、サイトの追加または	削除、またはファ	マーム名の変更ができます。		
				閉	じる(⊆)	Help

Parallels 2X Remote Application Server のサイトの構成

**注意**:[ファーム]ノードを使用できるのは、そのファームに対してすべて許可されている管理者のみです。管理者と権限の詳細については、管理者に関するセクション(ページ)を参照してください。

ファームへの新しいサイトの追加

Parallels 2X Remote Application Server ファームにサイトを追加するには、以下の手順を実行します。

1 ナビゲーション ツリーの [ファーム] ノードをクリックし、緑のプラスボタンをクリックして、サイトの追加ウィザードを起動します。または、[タスク] ドロップダウン メニューから [追加] オプションを選択することもできます。

2 ウィザードの最初の手順では、[サイト]入力フィールドでサイト名を指定し、[サーバー]入 カフィールドで、マスターの Publishing Agent とゲートウェイのインストール先であるサ ーバーの IP または FQDN を指定します。

サイト追加		? ×
ታイト፡	Site 2	次
サーバー(5):	10.124.4.19	472011

新しいサイトの追加ウィザードの最初のステップ

3 ウィザードの 2 番目のステップで、Parallels 2X Remote Application Server は 2X Publishing Agent がサイトのサーバーにインストールされているかどうかを確認します。イ ンストールされていない場合は、[インストール] をクリックしてリモート インストールに 進みます。

2X サイトマスター サーバー プロパティ	?×
サーバー( <u>s</u> ): <mark>2XRAS2008</mark> バージョン: N/A OSタイプ: N/A	OK キャンセル
ステイタス: 接続中です インストール	

新しいサイトの追加ウィザードの2番目のステップ - Publishing Agent の存在の確認

**4** [2X Terminal Server Agent のインストール] ダイアログで、2X Terminal Server Agent の インストール先のサーバー名を選択します(以下のスクリーン ショットを参照)。 5 (オプション)別の認証情報を使用してサーバーに接続し、2X Agent をインストールするに は、[認証情報の上書き]を選択し、その認証情報を指定します。

2X Publishing Agent をインストールしています	? ×
サーバー	
サーバー(5); 10.124.4.19	12/11/10
O5: Windows (x32)	
55Hポート(R): 22 デフォルト	
□ 認証情報の上書き(V)	
ユーザー名(U);	
パスワード(P):	
ステイタス 進行 サーバー ステイタス タイプ ▼ 10.124.4.19 待機 パックアップサーバー	

[2X Terminal Server Agent のインストール] ダイアログ ボックス

- 6 [インストール] をクリックして Publishing Agent とゲートウェイをインストールし、イン ストールが正常に終了したら[完了] をクリックします。
- 7 サイトの追加ウィザードの最後のステップで、[OK] をクリックします。

サイト構成へのアクセス

新しいサイトを作成したら、サイト サーバーで Parallels 2X Remote Application Server Console を実行するか、Parallels 2X Remote Application Server Console からサイトの構成 に切り替える(次のセクション「各サイトの構成間の切り替え」を参照)ことで、作成したサイ トの構成にアクセスできます。

注意: Parallels 2X Remote Application Server Console を実行するときは、サイト サーバーから 実行する場合であっても、ライセンス サーバーに常に接続している必要があります。変更を適用する と、構成の変更がライセンス サーバーからサイト サーバーに複製されます。 各サイトの構成間の切り替え

Parallels 2X Remote Application Server Console では、1 度に 1 つのサイトの構成のみを表示できます。ファーム管理者としてログインした場合、ライセンス サーバー サイトの構成がロードされます。特定のサイトへのアクセス権を持つ管理者としてログインした場合、そのサイトの構成がロードされます。

Parallels 2X Remote Application Server Console で各サイトの構成間を切り替えるには、以下の手順を実行します。

- **1** [ファーム] カテゴリーを開き、ナビゲーション ツリーから [ファーム] ノードをクリック して、ファーム内のサイトのリストにアクセスします。
- 2 構成するサイトを [タスク] ドロップダウン メニューから選択し、[このサイトへ切り替える] を選択します。または、上部バーを使用して、切り換え先のサイトを [サイト] ドロップダウン メニューから選択することもできます。

🛣 Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)			
E I E E E E E E E E E E E E E E E E E E	ی ۲×لو		
サイト2xras 👻			administrator@2x.testing 🔻
ファーム       ファーム       マァーム - 2XRAS2008         ファーム       サイト - 2XRAS         レードバランス       マーム デザイン         レードバランス       シーン         レードバランス       リモートPC         レードバランス       ゲートウェイ         レードバランス       ジゲートウェイ         エニバーサルプリント       ジジェ         レードリルスキャン       ジシェ	ファーム情報 ファーム名: 型 サイト 2XRAS Site 2	RA52008 メインのPublishing Agent 2XRA52008 10.124.4.19	ファーム名の変更(C) ③ ● タスク ▼ フライオリティ 住 ライセンスサーバーサイト ④ セカンダリーサイト 小
接続	■	シの変更ができます。	<u> </u>
	11 JF4 ( O(C)O / J ( D)		
		閉	්බ්(⊆) Apply Help

[ファーム] ノードから複数のサイトを管理

サイトの管理

サイトは、[ファーム]カテゴリーで利用可能なナビゲーション ツリーの [ファーム]ノードから管理できます。このセクションから、ファーム名の変更や、サイトの追加または削除ができます。

すべてのサイトへのサイト設定の複製

サイトに依存するあらゆる設定を他のすべてのサイトに複製できます。他のサイトにどの設定を 複製できるかについての詳細は、以下の表を参照してください。

Category	Section	Options
Farm	VDI Hosts, Persistent Guests	Auto removal timeout
Farm	Settings, Auditing	All Settings
Farm	Settings, Global Logging	Logging Settings
Farm	URL Redirection	All Settings
Load Balancing	Load Balancing	All Settings
Publishing	Advanced, Shortcuts	All Settings
Publishing	Advanced, Extensions	All Settings
Publishing	Advanced, Licensing	All Settings
Publishing	Advanced, Display	All Settings
Publishing	Filtering, User	All Settings
Publishing	Filtering, Client	All Settings
Publishing	Filtering, IP Address	All Settings
Publishing	Filtering, MAC	All Settings
Universal Printing	Universal Printing	Printer Renaming
Universal Printing	Font Management	All Settings
Universal Scanning	Scanning Applications	All Settings
Connection	Authentication	All Settings
Connection	Second Level Authentication	All Settings
Connection	Allowed Devices	All Settings
Reporting	Reporting Engine	Reporting Engine Type
Reporting	Engine specific settings	All Settings

特定の設定を他のすべてのサイトに複製するには、[設定を複製する]オプション(以下のスク リーンショットで選択されている)を選択します。

器 Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
E I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	
サイト2XRAS ▼	administrator@2x.testing 🔻
アーム・2XRAS2008         アーム         アートウ         アーサードウェイ         アーサルフリント         アーサルフリント         アーサルスキャン         予済病         クライアントマネージャー         アートマ         アーレー         アー         アー         アー         ア         ア         ア         ア         ア         ア         ア         ア         ア </th <th>ゴ グローバル ロギング URLUダイレクト     ボのプロセスのフィルタリング(F):     ・    ・    ・    ・    ・    ・    ・     ・</th>	ゴ グローバル ロギング URLUダイレクト     ボのプロセスのフィルタリング(F):     ・    ・    ・    ・    ・    ・    ・     ・
ポリシー ・	
	閉じる(C) Apply Help

構成変更を他のすべてのサイトに複製することを有効にする

複製されたサイト設定の上書き

複製設定を有効または無効にする権限を持つ管理者が特定の設定を変更すると、その設定は他の すべてのサイトに複製されます。

特定のサイトへのアクセス権のみを持つ管理者が、複製されたサイト設定を変更すると、複製さ れた設定は上書きされ、[設定を複製する]オプションが自動的にオフになります。そのため、 その設定は他のサイトに複製されなくなります。 サイトをライセンス サーバーとして設定する

ライセンス サーバーに障害が発生し、別のサイトをライセンス サーバーとして設定する場合、 ナビゲーション ツリーの [ファーム] ノードからサイトの名前をクリックし、[タスク] ドロッ プダウン メニューから [サイトをライセンス サーバーとして設定する] を選択します。

#### 管理者:追加、管理、構成

複数の Parallels 2X Remote Application Server 管理者を持つことができます。この管理者は ファームとファーム内のサイトの管理および構成ができます。特定のカテゴリーおよびサイトに アクセスを制限するように権限を構成することもできます。

Parallels 2X Remote Application Server を Active Directory 環境にインストールする場合、 昇格された権限とインストール ディレクトリへの書き込みアクセス権を持つユーザーを Parallels 2X Remote Application Server 管理者として構成できます。

#### サイトと管理者

Parallels 2X Remote Application Server をスタンドアロン マシンにインストールする場合、 昇格された権限とインストール ディレクトリへの書き込みアクセス権を持つユーザーを Parallels 2X Remote Application Server 管理者として構成できます。



管理カテゴリーからの管理者の管理

デフォルトの Parallels 2X Remote Application Server 管理者

Parallels 2X Remote Application Server Console への最初のログイン時に指定したユーザー が自動的にすべて許可され、そのユーザーはファーム内のすべてのタスクを実行できます。ファ ームには、すべて許可された 1 つ以上の有効な管理者が常に必要です。

管理者アカウントの追加

Parallels 2X Remote Application Server に管理者アカウントを追加するには、以下の手順を 実行します。

- 1 [管理] カテゴリーにアクセスし、[管理] タブをクリックします。
- 2 [タスク] ドロップダウン メニューから、[追加] を選択します。
- 3 [管理者のプロパティ] ダイアログ ボックスで、[ユーザー名] フィールドにユーザー名を指 定するか、参照[...] ボタンをクリックして Active Directory またはローカル マシン内 のユーザーを選択します。

쓭	理者のフロバティ		×
	▶ 管理者のアカ	ウントを有効化	
	ユーザー名(U):	Administrator@2X	
	メール(E):	sbianco@2x.com	
	モバイル(M):	99847364	
	許可(P):	すべて許可	許可の変更(C)
	システム通知の受	領方法(R): メール	
			OK キャンセル

新しい Parallels 2X Remote Application Server 管理者の構成

- 4 [電子メール]入力フィールドに電子メール アドレスを指定し、[モバイル]フィールドに連 絡先の携帯電話番号を指定します。
- 5 デフォルトでは、新しい管理者アカウントに「すべて許可」が割り当てられます。権限を変 更するには、[許可の変更]をクリックします。管理者権限の詳細については、以下の「管理 者アカウントの権限の構成」を参照してください。
- 6 [システム通知の受領方法]ドロップダウンメニューから、[電子メール]を選択します。これにより、指定された電子メールアドレスにすべてのシステム通知が送信されます。このアカウントへの電子メールシステム通知を無効にするには、[なし]を選択します。
- 7 [OK] をクリックして、新しい管理者アカウントを追加します。

管理者アカウントの権限の構成

管理者権限は、新しい管理者アカウントの作成時に構成できます。また、[プロパティ]から、 既存のアカウントの管理者権限を構成することもできます。 権限はカテゴリー(ファーム、公開、ユニバーサルプリントなど)ごと、またはサイトごとに割 り当てることができます(以下のスクリーンショットを参照)。

许可	X
<ul> <li>キ可</li> <li>すべて許可(F) (このオブションを有効にすると、管理者がすべてのカテゴリー、サイト及び 管理者がこの許可を保持し、管理とライセンスカテゴリーを管理します。</li> <li>サイト許可(5)</li> <li>✓ ファームの変更を許可(A) (このオブションを有効にすると、管理者がファーム、ロードバランサ ー、ユニバーサルプリンター及びユニバーサルスキャンのカテゴリーを 変更することができます。)</li> <li>✓ 公開の変更を許可(P) (このオブションを有効にすると、管理者が公開カテゴリーを変更する ことができます。)</li> <li>✓ 接続変更のを許可(C) (このオブションを有効にすると、管理者が接続カテゴリーを変更する ことができます。)</li> </ul>	グローバル設定を変更することができます。一人の ) ● サイト内 ● すべてのサイト ● 2XRAS ● Site 2
I RAS レポート作成機能の表示を許可(V) (このオプションを有効にすると、RAS レポーティングエンジンで生成されるレポートを管理者が閲覧できるようになります)	
✓ サイト情報へのアクセスを許可(I) (このオブションを有効にすると、管理者がサイトについての情報を見 ることができます。)	
<ul> <li>✓ クライアント管理の変更を許可 (このオブションを有効にすると、管理者な</li> <li>✓ 情報へのアクセスを許可 (このオブションを有効にすると、管理者が情報)</li> </ul>	NClient Managerのカテゴリーを変更できます。)(M) カテゴリーへアクセスすることができます。)
	OK キャンセル

Parallels 2X Remote Application Server 管理者権限の構成

すべて許可されたアカウントは、ファーム内のすべてのカテゴリー、サイト、およびグローバル 設定を変更できます。

権限の例

TS1 で公開するオプジェクトまたは公開されたオブジェクトを管理者が管理および構成できる ようにするには、[公開の変更を許可] オプション以外のすべての権限を無効にします(上のス クリーンショットを参照)。 管理者アカウントの管理

[管理] カテゴリーの[管理] タブで、新しい管理者アカウントの追加や、既存の管理者アカウントの変更または削除ができます。

管理者アカウント間でのコンソール メッセージの送信

複数の管理者が Parallels 2X Remote Application Server Console にログインしている場合、 それらの管理者はメッセージを相互に送信できます。ログインしている別の管理者にメッセージ を送信するには、Parallels 2X Remote Application Server Console で、アカウント名(右上) の横にある矢印をクリックし、ドロップダウン メニューから [メッセージを送付する] を選択 します。

注意:同じ管理者が複数のセッションにログインできます。

[セッションを表示] ダイアログ ボックスからアカウントを選択し、[メッセージを送付する] を クリックします。

セ	ッションを	表示						? ×
	U		0					
	ログオフ	メッセージを送付する	更新					
1	現在ユーサ	「ー(こログオン中(C):						
	セッショ	. ユーザ		グオンマシン/IP	ታሪኮ	2X Publi	ログオン時間	住所
	405914	Administrator@2X	2	XRAS2008 (10.124	2XRAS	2XRA52	Thursday, June 25,	接続
								キャンセル

現在ログインしているすべての管理者を表示している [セッション] ダイアログ ボックス

注意:管理者間のメッセージはアーカイブまたは記録されません。

他の管理者のログオフ

管理者がカテゴリー(ユニバーサルプリントなど)にアクセスすると、そのカテゴリーは他の管理者に対してロックされます。したがって、ロックされたカテゴリーに別の管理者がアクセスすると、オブジェクトがロックされているというエラーがその管理者に表示されます。



別の管理者によってカテゴリーがロックされている場合に生成されるアラート

カテゴリーのロックから管理者をログオフするには、[管理]カテゴリーに移動し、[管理]タブ から[タスク]ドロップダウンメニューをクリックし、[セッションを表示]を選択します。[セ ッション]ダイアログ ボックスから、他の管理者にメッセージを送信したり、他の管理者を Parallels 2X Remote Application Server Console セッションからログオフしたりできます。

#### 第 5 章

#### ターミナル サーバー

#### この章の内容

ターミナル	サーバーの追加	35
手動による	2X Terminal Server Agent のインストール	37
ターミナル	サーバーの構成	38
ターミナル	サーバーのグループ化	44
ターミナル	サーバーからのデスクトップの公開	45
ターミナル	サーバーからのアプリケーションの公開および構成	47
ターミナル	サーバーからのドキュメントの公開	50

#### ターミナル サーバーの追加

Parallels 2X Remote Application Server を使用してユーザーにアプリケーションとデスクト ップを公開できるようにするには、まずサーバーをファームに追加する必要があります。この章 では、ファームでターミナル サーバーを追加して管理する方法について説明します。

要件:ターミナル サーバーをファームに追加するには、ターミナル サーバーにリモート デス クトップ サービスがインストールされている必要があります。

次の手順に従って、ターミナル サーバーをファームに追加します。

- **1** Parallels 2X Remote Application Server Console を起動し、[ファーム] カテゴリーを選 択して、ナビゲーション ツリーから [ターミナル サーバー] をクリックします。
- [タスク]ドロップダウンメニューから [追加]をクリックし、セットアップ ウィザードを 起動します。プロンプトが表示されたら、サーバーの IP アドレスまたは FQDN を指定して、 [次へ]をクリックします。
- 3 このステップで、Parallels 2X Remote Application Server は 2X Agent がターミナル サ ーバーにインストールされているかどうかを確認します。インストールされている場合は、 この手順のステップ 7 に進みます。インストールされていない場合は、[インストール]を クリックして、2X Agent をリモートでインストールします。
- **4** [2X Terminal Server Agent のインストール] ダイアログで、2X Agent のインストール先の サーバー名を選択します。

5 (オプション)別の認証情報を使用してサーバーに接続し、2X Agent をインストールする には、[認証情報の上書き]を選択し、その認証情報を指定します(以下のスクリーンショッ トを参照)。

2X Terminal Server Agent をインストールしています	? ×
「サーバー	
サー/~(-(5)): 10.124.4.129	
05: Windows (x32)	キャンセル
55Hポート(R): 22 デフォルト	
□ 認証情報の上書き(V)	
ユーザー名(U):	
パスワード(P):	
ステイタス 進行	1
サーバー     ステイタス     タイプ       ☑ 10.124.4.129     待機     ターミナルサーバー	

別の認証情報を指定して 2X Terminal Server Agent をインストール

- 6 [インストール] をクリックしてエージェントをインストールし、インストールが正常に終了 したら [完了] をクリックします。2X Agent の自動インストールが失敗する場合は、次のセ クション「手動による 2X Terminal Server Agent のインストール」を参照してください。
- 7 [追加] をクリックして、ターミナル サーバーを Parallels 2X Remote Application Server ファームに追加します。

ヒント: Active Directoru ドメイン内の既存のターミナル サーバーを探すには、[タスク] ド ロップダウン メニューの [検索] オプションを使用します。
# 手動による 2X Terminal Server Agent のイン ストール

2X Terminal Server Agent のシステム要件

- リモートデスクトップサービスが有効になっている Windows 2003 SP1 Server、2008 Server、 または Advanced Server。
- Microsoft が規定した、リモート デスクトップ サービス環境を展開する場合のハードウェ ア要件と同じものが適用されます。

手動による 2X Terminal Server Agent のインストール

- **1** 管理者アカウントを使用して、2X Terminal Server Agent のインストール先のサーバーにロ グインし、他のすべてのアプリケーションを閉じます。
- **2** Parallels 2X Remote Application Server インストール ファイル (2XAppServer.msi) をサ ーバーにコピーし、そのファイルをダブルクリックしてインストールを起動します。
- **3** プロンプトが表示されたら、[次へ] をクリックし、エンド ユーザー使用許諾契約書に同意 します。
- 4 2X Agent のインストール先のパスを指定し、[次へ] をクリックします。
- 5 [カスタム]を選択し、[次へ]をクリックします。

6 [2X Terminal Server Agent ] をクリックし、ドロップダウン メニューから [このコンピュ ータのローカルディスクに全ての機能をインストールします] を選択します(以下のスクリ ーンショットを参照)。

Parallels 2X Remote Application Server 設定 インストレーションタイプを選択してください。 希望するインストレーションタイプを選択してください。	
Parallels 2X Remote Application Server X V 2X Publishing Agent 2X SecureClientGateway 2X Terminal Server Agent 2X VDI Agent 2X Guest Agent 2X PC Agent	Feature Description RASパブリッシイングエージェントと 通信するコンポーネント。
<b>戻る(B)</b>	次へ(N) キャンセル

手動によるターミナル サーバー エージェントのインストール

- 7 他のすべてのコンポーネントが選択解除されていることを確認し、[次へ]をクリックします。
- 8 [インストール] をクリックしてインストールを開始し、インストールが終了したら [完了] をクリックします。

**注意**:2X Agent は構成を必要としません。2X Agent をインストールしたら、Parallels 2X Remote Application Server Console でサーバー名を選択し、[エージェントをチェック] をクリックしてください。

## ターミナル サーバーの構成

ターミナル サーバーのプロパティにアクセスするには、Parallels 2X Remote Application Server Console のナビゲーション ツリーからサーバーを選択し、[タスク] ドロップダウン メ ニューから [プロパティ] を選択します。以下のすべての構成オプションを [サーバー プロパ ティ] から構成できます。 ターミナル サーバーの有効化または無効化

デフォルトでは、サーバーはファーム内で有効になっています。サーバーを無効にすると、公開 済みのアプリケーションとバーチャル デスクトップをサーバーから提供できなくなります。

ファームでサーバーを無効にするには、[サーバー プロパティ]の[プロパティ]タブで[サイト内のホストを有効化]オプションをオフにします。ファーム内でサーバーを有効に戻すには、 該当のチェック ボックスを選択(有効に)します。

サーバー プロパティ	? ×	1
プロパティ Agent設定 F	:DP プリンター [ スケジューラー ]	
▼ ファームでのサーバー	-有効化(E)	
サーバー( <u>s</u> ):	10.124.4.19	
セッション最大数(M):	1000 デフォルト	
[戌8月( <u>D</u> ):		
	OK Cancel Help	

[サーバー プロパティ]の[プロパティ] タブ

サーバー名と最大セッション数の構成

[プロパティ] タブ(上のスクリーンショットを参照)では、サーバー名、サーバーに同時接続 できる最大セッション数、およびサーバーの説明も構成できます。 サーバーでの 2X Terminal Server Agent の構成

ファーム内の各ターミナル サーバーには 2X Agent がインストールされています。これにより、 Parallels 2X Remote Application Server とターミナル サーバー間の接続が提供されます。こ のエージェントは、[サーバー プロパティ]の [Agent 設定] タブから構成できます。

म-K- Jak57 <b>?</b> ×
プロパティ Agent設定 RDP プリンター スケジューラー
ポート( <u>P</u> ): <u>3389</u> デフォルト
ダイレクトアドレス( <u>A</u> ): 10.124.4.19
Parallels 2X RDP クライアントは直接アドレスを使用して、ターミナルサーバーに直接接続します。
公開セッションのタイムアウト(U): 25秒 マデフォルト
クライアントURL/メールのリダイレクション を許可(W):
✓ 2XRemoteExecがクライアントにコマンドを送信することを許可(X)
□ RemoteApps を使用(ある場合)
ログ(G): 無効にする
OK Cancel Help

[サーバー プロパティ]の [Agent 設定] タブからターミナル サーバー エージェントを構成

リモート デスクトップ接続ポートの構成

サーバーでデフォルト以外のポートが構成されている場合、別のリモート デスクトップ接続ポ ート番号を [ポート]入力フィールドに指定します。 ダイレクト アドレスの変更

このアドレスはダイレクト接続モードでのみ使用されます。このアドレスには、内部 IP アドレ スまたは外部 IP アドレスを使用できます。サーバーのダイレクト アドレスを変更するには、[ダ イレクト アドレス変更] オプションを選択し、新しいアドレスを [ダイレクト アドレス] 入力 フィールドに指定します。

セッション タイムアウトの変更

ユーザーが公開済みのアプリケーションを閉じた後にバックグラウンドで各セッションの接続 を維持する時間を変更するには、[公開セッションのタイムアウト]入力フィールドに新しい値 を指定します。このオプションを使用して、サーバーへの不必要な再接続を回避します。

URL およびメールのリダイレクトの構成/アクセスの制限

サーバーのリソースではなくクライアント コンピューターのローカル アプリケーションを使用 して http リンクと mailto リンクを開くことができるようにするには、[クライアントURL/メ ールのリダイレクションを許可] オプションを有効にします。リダイレクトを禁じる URL のリ ストを構成するには、サイトの [設定] ノードの [URL リダイレクト] タブに移動します。

2XRemoteExec がクライアントにコマンドを送信することを許可

アプリケーションをクライアント側で展開するよう、サーバーで実行されるプロセスがクライア ントに指示することを許可するには、このオプションを有効にします。2XRemoteExec の詳細に ついては、次の記事を参照してください。http://www.2x.com/remoteexec/ http://www.2x.com/remoteexec/

RemoteApps を使用(ある場合)

このオプションを有効にすると、アプリケーションが正しく表示されない場合にシェル関連の問題に対してリモート アプリケーションを使用できます。この機能は、Windows 用の 2X RDP クライアントでのみサポートされます。

2X Terminal Server Agent のログの構成

2X Terminal Server Agent のログを有効または無効にするには、[ログ] ドロップダウン メニ ューを使用します。このログは、Parallels 2X サポート チームの指示があった場合にのみ有効 にする必要があります。 ターミナル サーバーの RDP 印刷の構成

[RDP プリンター] タブでは、リダイレクトされたプリンターの名前変更フォーマットを構成で きます。フォーマットは、サーバーのどのバージョンと言語を使用しているかによって異なる場 合があります。

サーバー プロパティ ?×
プロパティ Agent設定 RDP プリンター スケジューラー
RDP プリンター名のフォーマット(D): プリンター名(コンピューター名から)内のセッション番 リダイレクトされるプリンターの名前に従って、 "RDP Printer Name Format"を 選択します。フォ ーマットは、使用中のサーバーのバージョンと言語により変わります。
<ul> <li>ブリンタ名にセッション数を入れない(R)</li> <li>ブリンタ名にクライアント名を入れない(F)</li> <li>注意: RDPプリンターの名前変更機能は、Windows 2008上で、MS Easyプリントテクノロジーでは動作しません。</li> </ul>
OK Cancel Help

[サーバー プロパティ]の [RDP プリンター] タブから RDP プリンターを構成

[RDP プリンター名のフォーマット] ドロップダウン メニューから以下のいずれかのオプション を選択し、構成したサーバーに固有の RDP プリンター名のフォーマットを設定します。

- プリンター名 (コンピューター名から) 内のセッション番号
- セッション番号 (コンピューター名から) プリンター名
- プリント名 (リダイレクト セッション番号)

[RDP プリンター] タブで指定できるその他の RDP 印刷オプションは次のとおりです。

- プリンター名にセッション数を入れない
- プリンター名にクライアント名を入れない

ターミナル サーバーのメンテナンス時刻ウィンドウの構成

[サーバー プロパティ]の [スケジューラー] タブから、サーバーのメンテナンス時刻ウィンド ウの作成と構成ができます。メンテナンス ウィンドウの期間は、該当のサーバーから公開リソ ースにアクセスできません。現在のアクティブ セッションの実行を維持することはできます。 また、現在のアクティブ セッションの切断やリセットもできます。

<b>バー プロパティ</b> ロパティ   Agent設)	定 RDP プリンター スケジュ		?
次の時間帯は、排	続を許可しない( <u>N</u> ):		(etn/a)
		<u>                                     </u>	
			前陈(D)
			1111112
無効時の 現	在のセッション状態の維持	•	
		OK Cano	el Help

[サーバー プロパティ]の [スケジューラー] タブからメンテナンス時刻ウィンドウを構成

メンテナンス時刻ウィンドウを構成するには、[追加] ボタンをクリックして以下の項目を構成 します。

- 開始日
- 時刻
- 所要時間

 リピート:このオプションで、メンテナンス時刻ウィンドウの繰り返し間隔を構成します (例:毎週、毎月)。

スケジューラー	に追加する	? ×
開始(5):	29/05/2015	ОК
時刻(T):	14:33:28 <u>*</u>	キャンセル
期間(D):	1時間	
ሀピーԻ(R)։	毎週	

新しいメンテナンス時刻ウィンドウの構成

メンテナンス ウィンドウの時刻を構成したら、[スケジューラー] タブの下部にある [無効時の 処理] ドロップダウン メニューを使用して、メンテナンスでサーバーが無効になった場合に現 在のセッションをどのように処理するかを指定します。

ターミナル サーバーのグループ化

ターミナル サーバー グループを使用して、ウィザードでどのサーバー グループから公開リソ ースを公開するかを指定します。マルチサーバー環境では、グループを使用して公開アイテムを 管理しやすくすることを強くお勧めします。 ターミナル サーバー グループの作成と管理を行うには、[ターミナル サーバー] セクションの [グループ] タブをクリックします。新しいターミナル サーバー グループを作成するには、[タ スク] ドロップダウン メニューから [追加] をクリックします。既存のターミナル サーバー グ ループを変更するには [プロパティ] をクリックします。選択したターミナル サーバー グルー プを削除するには [削除] をクリックします。

グループプロパティ	? ×
名前(N): 「roup 1 グループのサーバーを選択する(S): ↓ タスク マ サーバー ✓ 10.124.4.20 ✓ 10.124.4.19	OK キャンセル

新しいターミナル サーバー グループの構成

# ターミナル サーバーからのデスクトップの公開

ターミナル サーバーからデスクトップを公開するには、次の手順を実行します。

- **1** [公開] カテゴリーを選択し、上部のナビゲーション バーから [デスクトップ] アイコンを クリックして、デスクトップ公開ウィザードを起動します。
- **2** ウィザードの最初のステップで [ターミナル サーバー デスクトップ] を選択し、[次へ] を クリックします。

3 ウィザードの2番目のステップでは、どのターミナルサーバーからデスクトップを公開するかを指定します。デスクトップの公開元として、[サイト内の全サーバー]、[サーバーグループ]、またはいくつかの[個々のサーバー]を指定できます(以下のスクリーンショットを参照)。

公開元の選択		?	×
¥-AX			
● サイト内の全サーバー			
○ サーバーグループ:			
Group 1			
○ 個々のサーバー:		🔍 ৫২০ 👻	
サーバー			
10.124.4.19			
10.124.4.20			
	< Back Ne	ancel Help	1

デスクトップの公開元であるターミナル サーバーの選択

4 ウィザードの3番目のステップでは、「デスクトップ」セクションで「氏名」と「説明」を 指定します。同じセクションにある「アイコン変更」ボタンをクリックして、異なるアイコ ンを構成することもできます。「コンソールに接続」オプションを選択すると、公開デスクト ップに接続されたユーザーは、バーチャルデスクトップセッションではなくターミナルサ ーバーのコンソールに接続されます。 5 [デスクトップサイズ] セクションでは、デスクトップの解像度を指定することもできます。

デスクトップ		? ×
-¥		
テスクトッノー	No. destana	-
名則( <u>M</u> ):		
説明( <u>P</u> ):	Desktop	
	アイコン変更( <u>G</u> )	
א-עעב 🗖	接続(⊆)	
<u>┌</u> デスクトップサイス	ς	
サイズ( <u>Z</u> ):	フルスクリーン	
	幅(型): 高さ(日):	
	< Back Finish Cancel Help	,

ターミナル サーバーから公開するデスクトップの構成

6 [完了]をクリックしてデスクトップを公開します。

# ターミナル サーバーからのアプリケーションの 公開および構成

ターミナル サーバーからアプリケーションを公開するには、次の手順を実行します。

- **1** [公開] カテゴリーを開き、上部のナビゲーション バーから [アプリケーション] アイコン をクリックします。
- 2 ウィザードの最初のステップで [ターミナル サーバー] を選択し、[次へ] をクリックしま す。

- **3** ウィザードの2番目のステップで、公開するアプリケーションのタイプを選択します。次の オプションがあります。
  - 1. 1 つのアプリケーション:実行ファイルのパスなど、アプリケーション設定をユーザー自 身ですべて構成するには、このオプションを選択します。
  - 導入されたアプリケーション:サーバーにすでにインストールされているアプリケーションを公開するには、このオプションを選択します。つまり、すべてのアプリケーション設定が自動的に構成されます。
  - 3. 既存のアプリケーションの追加: Windows エクスプローラーなど、日常的に使用する Windows アプリケーションを公開するには、このオプションを選択します。

アプリケーションタイプの選択	? ×
どんなアプリケーションを公開しますか?	í
<ul> <li>■ 1つのアプリケーション(5)</li> </ul>	
ひとつのアプリケーション単位で公開する。	
○ 導入されたアプリケーション(1)	7
導入されたアプリケーションを公開する。	
○ 既存のアブリケーション( <u>P</u> )	
エクスプローラーなど日常的に使われるアプリケーションを公開する。	
< <u>B</u> ack <u>N</u> ext > Cancel	Help

アプリケーションの公開ウィザードでのアプリケーション タイプの選択

4 ウィザードの3番目のステップでは、どのターミナルサーバーからアプリケーションを公開するかを指定します。デスクトップの公開元として、[サイト内の全サーバー]、[サーバーグループ]、またはいくつかの[個々のサーバー]を指定できます。

5 ウィザードの4番目のステップで[導入されたアプリケーション]または[既存のアプリケーションの追加]を選択した場合、アプリケーション名にチェックを入れて、公開するアプリケーションを選択し、[完了]をクリックしてアプリケーションを公開する必要があります。 [1つのアプリケーション]を選択した場合、次の手順のとおりにアプリケーションを構成する必要があります。

1 つのアプリケーションの構成

**注意**: [ターゲット]入力フィールドの横にある [参照] ボタンを使用してアプリケーションを参照 すると、すべてのエントリにデータが自動的に読み込まれます。それ以外の場合は、以下の手順に従って、すべてのフィールドを手動で入力します。

- 6 [アプリケーション] セクションで [氏名] と [説明] を入力し、[実行] ドロップダウン メ ニューから、アプリケーションを通常のウィンドウで実行するか、最大化するか、または最 小化するかを指定します。
- **7** (オプション) [アイコン変更] ボタンをクリックして、公開済みのアプリケーションのアイ コンを変更できます。
- 8 [ターゲット]入力フィールドの [参照] ボタンをクリックし、アプリケーションの実行ファ イルを参照することで、アプリケーションの実行ファイルが配置されている場所へのパスを 指定します。パスを手動で指定する場合は、Windows 環境変数を使用します。
- 9 [スタート]入力フィールドのデータは自動的に読み込まれます。アプリケーションの起動フ ォルダーとは異なるフォルダーを指定するには、[参照]ボタンをクリックします。たとえば、 アプリケーションを実行するのに別の場所のファイルを使用する必要がある場合、異なるフ ォルダーを指定することがあります。この場合、そのフォルダーの場所を指定します。これ で、公開済みのアプリケーションは、起動時に、必要なファイルを探すことができます。

**10** (オプション) アプリケーションの起動時にアプリケーションに渡す必要があるパラメータ ーを [パラメーター] 入力フィールドに指定できます。

アプリケーション	? ×
No de la companya de	
<sub>E</sub> アプリケーション	
名前( <u>N</u> ):	word.exe
፤艽뭑月( <u>⊂</u> ):	Application
実行:	通常のウインドウ
	アイコン変更(G)
サーバー設定一	
サーバー( <u>s</u> ):	<デフォルト設定> 🗾
ターゲット( <u>T</u> ):	word.exe
スタート( <u>I</u> ):	
パラメーター( <u>P</u> ):	
	デフォルト設定使用(E)
	< <u>B</u> ack Finish Cancel Help

ターミナル サーバーから公開する新しいアプリケーションの構成

**注意**:アプリケーションを特定のサーバー上の異なるパスにインストールする場合は、[サーバー] ド ロップダウン メニューを使用して、その特定のサーバー用の異なるアプリケーション設定を指定し ます。

**11** アプリケーションの構成が完了したら、[完了] をクリックしてアプリケーションを公開します。

## ターミナル サーバーからのドキュメントの公開

ターミナル サーバーからドキュメントを公開するには、次の手順を実行します。

**1** [公開] カテゴリーを選択し、上部のナビゲーション バーから [ドキュメント] アイコンを クリックします。

- 2 ウィザードの最初のステップで [ターミナル サーバー] を選択し、[次へ] をクリックしま す。
- 3 2番目のステップでは、公開するドキュメントのドキュメントタイプを指定します。事前に 定義されたリストからドキュメントタイプを選択するか、[ドキュメントタイプ指定]入力 フィールドにカスタムドキュメントタイプを指定できます。準備が完了したら、[次へ]を クリックします。

ドキュメントタイプ選択	? ×
ドキュメントタイプ ブラウズを選択( <u>5</u> ):	
フィルター	
GRP2 Audio/Video (*.3g2;*.3gp2)	
GRAN GARANTER GRANT G	
ADTS Audio (*.AAC;*.ADT;*.ADTS)	
Microsoft Access Add-in (*.accda;*.mda)	
Microsoft Access Database (*.accdb;*.mdb)	
Microsoft Access Oldred Package (*.accdc)	
Microsoft Access Template (*,accdt)	
Microsoft Access Add-in Data (*.accdu;*.mdt)	
トキュメントダイン指定 (143)長于をゼミコロンで区 1010 1911 *.text()*.texts)( <u>C</u> )	
< <u>B</u> ack <u>N</u> ext > Cancel He	lp

ドキュメントのドキュメント タイプの指定

- 4 ウィザードの3番目のステップでは、どのターミナルサーバーからドキュメントを公開するかを指定します。デスクトップの公開元として、[サイト内の全サーバー]、[サーバーグループ]、またはいくつかの[個々のサーバー]を指定できます。
- 5 ウィザードの4番目のステップでは、[ターゲット]入力フィールドの横にある[参照]ボ タンを使用して、ドキュメントを参照します。他のすべてのフィールドのデータは自動的に 読み込まれます。自動読み込みフィールドのいずれかを編集するには、該当のフィールドを 選択し、必要な詳細情報を入力します。

6 (オプション)ドキュメントを実行するアプリケーションを起動するときアプリケーション に渡す必要があるパラメーターを [パラメーター]入力フィールドに指定できます。

アプリケーション	? 🗙
- V A	
□ アプリケーション □	
名前( <u>N</u> ):	Purchase Order
	Document
実行:	通常のウインドウ
	アイコン変更(G)
「サーバー設定一	
サーバー( <u>s</u> ):	<デフォルト設定> 🔽
ターゲット( <u>T</u> ):	purchaseorder.doc
スタート(I):	
パラメーター( <u>P</u> ):	
	デフォルト設定使用(E)
	< <u>B</u> ack Finish Cancel Help

ターミナル サーバーから公開するドキュメントの構成

注意:特定のサーバー上でドキュメントを異なる方法で構成する場合は、[サーバー] ドロップダウンメニューを使用して、その特定のサーバー用の異なるドキュメント設定を指定します。

- 7 準備が完了したら、[次へ]をクリックして、フィルター オプションを構成します。フィル ター オプションの詳細については、フィルターに関するセクション(ページ)を参照して ください。
- 8 [完了] をクリックしてドキュメントを公開します。

#### 第 6 章

#### VDI ホスト

#### この章の内容

VDI ホストの追加	53
手動による 2X VDI Agent のインストール	55
アプライアンスのインストールおよび VDI ホストの構成	57
プールの構成と管理	62
ゲスト クローン用の 2X テンプレートの構成および管理	65
パーシスタント ゲスト	71
ゲストからのバーチャル デスクトップの公開	72
ゲストからのアプリケーションの公開	74
ゲストからのドキュメントの公開	76

### VDI ホストの追加

VDI ホスト (ホスト マシン) とは、ハイパーバイザによって 1 つ以上の仮想マシンが実行され るコンピューターとして定義されます。各仮想マシンはゲスト マシンと呼ばれます。ハイパー バイザは、ゲスト オペレーティング システムに仮想オペレーティング プラットフォームを提 供し、ゲスト オペレーティング システムの実行を管理します。さまざまな複数のオペレーティ ング システム インスタンスで、仮想化されたハードウェア リソースを共有できます。

VDI ホストを Parallels 2X Remote Application Server に追加すると、VDI ホストで仮想マシ ンを管理したり、ゲスト クローンを作成したり、バーチャル ゲストからバーチャル デスクト ップとアプリケーションを公開したりできます。

VDI ホストをファームに追加するには、次の手順を実行します。

**1** Parallels 2X Remote Application Server Console を起動します。[ファーム] カテゴリー をクリックし、ハイパーバイザの追加先のサイトの [VDI ホスト] ノードをクリックします。  [タスク] ドロップダウン メニューから [追加] をクリックし、セットアップ ウィザードを 起動します。プロンプトが表示されたら、[VDI の種別] ドロップダウン メニューから VDI の 種別を選択します。

木	ストの追加	? ×
	VDIの種別( <u>T</u> ): WMware vCenter	次
	VDIホスト( <u>V</u> ):	キャンセル
	□ 機器で作動中のVDI Agent Service( <u>A</u> ):	
	VDI Agent:	

VDI ホストの追加

- **3** VDI ホストの IP アドレスまたは FQDN を指定し、[次へ] をクリックします(一部のハイパ ーバイザの VDI Agent の構成方法については、以下の「注意」を参照してください)。
- 4 このステップで、Parallels 2X Remote Application Server は 2X VDI Agent が VDI ホストにインストールされているかどうかを確認します。インストールされている場合は、この手順のステップ 8 に進みます。インストールされていない場合は、[インストール] をクリックして、2X Agent をリモートでインストールします。
- 5 [2X Terminal Server Agent のインストール] ダイアログで、2X Agent のインストール先の サーバー名を選択します。
- 6 (オプション)別の認証情報を使用してサーバーに接続し、2X Agent をインストールするに は、[認証情報の上書き]を選択し、その認証情報を指定します。
- 7 [インストール]をクリックしてエージェントをインストールし、インストールが正常に終了 したら[完了]をクリックします。2X Agent の自動インストールが失敗する場合は、次のセ クション「手動による 2X VDI Agent のインストール」を参照してください。
- 8 [追加] をクリックして、VDI ホストを Parallels 2X Remote Application Server のサーバ ー ファームに追加します。

注意:サポートされる一部のハイパーバイザについては、異なる手順に従ってハイパーバイザを追加 する必要があります。たとえば、2X VDI Agent アプライアンスをハイパーバイザ サーバーにインス トールします。ハイパーバイザ サーバーをファームに追加する前に、ハイパーバイザの各種マニュア ルを参照してください。このマニュアルは、Parallels 2X のドキュメント ページ (http://www.2x.com/Learn/documentation/) で入手できます。

### 手動による 2X VDI Agent のインストール

- 2X VDI Agent のシステム要件
- ・ Windows XP、Windows Vista、Windows 2000 Server、Windows 2003 Server、Windows 2008 Server または Advanced Server。
- 使用している仮想化ソフトウェアで規定されているハードウェア要件と同じものが適用されます。

手動による 2X VDI Agent のインストール

- 1 管理者アカウントを使用して、2X VDI Agent のインストール先のサーバーにログインし、他のすべてのアプリケーションを閉じます。
- 2 Parallels 2X Remote Application Server インストール ファイル (2XAppServer.msi) をサ ーバーにコピーし、そのファイルをダブルクリックしてインストールを起動します。
- **3** プロンプトが表示されたら、[次へ] をクリックし、エンド ユーザー使用許諾契約書に同意 します。
- **4** 2X Agent のインストール先のパスを指定し、[次へ] をクリックします。
- 5 [カスタム]を選択し、 [次へ] をクリックします。

6 2X VDI Agent をクリックし、ドロップダウン メニューから [このコンピュータのローカル ディスクに全ての機能をインストールします]を選択します(以下のスクリーンショットを 参照)。

🛃 Parallels 2X Remote Application Server 設定	
インストレーションタイプを選択してください。 希望するインストレーションタイプを選択してください。	
Parallels 2X Remote Application Server 2X Publishing Agent 2X SecureClientGateway 2X Terminal Server Agent 2X VDI Agent 2X Guest Agent 2X PC Agent	Feature Description RAS は公開デスクトップ及び公 開アブリケーションの負荷分散を 行います。この為、ネットワークの 中心となるサーバー(ターミナルサ ーバーでもかまいません)にインス トールする必要があります。
戻る(B)	次へ(N) キャンセル

手動による VDI Agent のインストール

- 7 他のすべてのコンポーネントが選択解除されていることを確認し、[次へ]をクリックします。
- 8 [インストール] をクリックしてインストールを開始し、インストールが終了したら [完了] をクリックします。

注意: 2X Agent は構成を必要としません。2X Agent をインストールしたら、Parallels 2X Remote Application Server Console でサーバー名を選択し、[エージェントをチェック] をクリックしてく ださい。エージェントが適切にインストールされている場合、ステイタスは[エージェントをインストールしました]に変わります(以下のスクリーンショットを参照)。

# アプライアンスのインストールおよび VDI ホス トの構成

VMWare ESXi サーバーなど、一部のハイパーバイザでは、2X Agent の代わりにアプライアンス を構成して実行する必要があります。アプライアンスは、事前に構成された仮想マシンです(オ ペレーティング システムと他の関連設定が含まれます)。これを、ハイパーバイザ上で実行す る仮想マシンのリストに追加して、2X Agent としての役割を持たせることができます。

アプライアンスのインストール

アプライアンスをハイパーバイザにインストールするには、ハイパーバイザのドキュメントを参 照してください。ドキュメントは、Parallels 2X のドキュメント ページ (http://www.2x.com/learn/documentation/) で入手できます。

VDI ホストの構成

VDI ホストのプロパティにアクセスするには、Parallels 2X Remote Application Server Console のナビゲーション ツリーからサーバーを選択し、[タスク] ドロップダウン メニューから [プ ロパティ] を選択します。以下のすべての構成オプションを [サーバー プロパティ] から構成 できます。

**注意**:一部のサーバーでは、以下のいくつかの設定を利用できない場合があります。これは、使用しているハイパーバイザ サーバーのタイプによって決まります。

ファームでの VDI サーバーの有効化または無効化

デフォルトでは、VDIホストはファーム内で有効になっています。サーバーを無効にすると、公開済みのアプリケーションとバーチャルデスクトップをサーバーから提供できなくなります。

ファームでサーバーを無効にするには、[サーバー プロパティ]の[プロパティ] タブで [サイ ト内のホストを有効化] オプションをオフにします。ファーム内でサーバーを有効に戻すには、 該当のチェック ボックスを選択(有効に)します。

VDI ホストの接続設定の構成

[サーバー プロパティ]の[プロパティ]タブで、以下の設定を構成できます。

- VDI の種別
- VDI のバージョン

#### VDI ホスト

- VDI ホストの IP アドレスまたは FQDN
- VDI ポート
- VDI Agent の IP アドレス (アプライアンスでエージェントを実行している場合)
- ユーザー名とパスワード(サーバーで別の認証情報が必要とされる場合)

えトプロパティ	? >
ブロパティ Agent設定	RDP プリンター   スケジューラー
▼ サイト内のホスト*	を有効化( <u>E</u> )
VDIの種別( <u>T</u> ):	MS Hyper-V
VDIのバージョン( <u>V</u> ):	6.3.9600 Hyper-V Server 2012 R2
VDI뉷スト( <u>H</u> ):	2xras2008R2
VDIポート( <u>O</u> );	0 デフォルト
□ 機器で作動中の	VDI Agent Service(A):
VDI Agent; 2xr	as2008R2
特定のプロバイダー情	「輪を参照するには、ここをクリックしてください。
//X/J=F( <u>S</u> ): [•	
	OK Cancel Help

VDI ホストのプロパティと接続設定の構成

サーバーでの 2X VDI Agent の構成

ファーム内の各 VDI ホストには 2X Agent がインストール(または、アプライアンスとして実行)されています。これにより、Parallels 2X Remote Application Server と VDI ホスト間の 接続が提供されます。このエージェントは、[サーバー プロパティ]の [Agent 設定] タブから 構成できます。

えトプロパティ		? ×
プロパティ Agent設定 RDP プリ	ンター   スケジューラー	
□ ダイレクトアドレス変更(○)		_
ダイレクトアドレス(D): 2	xras2008R2	
Parallels 2X RDP クライアント 続します。	はダイレクトアドレスを使用しバーチャルデスクトップに接	
説問(E):		
最大接続数( <u>A</u> ): 2	5 デフォルト	
ここでは、最大稼動ゲスト数	を指定できます。	
公開セッションのタイムアウト(U)	: 25秒 💌 デフォルト	
クライアントURL/メールのリダ イレクションを許可( <u>W</u> ):	有効	
םט(ק): אַ	対にする	•
	OK Cancel He	elp 🛛

VDI の[ホスト プロパティ] の [Agent 設定] タブから VDI Agent を構成

ダイレクト アドレスの変更

このアドレスはダイレクト接続モードでのみ使用されます。このアドレスには、内部 IP または 外部 IP を使用できます。リモート PC のダイレクト アドレスを変更するには、[ダイレクト ア ドレス変更] オプションを選択し、新しいアドレスを [ダイレクト アドレス] 入力フィールド に指定します。

VDI ホストへの最大接続数の変更

VDI ホストへの可能な最大接続数を [最大接続数] 入力フィールドで変更できます。[デフォルト] ボタンをクリックすると、値がデフォルト構成値にリセットされます。

セッション タイムアウトの変更

ユーザーが公開済みのアプリケーションを閉じた後にバックグラウンドで各セッションの接続 を維持する時間を変更するには、[公開セッションのタイムアウト]入力フィールドに新しい値 を指定します。このオプションを使用して、ゲストへの不必要な再接続を回避します。

URL およびメールのリダイレクトの構成/アクセスの制限

サーバーのリソースではなくクライアント コンピューターのローカル アプリケーションを使用 して http リンクと mailto リンクを開くことができるようにするには、[クライアント URL/メ ールのリダイレクションを許可] オプションを有効にします。

2X VDI Agent のログの構成

2X VDI Agent のログを有効または無効にするには、[ログ] ドロップダウン メニューを使用し ます。このログは、Parallels 2X サポート チームの指示があった場合にのみ有効にする必要が あります。

VDI ホストの RDP 印刷の構成

[RDP プリンター] タブでは、リダイレクトされたプリンターの名前変更フォーマットを構成で きます。フォーマットは、サーバーのどのバージョンと言語を使用しているかによって異なる場 合があります。[RDP プリンター名のフォーマット] ドロップダウン メニューから以下のいずれ かのオプションを選択し、構成したサーバーに固有の RDP プリンター名のフォーマットを設定 します。

- プリンター名(コンピューター名から)内のセッション番号
- セッション番号(コンピューター名から)プリンター名
- プリント名 (リダイレクト セッション番号)

[RDP プリンター] タブで指定できるその他の RDP 印刷オプションは次のとおりです。

プリンター名にセッション数を入れない

プリンター名にクライアント名を入れない

ホストプロパティ ? ×					
プロパティ   Agent設定 RDP プリンター   スケジューラー					
RDP プリンター名のフォーマット(D): プリンター名(コンピューター名から)内のセッション番▼					
リダイレクトされるプリンターの名前に従って、"RDP Printer Name Format"を 選択します。フォ ーマットは、使用中のサーバーのバージョンと言語により変わります。					
□ プリンタ名にセッション数を入れない(R)					
「「プリンタ名にクライアント名を入れない(F) 注意:RDPプリンターの名前変更機能は、Windows 2008上で、MS Easyプリントテクノロ ジーでは動作しません。					
OK Cancel Help					

VDI ホストの RDP プリンターの構成

VDI ホスト のメンテナンス時刻ウィンドウの構成

VDI の[ホスト プロパティ] の [スケジューラー] タブから、サーバーのメンテナンス時刻ウィ ンドウの作成と構成ができます。メンテナンス ウィンドウの期間は、該当のサーバーから公開 リソースにアクセスできません。メンテナンス時刻ウィンドウを構成するには、[追加] ボタン をクリックして以下の項目を構成します。

- 開始日
- 時刻
- 所要時間
- リピート:このオプションで、メンテナンス時刻ウィンドウの繰り返し間隔を構成します (例:毎週、毎月)。

メンテナンス ウィンドウの時刻を構成したら、[無効時の処理] ドロップダウン メニューを使 用して、メンテナンスでサーバーが無効になった場合に現在のセッションをどのように処理する かを指定します。

### プールの構成と管理

大量のゲストを管理する場合、特に、ゲストを大規模の企業インフラストラクチャに実装する場合は、プールによって管理者の柔軟性が高まります。Parallels 2X Remote Application Server Consoleは、プール管理の完全な基盤を作成するのに必要なフレームワークとツールを提供します。

プールを管理するには、Parallels 2X Remote Application Server Console から、[VDI ホスト] ノードの [プール管理] タブに移動します(以下のスクリーンショットを参照)。

🖀 Parallels 2X Remote Application Server Console 📃 📕	l X
ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
E I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	
サイト2XRA5 👻 administrator@2x.testing マ	
アーム・2XRAS2008         アーム・2XRAS         アーム・7XRAS         アーン・7XRAS         アーン・7XRAS         アーン・7XRAS         アーン・7XRAS         アーン・7XRAS         アーン・7XRAS         アーン・7XRAS         アンドン・7XRAS         アンドン・7XRAS         アンドン・7XRAS         アンドン・7XRAS         アンドン・7XRAS <th></th>	
開じる(C) Apply Help	

VDI ホストのプールの管理

プールの追加および削除

プールの追加

プールを追加するには、[プール]列の [タスク] ドロップダウンから [追加] をクリックし、 名前を指定します。

プールの削除

プールを削除するには、プール名を選択し、[プール]列にある [タスク] ドロップダウン メニ ューから [削除] を選択します。

プールのメンバーの管理

プールへのメンバーの追加

プールにメンバーを追加するには、[プール管理] タブに移動し、プールの名前を選択して、[追加] をクリックします。次のいずれかを追加できます。

- サイト内の全ゲスト:サイトに配置されているすべての VDI ホスト上のすべてのゲスト。
- ホスト内の全ゲスト:特定の VDI ホストに配置されているすべてのゲスト。
- ゲスト:ファームに配置されている 1 つのゲスト。
- ネイティブ プール:ハイパーバイザ管理ツールでプールとして事前に構成されているゲスト のグループ。注意:ハイパーバイザでは、プールの代わりに別の用語が使用されることがあ ります(リソース プールなど)。
- プール:既存の構成済みプールを Parallels 2X Remote Application Server に追加します (プールのネスト化)
- 2X テンプレート: 2X テンプレートから自動的に作成されたゲスト。2X テンプレートの詳細については、「ゲスト クローン用の 2X テンプレートの構成および管理」(ページ)を参照してください。

プールに追加するメンバーのタイプを選択したら、利用可能なプールまたはゲストのリストが表示されます。プールに追加するメンバーの名前を選択し、[OK]をクリックします。

プールからのメンバーの削除

プールからメンバーを削除するには、プール名を選択し、プールメンバーをクリックして、[タ スク] ドロップダウン メニューで [削除] をクリックします。

プールでのバーチャル ゲストの構成

VDI ホストまたはプール内のすべてのバーチャル ゲストを構成できます。プールからバーチャ ル ゲストを構成するには、[プール]列の [タスク] ドロップダウン メニューからプール名を 選択し、[プールにゲストを表示する]を選択します。[バーチャル ゲストの設定] ダイアログ ボ ックスで、バーチャル ゲスト名を選択し、[プロパティ] をクリックします。

ゲスト表示名: □ このゲストを使用し	jb-wxp ない(N)	-d1			7 /7// Fig.ZE(D). ОК
コンピュータ名(C): %Default%				デフォルト	キャンセル
ポート(Ρ):	%Defau	lt%		デフォルト	
☑ デフォルト設定を上	書きする <mark>(</mark> 0)				
接続タイムアウト(T)	:	5分	•	デフォルト	
プロトコル(R):		RDP	<b>*</b>	デフォルト	
セッションが切れてから(I):		現状の保存	•	デフォルト	
f姜(A):		5分	<u>_</u>	デフォルト	
				10	

プールでのバーチャル ゲストの構成

[ゲスト詳細設定] ダイアログ ボックス(上のスクリーンショットを参照)で、以下の設定を構成できます。

- [このゲストを使用しない]を有効にすると、特定のバーチャル ゲストが無視されます。
- [コンピューター名] フィールドでコンピューター名を指定し、バーチャル ゲストへの接続 に使用するコンピューターのネットワーク名(ドメイン名/IP アドレス)を設定します。
- [ポート] フィールドで、バーチャル ゲストへの接続に使用するポート番号を指定します。
- [接続タイムアウト] フィールドで、接続時に Parallels 2X Remote Application Server が 待機しなければならない、接続タイムアウトまでの時間制限を設定します。
- [プロトコル] ドロップダウン メニューで、バーチャル ゲストとの通信のために Parallels
   2X Remote Application Server で使用するプロトコルを選択します。
- セッションからユーザーが切断された場合にバーチャル ゲストをどのように処理するかを、 [セッションが切れてから] ドロップダウン メニューのオプションから選択します。[次の時 間経過後]入力フィールドで、選択したアクションを実行するまでの経過時間を指定できま す。

 また、[切断されたセッションの終了] ドロップダウン メニューで、切断されたセッション を終了するかどうかも指定できます。さらに、同じドロップダウン メニューで、切断された セッションを終了するまでの経過時間も指定できます。注意:セッションが依然として利用 可能な場合、ユーザーは以前のセッションに再接続できます。

バーチャル ゲストのデフォルト設定の構成

[バーチャルゲストのリスト]ダイアログボックスで、[デフォルト設定]ボタンをクリックし、 プール内のすべてのバーチャルゲストに対するデフォルト設定を指定します。

バーチャル ゲストの設定をデフォルトにリセット

バーチャル ゲストの設定をデフォルト設定にリセットするには、[バーチャル ゲストのリスト] ダイアログ ボックスからバーチャル ゲスト名を選択し、[設定のクリア] ボタンをクリックし ます。

ワイルドカード機能の使用

[プール管理] タブの下部にある [ワイルドカード] 入力フィールドを使用して、条件に一致する特定のゲストをユーザーが利用できるゲストとしてプールに含めます。つまり、ワイルドカードに一致しないバーチャル ゲスト名がある場合、ユーザーはそのゲスト名を利用できません。

たとえば、XP\* は、XP で始まる名前を持つゲストのみに一致します。\*XP\* は、名前の任意の場所に XP を含んでいるゲストに一致します。

## ゲスト クローン用の 2X テンプレートの構成お よび管理

はじめに

2X テンプレートを使用し、バーチャル ゲスト クローンを必要に応じて自動的に作成および展開することで、ホストのリソースをより効率的に利用できます。以下の Windows ワークステー ション用の 2X テンプレートとクローンのみを作成できます。

- Windows XP SP3
- Windows Vista
- Windows 7

• Windows 8



[2X Templates] タブから 2X テンプレートを管理

2X テンプレートの作成

要件:Windows ワークステーションのテンプレートを作成するには、DHCP サーバーを介して IP を取得するようにマシンを構成する必要があります。

Windows ワークステーションの新しい 2X テンプレートを作成するには、次の手順を実行します。

**1** [ファーム] カテゴリーに移動します。[VDI ホスト] ノードから [2X Templates] タブをク リックし、[タスク] ドロップダウン メニューから、[追加] を選択します。 2 [バーチャル ゲストのリスト] ダイアログ ボックスで、2X テンプレートの作成元のゲスト を選択し(以下のスクリーンショットを参照)、[OK] をクリックします。

1	<b>ミーチャル</b>	ゲストの	スト						? ×
							<b></b>	スク 👻	
	ゲスト		ゲストス	テータス	ゲストロS	ホスト	タイプ		ОК
									キャンセル
			11	9					
	開始	停止	中断	リセット					1.

2X テンプレートの作成元として利用できるゲストのリスト

- **3** プロセスの次のステップで、Parallels 2X Remote Application Server は、バーチャル ゲ ストに 2X ゲスト エージェントががインストールされているかどうかを確認します。インス トールされていない場合は、[インストール] ボタンをクリックします。
- 4 サーバーに接続するための別の認証情報を指定するには、[2X ゲスト エージェントのインストール]ダイアログボックスで[認証情報の上書き]オプションを選択し、新しい認証情報を指定します。[インストール]をクリックしてエージェントのインストールに進み、インストールが正常に終了したら[完了]をクリックします(2X Agent の自動インストールが失敗する場合は、「手動による 2X Terminal Server Agent のインストール」(ページ)を参照してください。
- **5** 2X ゲスト エージェントのインストールが完了したら、[OK] をクリックします。

2X テンプレートの構成

2X テンプレートを構成するには、[2X Templates] ノードでテンプレート名を選択し、[タスク] ドロップダウン メニューから [プロパティ] をクリックします。

2X テンプレートの基本設定 - 最大ゲスト数および事前作成ゲスト数の構成

[プロパティ] タブ(以下のスクリーンショットを参照)で、以下の設定を構成できます。

- 2X テンプレート: テンプレートの名前
- 最大ゲスト数:作成できるゲスト クローンの最大数を指定します
- 事前作成ゲスト:事前に作成するゲストクローンの数を指定します。ユーザーは接続先としてこれらのゲストを常に使用できます。
- ゲスト名: ゲストクローンのマシン名を指定します。各ゲストクローンの名前は、ゲスト ID に追加されます。
- 未使用のゲストを削除します:このオプションを有効にすると、使用されていないすべての ゲストクローンが削除されます。また、ゲストクローンを未使用であるとみなす期間を[後] ドロップダウンメニューから指定することもできます。

<b>テンブレートのブロパテ</b> プロパティ   詳細   Sys	イ :Prep   ライセンスキー	?
2X テンプレート(T):	2008R2SP1-MUI-Enterprise blade6/7	
最大ゲスト数(G):	10	デフォルト
事前作成ゲスト(P):	2	デフォルト
ゲスト名:	w2k8r2-E- %ID%	デフォルト
	例 w2k8r2-E-001A	
▶ 未使用のゲストを	消明除します	
後	2週	
	ОК СА	ancel Help

2X テンプレートのプロパティ

バーチャル ゲスト クローンの保存場所の構成

[詳細] タブの [フォルダー] 入力 フィールドで、2X テンプレートから新しく作成するゲスト クローンを保存するフォルダーを構成できます。このオプションは、Hyper-V、Hyper-V Failover Cluster、VMware vCenter、および Citrix XenServer を使用している場合に利用できます。

2メテンフレートのフロパティ ? 🗙						
プロパティ 詳細	SysPrep ライセンスキー					
グループの追加	(F): C:\ClusterStorage\Volume1\clones					
	ゲストを作成するフォルダーを選択する;	か変更して下さい.				
	OK	Cancel Help				

バーチャル ゲスト クローンの保存場所の構成

使用しているハイパーバイザがネイティブ プールをサポートしている場合、新しく作成するゲ ストクローンは、指定した [ネイティブブール] に含まれます。このオプションは、VMware ESX および VMware vCenter を使用している場合に利用できます。

バーチャル ゲスト クローンの SysPrep の構成

[SysPrep] タブ (以下のスクリーンショットを参照) では、2X テンプレート内のバーチャル ゲ スト クローンの SysPrep 設定を構成できます。以下のオプションを構成できます。

- コンピューター名
- オーナー名
- 組織
- 管理者パスワード

- Workgroup に追加する:バーチャル ゲスト クローンをワークグループに含める場合は、このオプションを選択し、ワークグループを指定します。
- ドメインに参加:バーチャル ゲスト クローンをドメインに含める場合は、このオプション を選択し、ドメインと、ドメインに参加するための認証情報を指定します。

2Xテンプレートのプロパティー		? ×
プロパティ 詳細 SysPrep	ライセンスキー	
コンピュータ名:	w2k8r2-E-%ID%	
オーナー名:	2xTesting	
組織:	2xtesting	
管理者パスワード:	•••••	
〇 Workgroup(ご追加する	·	
ワークグループ:	WORKGROUP	
◎ ドメインに参加		
ドメイン:	2x.testing	
管理者:	administrator@2x.testing	
パスワード:	•••••	
	OK Cancel H	lelp

バーチャル ゲスト クローンの SysPrep の構成

バーチャル ゲスト クローンのライセンス キーおよび有効ライセンス数の構成

[ライセンス] タブで、オペレーティング システムのライセンス キーと有効ライセンス数を指 定できます。

テンプレートのオペレーティング システムのアップデート

サービス パックや新しいソフトウェアのインストールなど、テンプレートのオペレーティング システムのアップデートが必要になった場合、テンプレートをメンテナンス モードにする必要 があります。テンプレートをメンテナンス モードにするには、テンプレート リストでテンプレ ート名を選択し、[タスク] ドロップダウン メニューから [メンテナンス] をクリックします。

**注意**:メンテナンス モードの期間は、ゲストからクローンを作成できません。また、2X テンプレート リストのエントリがグレー アウトされます。

メンテナンス モード中にテンプレート OS が起動され、この OS を変更できます。変更を適用 したら、[メンテナンス] ボタンを再度クリックすることで、テンプレートのメンテナンス モー ドをオフにできます。

**注意**:メンテナンス モード中にテンプレート 0S に適用したアップデートは、新しく作成するクローンにのみ影響します。すでに作成されたクローンには影響しません。

### パーシスタント ゲスト

バーチャル ゲストから公開されたアプリケーションまたはデスクトップがパーシスタントとし て設定されている場合、ユーザーがアプリケーションまたはデスクトップを最初に起動したとき に、Publishing Agent によってパーシスタント ゲスト ルールが作成されます。パーシスタン ト ゲスト ルールには、[パーシスタント ゲスト] タブからアクセスできます(以下のスクリー ンショットを参照)。



[パーシスタント ゲスト] タブからパーシスタント ゲストを構成

パーシスタント ゲスト ルールの削除

パーシスタント ゲスト ルールを削除するには、[パーシスタント ゲスト] タブでルールを選択 し、[タスク] ドロップダウン メニューから [削除] をクリックします。すべてのルールを削除 する場合は、CTRL+A キーを押してすべてのルールを選択し、削除キーを押します。

パーシスタント ゲスト ルールの自動削除の構成

[パーシスタント ゲスト] タブの下部にある [以下の時間使われていない場合は、自動的にパーシスタント デスクトップを削除する] ドロップダウン メニューで、未使用のパーシスタント ゲ スト ルールを保持する最大時間を指定できます。この時間を経過した後、このルールは自動的 に削除されます。また、必要な時間を手動で入力することもできます(1 週と 3 日など)。

## ゲストからのバーチャル デスクトップの公開

ゲストまたはゲスト クローンからバーチャル デスクトップを公開するには、次の手順を実行します。

**1** [公開] カテゴリーをクリックし、上部のナビゲーション バーから [デスクトップ] アイコ ンをクリックします。
**2** ウィザードの最初のステップで [バーチャル デスクトップ] を選択し、[次へ] をクリック します。

デスクトップの種類の選択 ?>
どの種類のデスクトップを公開しますか?
C デスクトップ(T)
ターミナルサーバーからデスクトップを公開する.
© バーチャルデストップ(V) 📫
バーチャルデスクトップホストからデスクトップを公開する.
○ パソコンのデスクトップ(R)
パソコンからナスクトッフを公開する。
< Back Next > Cancel Help

デスクトップ公開ウィザードからバーチャル デスクトップを選択

- 3 ウィザードの2番目のステップでは、[バーチャルデスクトップ]セクションで[氏名]と [説明]を入力します。同じセクションにある[アイコン変更]ボタンをクリックして、異なるアイコンを構成することもできます。
- **4** [プロパティ] セクションでは、バーチャル デスクトップをどの場所から公開するかを指定 する必要があります。次のオプションがあります。
  - 1. 任意のゲスト: [プールから] ドロップダウン メニューで指定したプールから公開
  - 2. 特定のゲスト
  - 3. ゲスト:ユーザー名または IP と名前が同じ場合、[プールから] ドロップダウン メニュ ーで指定したプールから公開
  - 4. 指定の 2X テンプレート: [2X テンプレート] ドロップダウン メニューで指定した 2X テ ンプレートから公開

- 5. [個別] オプションを選択すると、ユーザーの最初の接続時にパーシスタント ゲスト ル ールが作成されます。
- 6. [デスクトップサイズ] セクションでは、デスクトップの解像度を指定できます。

バーチャルデストップ		? ×
¥-A		
「バーチャルデストップ゠		
氏名(M):		
記述(R):		
	アイコン変更(G)	
- วือパティ		
接続先(C)	任意のゲスト	•
プールから(F):	<default></default>	<b>_</b>
	,	☑ 個別
サイズ(Z):	フルスクリーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
		-
	(EPP-6.1A)	
	< Back Finish Cancel	Help

公開するデスクトップの構成

7. 準備が完了したら、[完了]をクリックしてアプリケーションを公開します。

## ゲストからのアプリケーションの公開

ゲストまたはゲスト クローンからアプリケーションを公開するには、次の手順を実行します。

- **1** [公開] カテゴリーをクリックし、上部のナビゲーション バーから [アプリケーション] ア イコンをクリックします。
- 2 ウィザードの最初のステップで [バーチャル ゲスト] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 3 ウィザードの2番目のステップで、[1つのアプリケーション]を選択し、[次へ]をクリックします。

- 4 ウィザードの3番目のステップでは、[ターゲット]入力フィールドの横にある[参照]ボ タンをクリックして、アプリケーションを参照します。これにより、すべての詳細情報が読 み込まれます。また、以下の手順に従って、すべてのオプションを手動で構成することもで きます。
- **5** [アプリケーション] セクションで [氏名] と [説明] を入力します。
- 6 [実行] ドロップダウン メニューで、アプリケーションを通常のウィンドウで実行するか、 最大化するか、または最小化するかを指定します。
- 7 [ターゲット]入力フィールドで、アプリケーションのインストール先のパスを指定します。 実行ファイルの新しいパスを指定するには、[参照(...)]ボタンをクリックし、実行ファ イルを参照します。パスを手動で入力する場合は、Windows 環境変数を使用します。
- 8 [スタート]入力フィールドで、元のオブジェクトまたは他の関連ファイルが含まれるフォル ダーを指定します。たとえば、アプリケーションが別の場所のファイルを使用しなければな らないことがあります。この場合、そのフォルダーの場所を指定します。これで、公開済み のアプリケーションは、起動時に、必要なファイルを探すことができます。
- **9** (オプション)アプリケーションの起動時にアプリケーションに渡す必要があるパラメータ ーを [パラメーター]入力フィールドに指定できます。
- **10** [バーチャル ゲストの設定] セクションでは、アプリケーションをどの場所から公開するか を指定する必要があります。次のオプションがあります。
  - 任意のゲスト: [プールから] ドロップダウン メニューで指定したプールから公開
  - 特定のゲスト
  - ゲスト:ユーザー名または IP と名前が同じ場合、[プールから] ドロップダウン メニュ ーで指定したプールから公開
  - 指定の 2X テンプレート: [2X テンプレート]ドロップダウン メニューで指定した 2X テ ンプレートから公開

**11** [個別] オプションを選択すると、ユーザーの最初の接続時にパーシスタント ゲスト ルール が作成されます。

バーチャルデスクトップ	<b>アブリケーション</b>	? ×
- <->		
- 👻 – Á		
ロアップリケーション	லர்தோ	
氏名(N):	2X Console	
記述(⊂):	Application	
実行(R):	通常のウインドウ	<b>•</b>
ターゲット(T):		
スタート(I):		
パラメーター(P):		
	アイコン変更(G)	
ーバーチャルゲストの	の設定	
接続先(O):	任意のゲスト	<b>•</b>
ブールから(F):	<default></default>	<b>•</b>
	F	☑ 個別
	< Back Finish Cancel	Help

公開するバーチャル アプリケーションの構成

12 準備が完了したら、[完了] をクリックしてアプリケーションを公開します。

# ゲストからのドキュメントの公開

ゲストまたはゲスト クローンからドキュメントを公開するには、次の手順を実行します。

- システム メニューで [公開] をクリックし、上部のナビゲーション バーで [ドキュメント] アイコンをクリックします。
- 2 ウィザードの最初のステップで [バーチャル ゲスト] を選択し、 [次へ] をクリックします。

3 2番目のステップで、参照するドキュメント タイプを指定します。また、[ドキュメントタイプ指定]入力フィールドでカスタム ドキュメント タイプを指定することもできます。準備が完了したら、[次へ]をクリックします。

ドキュメントタイプ選択	? ×
ドキュメントタイプ ブラウズを選択( <u>5</u> ):	
71119-	
GPP2 Audio/Video (*.3g2;*.3gp2)	
GPP Audio/Video (*.3gp)*.3gpp)	
ADTS Audio (*.AAC;*.ADT;*.ADTS)	
Microsoft Access Add-in (*.accda;*.mda)	
Microsoft Access Database (*.accdb;*.mdb)	
Microsoft Access Signed Package (*.accdc)	
Microsoft Access ACCDE Database (*.accde)	
Microsoft Access Runtime Application (*.accdr)	
Microsoft Access Template (*.accdt)	
Microsoft Access Add-in Data (*.accdu;*.mdt)	
ドキュメントタイプ指定(拡張子をセミコロンで区切る 例*.text;*.texts)( <u>C</u> )	
< <u>B</u> ack <u>N</u> ext > Cancel Hel	P

ドキュメントのドキュメント タイプの指定

- 4 ウィザードの3番目のステップでは、[ターゲット]入力フィールドの横にある[参照]ボ タンを使用してドキュメントを参照します。他のすべてのエントリのデータは自動的に読み 込まれます。すべてのエントリを手動で構成する場合は、次の手順を実行します。
- 5 [アプリケーション] セクションでドキュメントの [氏名] と [説明] を入力します。
- 6 [実行] ドロップダウン メニューで、アプリケーションを通常のウィンドウで実行するか、 最大化するか、または最小化するかを指定します。
- 7 [ターゲット]入力フィールドで、ドキュメントの保存先のパスを指定します。実行ファイル の新しいパスを指定するには、[参照(...)]ボタンをクリックし、ドキュメントを参照し ます。パスを手動で入力する場合は、Windows 環境変数を使用します。
- 8 [スタート] 入力フィールドで、元のドキュメントまたは他の関連ファイルが含まれるフォル ダーを指定します。たとえば、アプリケーションが別の場所のファイルを使用しなければな らないことがあります。この場合、そのフォルダーの場所を指定します。これで、公開済み のアプリケーションは、起動時に、必要なファイルを探すことができます。

- **9** (オプション)アプリケーションの起動時にアプリケーションに渡す必要があるパラメータ ーを [パラメーター]入力フィールドに指定できます。
- **10** [アイコン変更] ボタンをクリックして、公開済みのアプリケーションのアイコンを変更でき ます。また、[詳細設定] ボタンをクリックして、ショートカット オプションを構成できま す。
- **11** [バーチャル ゲストの設定] セクションでは、アプリケーションをどの場所から公開するか を指定する必要があります。次のオプションがあります。
  - 1. 任意のゲスト: [プールから] ドロップダウン メニューで指定したプールから公開
  - 2. 特定のゲスト
  - 3. ゲスト:ユーザー名または IP と名前が同じ場合、[プールから] ドロップダウン メニュ ーで指定したプールから公開
  - 4. 指定の 2X テンプレート: [2X テンプレート] ドロップダウン メニューで指定した 2X テ ンプレートから公開
- **12** [個別] オプションを選択すると、ユーザーの最初の接続時にパーシスタント ゲスト ルール が作成されます。

バーチャルデ	スクトゥブア	ブリケーション					? ×
-🝫-							
	X	×///					
ロアップリ	ケーションの対	追加					
氏名(	N): r	eadme					
記述(	c): [	est Document					
実行(	R): j	画常のウインドウ					•
ターゲ	אל(ד):						
スター	ŀ(I): [						
パラメ	-ター(P):						
	]	アイコン変更(	G)				
ロバーチ	ャルゲストの副	設定					
接続的	ŧ(0):	任意のゲス	٢				
プール	から(F):	<default></default>					
						☑ 個別	J I
		< B	iack	Finish	Canc		Help

公開するバーチャル ドキュメントの構成

準備が完了したら、[完了]をクリックしてアプリケーションを公開します。

#### 第 7 章

### リモート PC

#### この章の内容

リモート PC の追加	79
手動による 2X PC Agent のインストール	81
リモート PC の構成	83
リモート PC からのデスクトップ、アプリケーション、およびドキュメントの4	公開
	87

### リモート PC の追加

#### はじめに

デスクトップとアプリケーションは、サポートされる任意のバージョンの Microsoft Windows ワ ークステーション オペレーティング システム (リモート PC) から公開することもできます。 リモート PC は、ファーム内のゲストの仮想マシンと似ていますが、通常は、スタンドアロンの PC インストールです。

次の手順に従って、リモート PC をファームに追加します。

Parallels 2X Remote Application Server Console を起動し、[ファーム] カテゴリーを選択して、ナビゲーション ツリーから [リモート PC] を選択します。

 2 [タスク] ドロップダウン メニューから [追加] をクリックし、セットアップ ウィザードを 起動します。プロンプトが表示されたら、サーバーの IP アドレスまたは FQDN を指定して、 [次へ] をクリックします。

リモートPC追	in and the second se	? ×
リモート		次(1)
MAC:		キャンセル(の)

リモート PC の追加ウィザードの最初のステップ

3 このステップで、Parallels 2X Remote Application Server は 2X Agent がリモート PC に インストールされているかどうかを確認します。インストールされている場合は、この手順 のステップ 7 に進みます。インストールされていない場合は、[インストール] をクリック して、2X Agent をリモートでインストールします。

P(	エージェント情報		? ×
	ゲスト: エージェント: バージョン: DHCP: OSタイプ:	10.124.4.141 確認されませんでした。 N/A N/A N/A	OK
	ステイタス: 接続中	<b>です</b> インストール( <u>D</u> ).	**

リモート PC エージェントがインストールされているかどうかを Parallels 2X Remote Application Server が確認

- 4 [2X PC Agent] ダイアログで、2X Agent のインストール先の PC 名を選択します。
- 5 (オプション)別の認証情報を使用して PC に接続し、2X Agent をインストールするには、 [認証情報の上書き]を選択し、その認証情報を指定します。

6 [インストール] をクリックしてエージェントをインストールし、インストールが正常に終了 したら [完了] をクリックします。2X Agent の自動インストールが失敗する場合は、次のセ クション「手動による 2X PC Agent のインストール」を参照してください。

2X PC Agent をインストールしています	? ×
「サーバー	
サーバー(5): 10.124.4.141	
O5: Windows (x32)	
55Hポート(R): 22 デフォルト	
	7
□ 認証情報の上書き(V)	
ユーザー名(U);	
パスワード(P):	
ステイタス 進行	_
サーバー ステイタス タイプ	
☑ 10.124.4.141 待機 パソコン	

リモートでの 2X PC Agent のインストール

**7** [追加] をクリックして、リモート PC を Parallels 2X Remote Application Server のサー バー ファームに追加します。

ヒント: Active Directory 内にある既存のターミナル サーバーと Citrix サーバーを検索 するには、[検索] ボタンを使用します。

## 手動による 2X PC Agent のインストール

2X PC Agent のシステム要件

- Windows XP, Windows Vista, Windows  $7_\circ$
- Microsoft が規定した、ターミナルサービス環境を展開する場合のハードウェア要件と同じものが適用されます。

手動による 2X PC Agent のインストール

- 1 管理者アカウントを使用して、2X PC Agent のインストール先の PC にログインし、他のす べてのアプリケーションを閉じます。
- **2** Parallels 2X Remote Application Server インストール ファイル (2XAppServer.msi) を PC にコピーし、そのファイルをダブルクリックしてインストールを起動します。
- **3** プロンプトが表示されたら、[次へ] をクリックし、エンド ユーザー使用許諾契約書に同意 します。
- **4** 2X Agent のインストール先のパスを指定し、[次へ] をクリックします。
- 5 [カスタム]を選択し、 [次へ] をクリックします。
- 6 2X PC Agent をクリックし、ドロップダウン メニューから [このコンピュータのローカルディスクに全ての機能をインストールします] を選択します(以下のスクリーンショットを参照)。

Parallels 2X Remote Application Server 設定	
インストレーションタイプを選択してください。 希望するインストレーションタイプを選択してください。	
Parallels 2X Remote Application Server         X •         2X Publishing Agent         X •         2X SecureClientGateway         X • <td>Feature Description RAS は公開デスクトップ及び公開アプリケーションの負荷分散を 行います。この為、ネットワークの 中心となるサーバー(ターミナルサ ーバーでもかまいません)にインス トールする必要があります。</td>	Feature Description RAS は公開デスクトップ及び公開アプリケーションの負荷分散を 行います。この為、ネットワークの 中心となるサーバー(ターミナルサ ーバーでもかまいません)にインス トールする必要があります。
戻る(8)	次へ(N) キャンセル

手動によるリモート PC エージェントのインストール

- 7 他のすべてのコンポーネントが選択解除されていることを確認し、[次へ]をクリックします。
- 8 [インストール] をクリックしてインストールを開始し、インストールが終了したら[完了] をクリックします。

注意:2X Agent は構成を必要としません。2X Agent をインストールしたら、Parallels 2X Remote Application Server Console でリモート PC 名を選択し、[エージェントをチェック] をクリックし てください。エージェントが適切にインストールされている場合、ステイタスは[エージェントをイン ストールしました]に変わります(以下のスクリーンショットを参照)。

### リモート PC の構成

リモート PC のプロパティにアクセスするには、Parallels 2X Remote Application Server Console のナビゲーション ツリーからコンピューター名を選択し、[タスク] ドロップダウン メ ニューで [プロパティ] をクリックします。以下のすべての構成オプションを [リモート PC の プロパティ] から構成できます。

ファームでのリモート PC の有効化または無効化

デフォルトでは、PC はファーム内で有効になっています。これを無効にすると、公開済みのア プリケーションとバーチャル デスクトップを提供できなくなります。

ファームで PC を無効にするには、[リモート PC のプロパティ]の[プロパティ] タブで [リ モート PC の有効化] オプションをオフにします。ファーム内でコンピューターを有効に戻すに は、該当のチェック ボックスを選択(有効に)します。

リモートPCのプロパティ				? ×	
プロパティ Agent設定   RDP プリンター					
▼ リモート PC有効化	▼ 1)モートPC有効化(E)				
リモートP <u>C</u> :	10.124.4.141				
масアドレス( <u>M</u> ):	CC-AF-78-A5-F9-B7		MACアドレス取得( <u>G</u> )		
לם ו- אבוו ( <u>R</u> ):	RDP				
▶ コンソールの起動時	ੀ(JPC Agentを検証(⊻)				
፤党明( <u>□</u> ):					
		ОК	Cancel Hel;	>	

[リモート PC のプロパティ] の [プロパティ] タブ

リモート PC の IP アドレスの構成または変更

[プロパティ] タブでは、リモート PC の IP アドレスの変更や説明の追加もできます。PC のリ ソースにアクセスするときに PC を自動的にオンに切り替えるには、MAC アドレスも必要です。

**注意**:マシンの自動オンを可能にするには、PC BIOS オプションの WOL (Wake on LAN) オプションを 有効にする必要があります。

リモート PC エージェントの構成

ファーム内の各リモート PC には 2X Agent がインストールされています。これにより、Parallels 2X Remote Application Server と PC 間の接続が提供されます。このエージェントは、[リモート PC のプロパティ]の [Agent 設定] タブから構成できます。

リモートPCのプロパティ		? ×
プロパティ Agent設定 RDP フ	クレター	
ポート( <u>P</u> ):	3389	デフォルト
□ ダイレクトアドレス変更(日)		
ダイレクトアドレス(1):	10.124.4.141	
Parallels 2X RDPはダイレ	フトアドレスを使いデスクトップに直接接続しています	•
接続タイムアウト( <u>o</u> ):	5分	<b>_</b>
公開セッションのタイムアウト(!	山: 25秒	<b>_</b>
クライアントURL/メールのリダ イレクションを許可(W):	有効	<b>_</b>
	OK Cano	:el Help

[Agent 設定] タブからリモート PC エージェントの設定を構成

リモート デスクトップ接続ポートの構成

PC でデフォルト以外のポートが構成されている場合、別のリモート デスクトップ接続ポート番号を [ポート]入力フィールドに指定します。

ダイレクト アドレスの変更

このアドレスはダイレクト接続モードでのみ使用されます。このアドレスには、内部 IP または 外部 IP を使用できます。リモート PC のダイレクト アドレスを変更するには、[ダイレクト ア ドレス変更] オプションを選択し、新しいアドレスを [ダイレクト アドレス] 入力フィールド に指定します。

接続タイムアウトの変更

リモート PC の接続タイムアウトを増加するには、[接続タイムアウト] のドロップダウン メニ ューから値を選択します。

セッション タイムアウトの変更

ユーザーが公開済みのアプリケーションを閉じた後にバックグラウンドで各セッションの接続 を維持する時間を変更するには、[公開セッションのタイムアウト]入力フィールドに新しい値 を指定します。このオプションを使用して、PCへの不必要な再接続を回避します。

URL およびメールのリダイレクトの構成/アクセスの制限

サーバーのリソースではなくクライアント コンピューターのローカル アプリケーションを使用 して http リンクと mailto リンクを開くことができるようにするには、[クライアントURL/メ ールのリダイレクションを許可] オプションを有効にします。リダイレクトを禁じる URL のリ ストを構成するには、サイトの [設定] ノードの [URL リダイレクト] タブに移動します。 リモート PC の RDP 印刷の構成

[RDP プリンター] タブでは、リダイレクトされたプリンターの名前変更フォーマットを構成で きます。フォーマットは、サーバーのどのバージョンと言語を使用しているかによって異なる場 合があります。

ሀቺ፦ኑ₽ርወታወለታィ <b>?</b> ×
プロパティ Agent設定 RDP プリンター
RDP プリンター名のフォーマット(D): プリンター名(コンピューター名から)内のセッション番 リダイレクトされるプリンターの名前に従って、 "RDP Printer Name Format"を 選択します。フォ ーマットは、使用中のサーバーのバージョンと言語により変わります。
□ プリンタ名にセッション数を入れない(R) □ プリンタ名にクライアント名を入れな()(F) 注意: RDPプリンターの名前変更機能は、Windows 2008上で、MS Easyプリントテクノロジーでは動作しません。
OK Cancel Help

[リモート PC のプロパティ] の [RDP プリンター] タブから RDP 印刷を構成

[RDP プリンター名のフォーマット] ドロップダウン メニューから以下のいずれかのオプション を選択し、構成したサーバーに固有の RDP プリンター名のフォーマットを設定します。

- プリンター名 (コンピューター名から) 内のセッション番号
- セッション番号 (コンピューター名から) プリンター名
- プリント名 (リダイレクト セッション番号)

[RDP プリンター] タブで指定できるその他の RDP 印刷オプションは次のとおりです。

- プリンター名にセッション数を入れない
- プリンター名にクライアント名を入れない

# リモート PC からのデスクトップ、アプリケー ション、およびドキュメントの公開

リモート PC からのデスクトップの公開

ターミナル サーバーからデスクトップを公開するには、次の手順を実行します。

- **1** システム メニューで [公開] をクリックし、上部のナビゲーション バーで [デスクトップ] アイコンをクリックします。
- 2 ウィザードの最初のステップで[リモート PC のデスクトップ]を選択し、[次へ]をクリックします。
- 3 ウィザードの2番目のステップでは、[デスクトップ]セクションで[氏名]と[説明]を 指定します。同じセクションにある[アイコン変更]ボタンをクリックして、アイコンを構 成することもできます。
- **4** [Remote PC] セクションの [参照] ボタンをクリックして、どのリモート PC からデスクト ップを公開するかを指定します。

5 [デスクトップサイズ] セクションでは、デスクトップの解像度を指定できます。

パソコンのデスクトップ		? ×
V A		
「パンコンのデスクト	ップ	
氏名(M):	Desktop	
記述(R):	Publishing a Desktop from a Remote PC	1
	アイコン変更(G)	
עבעא		
パソコンの選択(9	i):	]
- วือパティ		
サイズ(Z):	フルスクリーン	
	幅(I): 高さ(H):	
	< Back Finish Cancel Help	

リモート PC から公開するデスクトップの構成

6 準備が完了したら、[完了]をクリックしてデスクトップを公開します。

リモート PC からのアプリケーションの公開

ターミナル サーバーからアプリケーションを公開するには、次の手順を実行します。

- 1 システム メニューから [公開] カテゴリーを選択し、上部のナビゲーション バーで [アプ リケーション] アイコンをクリックします。
- 2 ウィザードの最初のステップで [Remote PC] を選択し、[次へ] をクリックします。
- **3** リモート PC からは 1 つのアプリケーションのみを公開できます。したがって、ウィザードの2番目のステップでは[次へ]をクリックします。
- 4 ウィザードの3番目のステップでは、アプリケーションを構成する必要があります。

**注意**: [ターゲット]入力フィールドの横にある[参照]ボタンを使用して、アプリケーションの実行ファイルを参照します。アプリケーションを選択すると、他のすべての構成オプションのデータが自動的に読み込まれます。アプリケーションのすべてのエントリを手動で構成する場合は、次の手順を実行します。

- 5 [アプリケーション] セクションで [氏名] と [説明] を入力します。
- 6 [実行] ドロップダウン メニューで、アプリケーションを通常のウィンドウで実行するか、 最大化するか、または最小化するかを指定します。
- 7 [ターゲット]入力フィールドの[参照]ボタンをクリックし、アプリケーションの実行ファ イルを参照することで、アプリケーションの実行ファイルが配置されている場所へのパスを 指定します。パスを手動で指定する場合は、Windows 環境変数を使用します。
- 8 [スタート]入力フィールドのデータは自動的に読み込まれます。アプリケーションの起動フ オルダーとは異なるフォルダーを指定するには、[参照]ボタンをクリックします。たとえば、 アプリケーションを実行するのに別の場所のファイルを使用する必要がある場合、異なるフ オルダーを指定することがあります。この場合、そのフォルダーの場所を指定します。これ で、公開済みのアプリケーションは、起動時に、必要なファイルを探すことができます。
- **9** (オプション)アプリケーションの起動時にアプリケーションに渡す必要があるパラメータ ーを [パラメーター]入力フィールドに指定できます。
- **10** [アイコン変更] ボタンをクリックして、公開済みのアプリケーションのアイコンを変更できます。
- 11 [リモート PC の設定] セクションの [参照] ボタンをクリックして、アプリケーションの公開元のリモート PC をリストから選択します。

リモートPCアプリケーシ	עבי	? ×
N A		
<u>□ アップリケーション(</u>	றப்பிய	
氏名(N):	EXCEL	
記述(⊂):	Application	
実行(R):	通常のウインドウ	•
ターゲット(T):	%ProgramW6432%\Microsoft Office\Office15\EXCEL.EXE	
スタート(I):	%ProgramW6432%\Microsoft Office\Office15	
パラメーター(P):		_
×	アイコン変更(G)	
┌リモートPCの設定	I	
Remote PC:		
	< Back Finish Cancel	Help

リモート PC から公開するアプリケーションの構成

12 準備が完了したら、[完了] をクリックしてアプリケーションを公開します。

リモート PC からのドキュメントの公開

ターミナル サーバーからドキュメントを公開するには、次の手順を実行します。

- **1** [公開] カテゴリーをクリックし、上部のナビゲーション バーで [ドキュメント] アイコン をクリックします。
- **2** ウィザードの最初のステップで [Remote PC] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 3 2番目のステップでは、公開するドキュメントのドキュメントタイプを指定します。事前に 定義されたリストからドキュメントタイプを選択するか、[ドキュメントタイプ指定]入力 フィールドにカスタムドキュメントタイプを指定できます。準備が完了したら、[次へ]を クリックします。

ドキュメントタイプ選択	? ×
ドキュメントタイプ ブラウズを選択(ら)	
<u>71µg-</u>	
3GPP2 Audio/Video (*.3g2;*.3gp2)	
General G	
ADTS Audio (*.AAC;*.ADT;*.ADTS)	
Microsoft Access Add-in (*.accda;*.mda)	
Microsoft Access Database (*.accdb;*.mdb)	
Microsoft Access Signed Package (*.accdc)	
Microsoft Access ACCDE Database (*.accde)	
Microsoft Access Runtime Application (*.accdr)	
Microsoft Access Template (*.accdt)	
Microsoft Access Add-in Data (*.accdu;*.mdt)	
ドキュメントタイプ指定(拡張子をセミコロンで区切る 例*.text;*.texts)( <u>C</u> )	
< <u>B</u> ack <u>N</u> ext > Cancel Help	

ドキュメントのドキュメント タイプの指定

**注意**:ウィザードの3番目のステップでは、[ターゲット]入力フィールドの横にある[参照]ボタンを使用して、ドキュメントを参照します。ドキュメントを選択すると、他のすべての構成オプションのデータが自動的に読み込まれます。すべてのエントリを手動で構成する場合は、次の手順を実行します。

- 4 ウィザードの3番目のステップでは、[アプリケーション] セクションでドキュメントの[氏 名] と [説明] を指定します。
- 5 [実行] ドロップダウン メニューで、ドキュメントを通常のウィンドウで実行するか、最大 化するか、または最小化するかを指定します。
- 6 [ターゲット]入力フィールドの [参照] ボタンをクリックし、ドキュメントを参照すること で、ドキュメントが配置されている場所へのパスを指定します。パスを手動で指定する場合 は、Windows 環境変数を使用します。
- 7 [スタート]入力フィールドのデータは自動的に読み込まれます。ドキュメントの起動フォル ダーとは異なるフォルダーを指定するには、[参照] ボタンをクリックします。
- 8 (オプション)アプリケーションの起動時にアプリケーションに渡す必要があるパラメータ ーを[パラメーター]入力フィールドに指定できます。また、[アイコン変更]ボタンをクリ ックして、公開ドキュメントのアイコンを変更できます。
- **9** [リモート PC の設定] セクションの [参照] ボタンをクリックして、ドキュメントの公開元 のリモート PC をリストから選択します。

リモートPCアプリケーシ	<u>؟</u> لاه	×
		$\neg$
No A		
<u>□ アップリケーション(</u>	の追加	
氏名(N):	readme	
記述(⊂):	Text Document	
実行(R):	通常のウインドウ	
ターゲット(T):	%SystemDrive%\ServiceLogs.txt	
スタート(I):	%SystemDrive%	
パラメーター(P):		
<i>i</i>	アイコン変更(G)	
┌リモートPCの設定	2	
Remote PC:		
	< Back Finish Cancel Help	

リモート PC から公開するドキュメントの構成

10 準備が完了したら、[完了] をクリックしてドキュメントを公開します。

## 公開およびフィルタリング

#### この章の内容

公開済みのアプリケーションの管理	92
公開デスクトップの管理	102
公開ドキュメントの管理	108
公開フォルダーの管理	118
ユーザー、クライアント、IP、MAC、ゲートウェイによるルールのフィルタリンク	グ
	120

## 公開済みのアプリケーションの管理

公開は、Parallels 2X Remote Application Server の基本的な使用法および機能の 1 つです。 Parallels 2X Remote Application Server を使用して、以下を公開できます。

- アプリケーション
- フォルダー
- デスクトップ
- 既存のアプリケーション
- ・ ドキュメント

アプリケーションの公開

アプリケーションを公開し、ネットワーク上のユーザーがそのアプリケーションにアクセスでき るようにするには、以下のいずれかの手順を実行することができます。

- ターミナル サーバーからアプリケーションを公開する(ここを参照、47 ページ)。
- リモート PC からアプリケーションを公開する(ここを参照、87 ページ)。
- ゲストからアプリケーションを公開する(ここを参照、74ページ)。

公開済みのアプリケーションの構成

ウィザードを使用してアプリケーションを公開する場合、名前、実行ファイルのパスなど、いく つかのアプリケーション パラメーターを指定する必要があります。これらのオプションと他の いくつかのオプションは、アプリケーションの公開後に変更することもできます。

公開済みのアプリケーションを変更するには、[公開]カテゴリーの[公開したリソース]ツリ ーからアプリケーションを選択します。

Parallels 2X Remote # ファイル(F) 表示(V) 言語	Application Server Console (L) ヘルプ(H)			
<b>ビッ ビッ</b> アプリケーション グループ	この こ	<mark>ב</mark> עאנ+א	٢	
サイト2XRAS 👻				administrator@2x.testing 👻
アテーム アテーム マテーム マテーム マテーム マテート/バランス マード/バランス	<ul> <li>○ 公開済みのリソース</li> <li>○ Applications</li> <li>○ TS Applications</li> <li>○ MSPUB</li> <li>○ WINWORD</li> <li>○ Google Chrome</li> <li>○ Sight(D)</li> <li>○ 追加(D)</li> </ul>	情報 ・ ブアップ(U)	HAL 公開元の選択 アプリケーション: 説明: 最終変更者: 変更目時: 作成者: 作成者: 作成者: 作成日時: ターゲット: スタート: スタート: スタート: スタート: スタート: スタート: スタート: マジックアイル拡張子に関 同時ライセンス: セッションシェアリング: サイト2XRASの設定: ↓	アブリケーション フィルター ショートカット ファイル拡張子 #115: EXCEL Application Administrator@2X O6/17/15 08:33:43 administrator@2X O5/06/15 11:28:21 %ProgramW6432%\Microsoft Office\Office15\EXCE %ProgramW6432%\Microsoft Office\Office15\EXCE %ProgramW6432%\Microsoft Office\Office15\EXCE ###IR 有効 ※ 無効(B) 「ビノート(5) 、 検索(E)
				開じる(C) Apply Help

公開したリソースの構成

公開済みのアプリケーションにアクセスできるサイトの構成

デフォルトでは、公開済みのアプリケーションはすべてのサイトで利用できます。アクセスを特定のサイトまたはサイト グループに制限するには、公開済みのアプリケーション オプションの [サイト] タブでサイトのリストを選択します。

Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F)表示(V)言語(L) ヘルプ(H)		
E I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	ב אַראָדאָ אָראָ edminie	etrator@2v tection
UTEXRAS U	adminis	kTator@2x.testing ◆ > ファイル拡張引▲ ▶ #べてから公開する(P) 今回だけ(C) 検索(E)
	閉じる( <u>C</u> )	Apply Help

公開済みのアプリケーションにアクセスできるサイトの構成

アプリケーションの公開元のサーバーの構成

[公開するサーバーの選択] タブで、どのターミナル サーバーから公開済みのアプリケーション を公開するかを指定できます(以下のスクリーンショットを参照)。

Sarallels 2X Remote Applic     ファイル(F) 表示(V) 言語(L) /	cation Server Console ヘルプ(H)	
<b>ごう ごう </b> アプリケーション グループ デス	します。 <pします。< p=""> <pします。< p=""> <pします。< p=""> <pします。< p=""> <pします。< p=""> <pします。< p<="" th=""><th>المعنى المعنى المعنى المركز المعنى المعنى</th></pします。<></pします。<></pします。<></pします。<></pします。<></pします。<>	المعنى المعنى المركز المعنى
ታイト2XRAS 👻		administrator@2×.testing 👻
ファーム     ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	CI開済みのリソース     Applications	情報       サイト       公開元の選択       アプリケーション       フィルター       ショートカット       >         ●       サイト古の全サーバー       ●       サーバーグループ:       ●       ●       「日の中バー?:       ●       ●       タスク マ         ●       「日の中バー?:       ●       タスク マ       ●       サーバー       ●       タスク マ         ●       「日の124.4.19       ●       10.124.4.20       ●
		閉じる(C) Apply Help

公開済みのアプリケーションの公開元サーバーの構成

サーバー固有のアプリケーション設定の構成

デフォルトでは、[ターゲット] (アプリケーションのパス)、[スタート]、[パラメーター] に 構成した設定は、アプリケーションの公開元のすべてのサーバーに適用されます。いずれかのサ ーバー上の異なるパスにアプリケーションをインストールする場合は、[アプリケーション] タ ブの [サーバー] ドロップダウン メニューを使用して、[ターゲット]、[スタート]、[パラメー ター] 入力フィールドにそのサーバー固有の新しい設定値を指定します。

🛣 Parallels 2X Remote 。 ファイル(F) 表示(V) 言語	Application Server Console (L) ヘルプ(H)	
<b>ごう ごう</b> アプリケーション グループ	ごろう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょ	בא אטער אין
サイト2XRAS 👻		administrator@2x.testing 🔻
レンジャント マテーム ロードパランス こパーサルプリント ユニパーサルプリント ユニパーサルスキャン 登読 技統	公開済みのリソース  Applications   MSPUB   MINWORD  Google Chrome   EXCEL  MSACCESS  POWERPNT    Chrome   GROOVE   VDI Applications   Comments   Documents   Desktops   Reserved.ReportViewerWet    S 追加(D)	Image: Target Application         実行:       通常のウインドウ         アイコン変更(g)         サーバー設定         サーバー(S):       マブフォルト設定>         ターゲット(I):       %ProgramW6432%\Microsoft Office\Office15\EXCEL.EXE         パラメーター(P):         デフォルト設定(使用(E)
		開じる(C) Apply Help

公開済みのアプリケーションのサーバー固有の設定の構成

公開済みのアプリケーションのショートカット オプションの構成

ユーザーのデスクトップにショートカットを作成したり、相対フォルダーを使用してスタート フォルダーにショートカットを作成したり、オート スタート フォルダーにショートカットを作 成したりできるようにするには、アプリケーション設定の [ショートカット] タブをクリックし ます。オート スタート ショートカットを有効にした場合、クライアントで実行されるオペレー ティング システムの開始時にアプリケーションが開始されます。 注意:このオプションは、すべてのオペレーティングシステムで利用できるとは限りません。



公開済みのアプリケーションのショートカット オプションの構成

ファイル拡張子の関連付けの構成

特定の公開済みのアプリケーションに対するファイル拡張子の関連付けを変更するには、アプリ ケーション設定の[ファイル拡張子]タブをクリックします。



公開済みのアプリケーションのファイル拡張子の関連付けの構成

注意:アプリケーションが公開されると、標準で関連付けられたファイル拡張子のリストが自動 的に生成されます。事前構成されたリストを変更し、既存のエントリの追加、削除、変更を行う には、[ファイル拡張子]オプションを選択します。 新しい拡張子をリストに追加するには、[タスク] ドロップダウン メニューで [追加] をクリッ クし、拡張子を指定します(以下のスクリーンショットを参照)。

ファイル拡張子追加	? ×
ファイル拡張子をセミコロンで区切って入力してください。 (例 txt;rtf;text)	ок キャンセル
*.txt	

新しいファイル拡張子の構成

拡張子のパラメーターを変更するには、拡張子を選択し、[タスク] ドロップダウン メニューで [プロパティ] をクリックします。

公開済みのアプリケーションのライセンス オプションの構成

以下のライセンス オプションを構成するには、[ライセンス] タブをクリックします。

セッションの共有を無効にする:このオプションを有効にすると、公開済みのアプリケーション を1つのセッションに分離することができます。したがって、同じアプリケーションを2回起 動すると、アプリケーションの複数のインスタンスが、分離された同一セッションで実行されま す。

ユーザーにアプリケーションの 1 インスタンスのみ開始を許可:このオプションを有効にする と、ユーザーは 1 つのアプリケーション インスタンスのみを起動できます。

同時使用ライセンス:このオプションを使用して、アプリケーションが実行できる同時インスタ ンスの最大数を指定します。たとえば、アプリケーションのライセンスによって、実行できるア プリケーション インスタンスの数が 10 個に限られている場合、[同時使用ライセンス] オプシ ョンを 10 に設定します。これにより、この制限に達した場合、他のユーザーが他のインスタン スを実行できなくなります。 制限を超えた場合:このドロップダウン メニューでは、ライスンス設定された上記の制限のい ずれかを超えた場合に Parallels 2X Remote Application Server で実行するアクションを指定 できます。



公開済みのアプリケーションのライセンス オプションの構成

公開済みのアプリケーションの表示設定の構成

公開済みのアプリケーションの色濃度、解像度、幅、高さを構成するには、[ディスプレイ]タ ブをクリックします。これらのオプションをデフォルトのままにすると、クライアント指定のオ プションが引き継がれます。 また、このセクションでは、アプリケーションをロードする前に 2X ユニバーサル プリンター のリダイレクトを待機するオプションを有効にすることもできます。このオプションを有効にす ると、2X ユニバーサル プリンターのリダイレクトの最大待ち時間(秒単位)も構成できます。

🥈 Parallels 2X Remote a ファイル(E) 表示(V) 言語	Application Server Console (L) ヘルプ(H)	
アプリケーション グループ	こう つうくび   この つうくび   この つうくび   この つうくび   この つうくび   この つうした    この つうした	لی از میں اور
サイト2XRAS 👻		administrator@2×.testing 🔻
レードパランス ロードパランス こニパーサルプリント ユニパーサルスキャン 登読 ちライアントマネージー	C 公開済みのリソース     Applications     Applications     Applications     MSPUB     WINWORD     Google Chrome     EXCEL     MSACCESS     POWERPNT     chrome     GROOVE     POUERPNT     chrome     GROOVE     POUERPNT     chrome     GROOVE     POERPNT     Chrome     GROOVE     POUERPNT     chrome     GROOVE     POUERPNT     chrome     GROOVE     POERPNT     chrome     GROOVE     POUERPNT     chrome     GROOVE     POWERPNT     chrome     GROOVE     GROOVE     POWERPNT     chrome     GROOVE     POWERPNT	アブリケーション       フィルター       ショートカット       ファイル拡張子       ライセンス       ディスプレイ         ディスプレイ       アブリケーションの表示前にすべての2×ユニバーサルブリンターがりダイレクトされるま で待機して下さい(U)       アブリケーションの表示前にすべての2×ユニバーサルブリンターがりダイレクトされるま         最大/存ち時間は(U)       20       秒         ● 濃度(C):       指定されたクライアント       ▼         解像度(E):       指定されたクライアント       ▼         幅(W):       0       □         高さ(H):       0       □         設定は、すべてのサイトに複製されたわけではありません。       □ 設定を複製する(B)
		閉じる( <u>C</u> ) <u>A</u> pply Help

公開済みのアプリケーションの表示オプションの構成

フィルター

フィルターに関する包括的な説明については、次のサイトを参照してください。 http://www.2x.com/support/ras-documentation/manual/filter-rules/ http://www.2x.com/support/ras-documentation/manual/filter-rules/

## 公開デスクトップの管理

デスクトップの公開

デスクトップを公開し、ネットワーク上のユーザーがそのデスクトップにアクセスできるように するには、以下のいずれかの手順を実行することができます。

- ターミナル サーバーからデスクトップを公開する(ここを参照、45 ページ)。
- リモート PC からデスクトップを公開する(このトピックを読む)。
- ゲストからバーチャル デスクトップを公開する(ここを参照、72ページ)。

公開デスクトップの構成

ウィザードを使用してデスクトップを公開する場合、表示サイズなど、すべてのデスクトップ設 定を指定する必要があります。これらのオプションと他のいくつかのオプションは、デスクトッ プの公開後に変更することもできます。 公開デスクトップを変更するには、[公開]カテゴリーの[公開したリソース]ツリーからデス クトップを選択します。



公開デスクトップの構成

公開デスクトップにアクセスできるサイトの構成

デフォルトでは、公開デスクトップはすべてのサイトで利用できます。アクセスを特定のサイト またはサイト グループに制限するには、公開デスクトップ オプションの [サイト] タブでサイ トのリストを選択します。

器 Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)		
E I E E E E E E E E E E E E E E E E E E	באיז אראב+אי	
サイト2XRAS 👻		administrator@2x.testing 💌
アァーム アァーム ・ Desktops ・ Mark F、 ・ Andrew L. Sharon H. Sean B. ・ Michael S. Simon B. ・ Michelle C. Pierre F. Paul G. · Kevin A. Nick B. George G. Bill P. James J. Ethan A. Alexander I. Samuel E. Reserved.ReportViewert ▼ ↓ 2.5/7アントマネージで	惜報 サイト 公開元の選択 デスクトップ フィルター ショー     この公開項目は、以下のサイトで利用できます。:     シ≥XRAS     Site 2     Site 2     Site 2     Site 2     Site 2     Site 3     Site 4     Site 4     Site 3     Site 4     Sit	<ul> <li>トカット</li> <li>すべてから公開する(P)</li> <li>今回だけ(C)</li> <li>今回だけ(C)</li> </ul>
	閉じる(⊆)	Apply Help

公開デスクトップにアクセスできるサイトの構成

デスクトップの公開元のサーバーの構成

[公開するサーバーの選択] タブで、どのターミナル サーバーから公開デスクトップを公開する かを指定できます(以下のスクリーンショットを参照)。

器 Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F) 表示(Y) 言語(L) ヘルプ(H)	
Find Find Control and C	administrator@2v testing 🖛
Image: State of the sta	duininistratur@22.testing ◆ フトップ フィルター ショートカット   ■ タスク マ ■ タスク マ ■ 第次(B) 作量 ソート(S) ■ 検索(E)

公開デスクトップの公開元のサーバーの構成

デスクトップの解像度および他のプロパティの構成

デスクトップ名、記述、アイコン、解像度を構成するには、[デスクトップ] タブをクリックします。[デスクトップ] タブでは、バーチャル インスタンスではなくサーバーのコンソールにユ ーザーが接続できるようにバーチャル デスクトップを構成することもできます。

Parallels 2X Remote A ファイル(F) 表示(V) 言語(	pplication Server Console L) ヘルプ(H)		
	デスクトップ 既存のアプリケーション	ی ۲۴۹۱/۱۰	administrator@2v tacting 🗢
アアーム       ファーム       ロードバランス       ご問       ユニバーサルブリント       ユニバーサルスキャン       装続       クライアントマネージー	<ul> <li>Documents</li> <li>Desktops</li> <li>Mark F.</li> <li>Andrew L.</li> <li>Sharon H.</li> <li>Sean B.</li> <li>Michael S.</li> <li>Simon B.</li> <li>Michelle C.</li> <li>Pierre F.</li> <li>Paul G.</li> <li>Kevin A.</li> <li>Nick B.</li> <li>George G.</li> <li>Bill P.</li> <li>James J.</li> <li>Ethan A.</li> <li>Alexander I.</li> <li>Samuel E.</li> <li>Reserved.ReportViewert</li> <li>Image J.</li> <li>Ethan A.</li> <li>Alexander I.</li> <li>Samuel E.</li> <li>Reserved.ReportViewert</li> <li>James J.</li> <li>Image J.</li></ul>	情報       サイト       公開元の選択       デスクトップ         デスクトップ       名前(M):       Simon B.         説明(P):       アイコン変更(g)         コンソールに接続(C)         デスクトップサイズ         サイズ(Z):       フルスクリーン         幅(W):       高さ(H):	
		閉じる( <u>C</u> )	Apply Help

デスクトップ解像度の構成

公開デスクトップのショートカット オプションの構成

ユーザーのデスクトップにショートカットを作成したり、相対フォルダーを使用してスタート フォルダーにショートカットを作成したり、オート スタート フォルダーにショートカットを作 成したりできるようにするには、デスクトップ設定の[ショートカット]タブをクリックします。 オート スタート ショートカットを有効にした場合、クライアントで実行されるオペレーティン グ システムの開始時にアプリケーションが開始されます。 注意:このオプションは、すべてのオペレーティングシステムで利用できるとは限りません。



公開デスクトップの 2X ショートカット オプションの構成

フィルター

フィルターに関する包括的な説明については、次のサイトを参照してください。 http://www.2x.com/support/ras-documentation/manual/filter-rules/ http://www.2x.com/support/ras-documentation/manual/filter-rules/

### 公開ドキュメントの管理

#### ドキュメントの公開

ドキュメントを公開し、ネットワーク上のユーザーがそのドキュメントにアクセスできるようにするには、以下のいずれかの手順を実行することができます。

- ターミナル サーバーからドキュメントを公開する(ここを参照、50ページ)。
- リモート PC からドキュメントを公開する(ここを参照、87 ページ)。
- ゲストからドキュメントを公開する(ここを参照、76ページ)。

公開ドキュメントの構成

ウィザードを使用してドキュメントを公開する場合、ドキュメントの保存場所など、すべてのド キュメント設定を指定する必要があります。これらのオプションと他のいくつかのオプションは、 ドキュメントの公開後に構成することもできます。
公開ドキュメントを変更するには、[公開]カテゴリーの[公開したリソース]ツリーから公開 ドキュメントを選択します。



公開ドキュメントの構成

公開ドキュメントにアクセスできるサイトの構成

デフォルトでは、公開ドキュメントはすべてのサイトで利用できます。アクセスを特定のサイト またはサイト グループに制限するには、公開ドキュメント オプションの [サイト] タブでサイ トのリストを選択します。

公開ドキュメントにアクセスできるサイトの構成

ドキュメントの公開元のサーバーの構成

[公開するサーバーの選択] タブで、どのターミナル サーバーから公開ドキュメントを公開する かを指定できます(以下のスクリーンショットを参照)。



公開ドキュメントの公開元のサーバーの構成

サーバー固有のドキュメント設定の構成

デフォルトでは、[ターゲット] (アプリケーションのパス)、[スタート]、[パラメーター] に 構成した設定は、ドキュメントの公開元のすべてのサーバーに適用されます。いずれかのサーバ ー上の異なるパスにドキュメントを保存する場合は、[アプリケーション] タブの [サーバー] ド ロップダウン メニューを使用して、[ターゲット]、[スタート]、[パラメーター] 入力フィール ドにそのサーバー固有の新しい設定値を指定します。

🛣 Parallels 2X Remote Applicatio ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルブ	n Server Console î(H)		
	ロック 既存のアプリケーション コーVDI Applications	「「「「「「」」 「「「「」」 「「「「」」」 「「「「」」」 「「「」」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 」 」 」	administrator@2x.testing ▼ 見元の選択 アプリケーション フィルター 「ショートカット 「ファイル拡張 子▲ 【 ▶ 】
アァーム □-ドバランス □-ドバランス ユニバーサルフリント ユニバーサルスキャン 接続 クライアントマネージーで ○ 追加(1)	<ul> <li>Remote PC Applicatic pocuments</li> <li>Textpublish</li> <li>Parallels Manual 14</li> <li>Sean B.</li> <li>Michael S.</li> <li>Simon B.</li> <li>Michael S.</li> <li>Simon B.</li> <li>Michelle C.</li> <li>Pierre F.</li> <li>Paul G.</li> <li>Kevin A.</li> <li>Nick B.</li> <li>George G.</li> <li>Bill P.</li> <li>D</li> <li>Pill A.</li> </ul>	アプリケーション 名前( <u>い</u> ): 第代( <u>い</u> ): 第代: 第代: 第一バー設定 サーバー( <u>5</u> ): ターゲット( <u>1</u> ): スタート( <u>1</u> ): パラメーター( <u>P</u> ):	
			開じる(C) Apply Help

公開ドキュメントのサーバー固有の設定の構成

公開ドキュメントのショートカット オプションの構成

ユーザーのデスクトップにショートカットを作成したり、相対フォルダーを使用してスタート フォルダーにショートカットを作成したり、オート スタート フォルダーにショートカットを作 成したりできるようにするには、アプリケーション設定の [ショートカット] タブをクリックし て、そのように構成します。オート スタート ショートカットを有効にした場合、クライアント で実行されるオペレーティング システムの開始時にアプリケーションが開始されます。 注意:このオプションは、すべてのオペレーティングシステムで利用できるとは限りません。



公開ドキュメントのショートカット オプションの構成

ファイル拡張子の関連付けの構成

特定の公開ドキュメントに対するファイル拡張子の関連付けを変更するには、ドキュメント設定 の[ファイル拡張子]タブをクリックします。



公開ドキュメントのファイル拡張子の関連付けの構成

**注意**:ドキュメントが公開されると、標準で関連付けられたファイル拡張子のリストが自動的に生成 されます。事前構成されたリストを変更し、既存のエントリの追加、削除、変更を行うには、[ファイ ル拡張子]オプションを選択します。 新しい拡張子をリストに追加するには、[タスク] ドロップダウン メニューで [追加] をクリッ クし、拡張子を指定します(以下のスクリーンショットを参照)。

ファイル拡張子追加	? ×
ファイル拡張子をセミコロンで区切って入力してください。 (例 txt;rtf;text)	OK キャンセル
*.txt	

新しいファイル拡張子の構成

拡張子のパラメーターを変更するには、拡張子を選択し、[タスク] ドロップダウン メニューで [プロパティ] をクリックします。

公開ドキュメントのライセンス オプションの構成

以下のライセンス オプションを構成するには、[ライセンス] タブをクリックします。

セッションの共有を無効にする:このオプションを有効にすると、公開済みのアプリケーション を1つのセッションに分離することができます。したがって、同じアプリケーションを2回起 動すると、アプリケーションの複数のインスタンスが、分離された同一セッションで実行されま す。

ユーザーにアプリケーションの 1 インスタンスのみ開始を許可:このオプションを有効にする と、ユーザーは 1 つのアプリケーション インスタンスのみを起動できます。

同時使用ライセンス:このオプションを使用して、アプリケーションが実行できる同時インスタ ンスの最大数を指定します。たとえば、アプリケーションのライセンスによって、実行できるア プリケーション インスタンスの数が 10 個に限られている場合、[同時使用ライセンス] オプシ ョンを 10 に設定します。これにより、この制限に達した場合、他のユーザーが他のインスタン スを実行できなくなります。 制限を超えた場合:このドロップダウン メニューでは、ライスンス設定された上記の制限のい ずれかを超えた場合に Parallels 2X Remote Application Server で実行するアクションを指定 できます。



公開ドキュメントのライセンス オプションの構成

公開ドキュメントの表示設定の構成

公開ドキュメントの色濃度、解像度、幅、高さを構成するには、[ディスプレイ] タブをクリックします。これらのオプションをデフォルトのままにすると、クライアント指定のオプションが引き継がれます。

また、このセクションでは、アプリケーションをロードする前にユニバーサル プリンターのリ ダイレクトを待機するオプションを有効にすることもできます。このオプションを有効にすると、 ユニバーサル プリンターのリダイレクトの最大待ち時間(秒単位)も構成できます。

Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
E E E E E E E E E E E E E E E E E E E	ーション ドキュメント administrator@2x.testing マ
・ VDI Applications ・ Remote PC Applic ・ Parallels Manual 1 ・ Paul 6 ・ Nick B. ・ Nick B. ・ Oscorge G. ・ Bill P. ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	<ul> <li>アブリケーション フィルター ショートカット ファイル拡張子 ライセンス ディスプレイ</li> <li>ディスプレイ</li> <li>ディスプレイ</li> <li>アブリケーションの表示前にすべての2×ユニバーサルブリンターがりダイレクトされるま</li> <li>最大待ち時間は(M) 20 秒</li> <li>色濃度(C): 指定されたクライアント</li> <li>解像度(E): 指定されたクライアント</li> <li>幅(W): 0</li> <li>高さ(H): 0</li> <li>設定は、すべてのサイトに複製されたわけではありません。</li> <li>□設定を複製する(R)</li> <li>① ムーブダウン(Q) ② 無効(B) 1 ソート(S) 、検索(E)</li> </ul>
	開じる(C) Apply Help

公開ドキュメントの表示オプションの構成

フィルター

フィルターに関する包括的な説明については、次のサイトを参照してください。 http://www.2x.com/support/ras-documentation/manual/filter-rules/ http://www.2x.com/support/ras-documentation/manual/filter-rules/

#### 公開フォルダーの管理

はじめに

フォルダーを使用して、公開したリソースを整理できます。また、フォルダーを使用して、フィ ルター オプションを利用することもできます。たとえば、特定のフォルダーに対してフィルタ ー オプションを構成した後、公開したリソースを新しいフォルダーの下に移動すると、フィル ター設定が継承されます。フィルターの詳細については、フィルターに関するセクション(ペ ージ)を参照してください。

フォルダーの公開

フォルダーを公開するには、次の手順を実行します。

- **1** [公開] カテゴリーに移動し、上部のナビゲーション バーから [フォルダー] アイコンをク リックします。
- **2** [フォルダー]入力フィールドでフォルダー名を指定し、[説明]入力フィールドに説明を入力します。

**3** (オプション)フォルダーのアイコンを変更するには、[アイコン変更] ボタンをクリックします。

グループ		? ×
- <del>V</del> -A		
グループ名(E):	My desktop	
記明( <u>D</u> ):	Desktop	
アイコン(1):	アイコン変更(C)	
	< Back Finish Cancel	Help

フォルダーの公開

4 [完了]をクリックしてフォルダーを公開します。

公開フォルダーの管理

公開した他のリソースの場合と同様に、[公開したリソース] ナビゲーション ツリーから名前を 選択することで、公開フォルダーを構成できます。以下のオプションを利用できます。

[サイト] タブ

[サイト] タブでは、公開フォルダーにアクセスできるサイトを指定できます。

[フォルダー] タブ

[フォルダー] タブでは、フォルダー名と説明を構成できます。

[フィルター] タブ

[フィルター] タブでは、公開フォルダーのフィルター オプションを構成できます。フィルター オプションは、そのフォルダー内にある他のすべての公開されたリソースによって継承されます。 フィルター オプションの詳細については、次のページでフィルターに関するセクションを参照 してください。http://www.2x.com/support/ras-documentation/manual/filter-rules/

フォルダーへの公開したリソースの追加

公開したリソースをフォルダーに追加するには、公開したリソースの名前を選択し、[公開した リソース]ナビゲーション ツリーのフォルダーの下にドラッグします。そのフォルダー内にあ るすべての公開したリソースは、フォルダーのフィルター オプションを継承します。

# ユーザー、クライアント、IP、MAC、ゲートウェ イによるルールのフィルタリング

はじめに

デフォルトでは、公開したリソースに対してフィルター ルールは構成されていません。したが って、公開したリソースを、2X Remote Application Server に接続したすべてのユーザーが利 用できます。フィルターを使用すると、公開したリソースにアクセスできるユーザーとアクセス できないユーザーを制御できます。次のいずれかのフィルター オプションに基づいて複数のフ ィルター ルールを作成できます。

- ユーザー
- クライアント(管理されたクライアント)
- IP アドレス
- MAC アドレス
- ゲートウェイ

フィルター ルールを指定したら、ルールに一致するユーザーのみが、公開したリソースにアクセスできます。

新しいフィルター ルールの作成

公開したリソースのオプションから、公開したリソースの名前を選択し、[フィルター] タブを クリックすることで、フィルター ルールを作成できます。

Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)				
E 1 またい この				
サイト2XRAS 👻			admini	strator@2x.testing 🔻
アアーム アアーム アアーム ・ Applications ・ TS Applications ・ MSPUB ・ WINWORD ・ Google Chrome ・ EXCEL ・ MSACCESS ・ POWERPNT ・ CROOVE ・ VDI Applications ・ EXCEL ・ MSACCESS ・ POWERPNT ・ CROOVE ・ VDI Applications ・ EXCEL ・ MSACCESS ・ POWERPNT ・ CROOVE ・ VDI Applications ・ Reserved.ReportViewerWet ・ Shared Applications	公開元の選択 アブリケーション フ フィルターのタイプを選択 ユー 「次のユーザーを許可する(L): ユーザ デフォルト対象(Y): ユーサ ブラウジングモード(B): セキュ	<sup>1</sup> イルター   ショートカット   ファイ ザ   タイプ <sup>-</sup> ~とグループ ア識別子 (グループネスティン)	イル拡張子   ライセンス   SID びとリネームをサポート〉	
クライアントマネージャー	→スといへ ブアップ(凹) ] [↓ ムーブダウン(①)	■ (3 無効(B) (1 ソート()	5) (、検索(E)	
			閉じる(C)	Apply Help

公開したリソースのフィルター オプション

ユーザーによるフィルター

公開したリソースに特定のユーザー、一連のユーザー、またはグループがアクセスできるように するには、次の手順を実行します。

- 1 [制限するタイプを選択] ドロップダウン メニューから [ユーザー] を選択します。
- 2 [次のユーザーを許可する] オプションを有効にします。
- **3** [デフォルト対象] ドロップダウン メニューから、ユーザー、グループ、またはその両方を 指定するかどうかを選択します。

- **4** Active Directory または Windows OS への接続に使用する参照モードを [ブラウジング モード] ドロップダウン メニューで指定します。次のオプションがあります。
- 5 セキュア識別子:これは推奨される最速の方法です。グループネスティングとリネームをサポートします。
- 6 WinNT: WinNT は LDAP よりも高速ですが、グループ ネスティングをサポートしません。後 方互換性のためにのみ使用されます。
- **7** LDAP:LDAP はグループ ネスティングをサポートしますが、低速です。後方互換性のためにのみ使用されます。
- 8 [タスク] ドロップダウン メニューから [追加] を選択し、[フィルターのタイプを選択] ダ イアログ ボックスでユーザーまたはグループを指定します。
- **9** [OK] をクリックし、オブジェクトをリストに追加します。

🚟 Parallels 2X Remote	Application Server Console			
ファイル(F) 表示(V) 言語	計(L) ヘルプ(H)			
アプリケーション グループ	この こ	<b>ک</b> ۲/کلایة		
ታብ ኮ2XRAS 📼				administrator@2x.testing 💌
	<ul> <li>□- 公開済みのリソース</li> <li>□- Applications</li> <li>□- TS Applications</li> </ul>	情報   サイト   公開元の選	駅   アプリケーション   フィルター   シ   コーザ	/ョートカット   ファイル拡張う◀   ▶
	MSPUB WINWORD Google Chrome	<ul> <li>「▼ 〕次のユーザーを許可する</li> </ul>		 حريم ©
公開	EXCEL MSACCESS POWERPNT	ユーザ SID://2X/tester1000 SID://2X/tester1001	タイプ user user	SID S-1-5-21-249900 S-1-5-21-249900
 フ=バーサルプリント	GROOVE     GROOVE     Growence     Growence     Growence     Growence     Growence     Growence     Growence     Growence     Documents     Desktops     Growence     Gro	SID://2X/tester1002 SID://2X/tester1003 SID://2X/tester1004	user user user	5-1-5-21-249900 5-1-5-21-249900 5-1-5-21-249900
アニバーサルスキャン		↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓	ユーザーとグループ	
		ブラウジングモード(B):	セキュア識別子(グループネスティン	グとリネームをサポート) 💌
接続	<	設定は、9へ(( 	リサイトに移設されたわけではめりませ	
クライアントマネージャー	◎ 追加(⊵)    ◎ 削除  ↑ ム	ーブアップ(山) 🗍 ムーブダウン	(O) 🚫 無効(B) 🏦 ソード(S	5) 🔍 検索(E)
			閉じる(⊆	) <u>A</u> pply Help

ユーザーベースのフィルター ルールの構成

リストからオブジェクトを削除するには、リストからエントリを選択し、[タスク] ドロップダ ウン メニューから [削除] を選択します。 SID への既存のユーザーの変換

WinNT または LDAP を使用して指定したユーザーまたはグループを変換するには、エントリを選択し、[タスク] ドロップダウン メニューから [変換] を選択します。

クライアントによるフィルター

公開したリソースに特定のクライアントまたは一連のクライアントがアクセスできるようにす るには、次の手順を実行します。

- 1 [制限するタイプを選択] ドロップダウン メニューから [クライアント] を選択します。
- **2** [次のクライアントを許可する] オプションを有効にします。
- **3** [タスク] ドロップダウン メニューで [追加] をクリックし、[クライアント選択] ダイアロ グ ボックスからクライアントを選択します。

ライアント選択		? ×
名前	<b></b>	更新(R)
2X-T5		
2XDC		ОК
2XRAS-MARKETING		1000
2XRA52008		44700
2XSOFTWARE-2		
2XSOFTWARE-3		
3CX-PHONESYS		
AD1	-1	
コンピュータ名に * をワイルドカードとして使用してください(U)		
2X-T5		

フィルター オプションへのクライアントの追加

**4** [OK] をクリックし、クライアントをリストに追加します。

Parallels 2X Remote Applica ファイル(F) 表示(V) 言語(L) へ, E (L) (V) 言語(L) へ, アプリケーション グループ デスク	tion Server Console ルプ(H) う EG りトップ 既存のアプリケーション	<ul> <li>الحالة</li> <li>الحالة</li> </ul>
サイト2XRAS 👻		administrator@2x.testing 🔻
アアーム アアーム アアーム	(開済みのリソース     Applications     TS Applications     MSPUB     WINWORD     Google Chrome     EXCEL     MSACCESS     POWERPNT     Chrome     GROOVE     Chrome     GROOVE     POWERPNT     Chrome     GROOVE     POWERPNT     Chrome     GROOVE     Douments     Documents     Desktops     Reserved.ReportViewerWet	情報 サイト 公開元の選択 アプリケーション フィルター ショートカット ファイル拡張子・・       フィルターのタイプを選択     クライアント       マ 泳のクライアントを許可する(L):     ● ● タスク マ       クライアント     ●       DORISG-PC     PAULG       STEPHEN-PC     ●
接続		設定は、すべてのサイトに複製されたわけではありません。 □ 設定を複製する(R)

クライアントベースのフィルター ルールの構成

リストからクライアントを削除するには、リストからエントリを選択し、[タスク] ドロップダ ウン メニューで [削除] をクリックします。

IP アドレスによるフィルター

公開したリソースに特定の IP アドレス、特定の IP アドレス リスト、または特定の IP アドレス範囲からアクセスできるようにするには、次の手順を実行します。

**1** [制限するタイプを選択] ドロップダウン メニューから [IP アドレス] を選択します。

2 [次の IP アドレスを許可] オプションを有効にします。

**3** [IPv4] メニューまたは [IPv6] メニューの [タスク] ドロップダウンから [追加] をクリッ クし、IP アドレスまたは IP アドレス範囲を指定して、[OK] をクリックします。

Pv4 アドレス						? >
• IP( <u>s</u> )						ОК
IP	0	0	0	0		
						キャンセル
○ 範囲(R)						
から	0	0	0	0	1	
まで	0	0	0	0	1	

IP ベースのフィルター ルールにおける IP または IP 範囲の構成

既存の IP 範囲を変更するには、リストからエントリ名を選択し、[プロパティ] をクリック します。リストから IP アドレスまたは IP アドレス範囲を削除するには、リストからエン トリを選択し、[タスク] ドロップダウン メニューで [削除] をクリックします。

Service A Service A Parallels 2X Remote A     ファイル(F) 表示(V) 言語	Application Server Console (L) ヘルプ(H)	
この	ごろう ごろう しょう しょう こう こうしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	ل ۲×۱۰۰۰
サイト2XRAS 👻		administrator@2x.testing 🔻
レードバランス	・ 公開済みのリソース Applications TS Applications ··································	<ul> <li>         I 抽報 サイト 公開元の選択 アプリケーション フィルター ショートカット ファイル拡張子     </li> <li>         フィルターのタイプを選択 IP アドレス         アドレス     </li> <li>         アドレスを許可(Δ):     </li> <li>         I IPv4 開始アドレス         I IPv4 終了アドレス     </li> <li>         10.124.4.20     </li> </ul>
ユニバーサルプリント		<ul> <li>● タスクマ</li> <li>IPv6 開始アドレス</li> <li>IPv6 終了アドレス</li> <li>FE80:0000:0000:0202:B3FF;FE1E:</li> </ul>
接続 クライアントマネージー	▲ ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●	設定は、すべてのサイトに複製されたわけではありません。 □ 設定を複製する(R) -ブアップ(U) ↓ ムーブダウン(Q) ② 無効(B) 1 少ート(S) ↓ 検索(E)
		開じる(C) Apply Help

IP ベースのフィルター ルールの構成

MAC アドレスによるフィルター

公開したリソースに MAC アドレスまたは特定の MAC アドレス リストからアクセスできるよう にするには、次の手順を実行します。

- 1 [制限するタイプを選択] ドロップダウン メニューから [MAC] を選択します。
- **2** [以下の MAC を許可] オプションを有効にします。

**3** [タスク] ドロップダウン メニューで [追加] をクリックし、MAC アドレスを選択して、[OK] をクリックします。

🔀 Parallels 2X Remote A ファイル(F) 表示(V) 言語	Application Server Console (L) ヘルプ(H)	
	このようには、このようには、「「「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「「」」では、「」」では、「「」」では、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、「」、、「」、、「」、、「」、、、、、、	
サイト2XRAS 👻		administrator@2×.testing 🔻
アァーム     アァーム     マードバランス     マードバランス     マードバランス     マードバランス     マードバランス     マードバランス     マードバランス     マードバーサルプリント     マーバーサルスキャン     マードバーサルスキャン     マード     マー     マー	Comparison of the second s	情報 サイト 公開元の選択 アブリケーション フィルター ショートカット ファイル拡張子・・ フィルターのタイブを選択 MAC          マ 以下のMACを許可。(し):       ● ● タスク ▼         MAC       ●         CC-AF-78-A5-F9-B7       ● ● タスク ▼         08-00-27-5C-F8-FC       ●         00-1F-1E-02-A7-CD       FF-FF1-0EC-2D-68         C8-2A-14+1B-9F-F8       FF-FF-EE-2B-D9-46         08-00-27-08-66-95       ● ○ ● 20-27-08-66-95         CD26E0A18AF3EE22       ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●
接続		設定は、すべてのサイトに複製されたわけではありません。
クライアントマネージ	ⓒ 追加(⊵) ) (═ 前邩余) (▮ ムヽ	-ブアップ(U) 👢 ムーブダウン(Q) 🚫 無効(B) (↑🛔 ソート(S) 🔍 検索(E)
		開じる(C) Apply Help

MAC ベースのフィルター ルールの構成

ゲートウェイによるフィルター

公開したリソースにユーザーが特定のゲートウェイからのみ接続できるようにするには、次の手順を実行します。

- **1** [制限するタイプを選択] ドロップダウン メニューから [ゲートウェイ] を選択します。
- 2 [これらのゲートウェイ経由の接続を許可する] オプションを有効にします。

**3** ゲートウェイに複数の IP アドレスがある場合は、[タスク] ドロップダウン メニューで [追加] をクリックし、ゲートウェイとその IP アドレスを指定します。

サーバー編集	? ×
ゲートウェイ:	2XRA52008 OK
IP:	10.124.4.20 ・ キャンセル

ゲートウェイベースのフィルター ルールにおけるゲートウェイとその IP アドレスの構成

リストからゲートウェイを削除するには、リストからエントリを選択し、[タスク] ドロップダ ウン メニューで [削除] をクリックします。

複数のフィルター ルールの構成

公開した特定のリソースに対して複数のフィルター ルールを構成した場合、接続ユーザーは構成されたすべてのルールを満たさない限り、公開したリソースにアクセスできません。

たとえば、ユーザー admin に対してユーザー フィルター ルールを構成し、MAC アドレス AB-CD-12-34-A1-C2 に対して別の MAC アドレス フィルター ルールを構成した場合、ユーザー admin は MAC アドレス AB-CD-12-34-A1-C2 のクライアントからアクセスしない限り、公開され たリソースにアクセスできません。

#### 2X Secure Client Gateway

#### この章の内容

2X Secure Client Gateway およびタイプ	129
2X Secure Client Gateway の追加	131
手動による 2X Secure Client Gateway の追加	133
2X Secure Client Gateway の管理	135
ゲートウェイのトンネリングポリシー	150

# 2X Secure Client Gateway およびタイプ

2X Secure Client Gateway は、すべての Parallels 2X Remote Application Server データを 1 つのポート上でトンネリングします。また、2X Secure Client Gateway は、セキュアな接続を 提供し、Parallels 2X Remote Application Server へのユーザー接続点となります。 デフォルトでは、2X Secure Client Gateway は、Parallels 2X Remote Application Server が インストールされているサーバーと同じサーバーにインストールされます。サイトに別の 2X Secure Client Gateways を追加することで、増加するユーザーやロードバランス接続に対応し、 冗長性を備えることができます。



サイト内のゲートウェイのアクセス リスト

ゲートウェイの仕組み

Parallels 2X Remote Application Server サイトで 2X Secure Client Gateway を使用する方 法について説明します。

- 1 ゲートウェイがユーザー接続リクエストを受け取ります。
- 2 ゲートウェイはファーム内のすべての Publishing Agent にリクエストを転送します。
- **3** Publishing Agent は、ロード バランス チェックと Active Directory セキュリティ検索を 実行し、セキュリティ権限を取得します。

- 4 公開したリソースをリクエストしたユーザーに許可が与えられると、Publishing Agent はゲ ートウェイ サービスに応答を返します。応答には、ユーザーがどのターミナル サーバーに 接続できるかについての詳細が含まれます。
- **5** クライアントは、接続モードに応じて、ゲートウェイを介して RDS サーバーに接続するか、 ゲートウェイを切断して RDS サーバーに直接接続します。

2X Secure Client Gateway のタイプ

通常モード

通常モードのゲートウェイは、ユーザー接続リクエストを受け取った後、要求したユーザーにア クセス権があるかどうかを、Publishing Agent に確認します。通常のゲートウェイを使用する と、大量のリクエストに対応でき、冗長性を向上できます。

転送モード

転送モードのゲートウェイは、すべてのユーザー接続リクエストを、事前に構成されたゲートウェイに転送します。ファイアウォール カスケードを使用する場合は、WAN 接続を LAN 接続から切り離すのに転送モードのゲートウェイが役立ちます。また、転送モードのゲートウェイを使用 すると、問題発生時に LAN を中断することなく WAN セグメントを切断できます。

注意:転送モードのゲートウェイを構成するには、複数のゲートウェイが必要です。

#### 2X Secure Client Gateway の追加

2X Secure Client Gateway をサイトに追加するには、次の手順を実行します。

- 2X Remote Application Server Console を開き、ナビゲーション ツリーから [ゲートウェ イ] ノードを選択します。
- 2 [タスク] ドロップダウン メニューで [インストール] をクリックし、2X Secure Client Gateway の追加ウィザードを起動します。
- **3** ウィザードの最初のステップで、サーバーの FQDN または IP を入力するか、[参照] ボタン をクリックしてリストからサーバーを選択します。
- 4 [モード] ドロップダウン メニューからゲートウェイ モードを選択します。

**5** [転送] モードを選択した場合、トラフィックの転送先のゲートウェイを [転送] ドロップダ ウン メニューで指定し、[次へ] をクリックします。

X Secure Client Ga	tewayの追加	? ×
サーバー( <u>5</u> ):		次
IP( <u>I</u> ):	解決(R)	キャンセル
モード( <u>M</u> ):	通常	
転送先(E):	2XRA52008	
IPアドレスで( <u>o</u> ):	10.124.4.20	

新しいゲートウェイの追加

6 2 番目のステップでは、2X SecureClientGateway サービスをターゲット マシンにリモート でインストールします。別の認証情報セットを使用してサーバーにアクセスするには、サー バー名を選択し、[認証情報の上書き]オプションを選択して、別の認証情報を指定します。

2X SecureClientGateway をインストールしています	? ×
「サーバー	
サー/ \((5); sean-pc	12/11 /hu/
OS: Windows (x32)	492011
55Hポート(R): 22 デフォルト	
□ 認証情報の上書き(V)	
ユーザー名(U); Sean	
パスワード(P):	
ステイタス 進行	
サーバー ステイタス タイプ	
☑ sean-pc 待機 2X Secure Client Gat	

2X SecureClientGateway サービスのインストール

7 [インストール] をクリックして 2X SecureClientGateway のインストールを開始し、インストールが終了したら[完了] をクリックします。

## 手動による 2X Secure Client Gateway の追加

2X Secure Client Gateway を手動でインストールしてファームに追加するには、次の手順を実行します。

- 1 管理者アカウントを使用して、2X Agent のインストール先のサーバーにログインし、他のす べてのアプリケーションを閉じます。
- **2** Parallels 2X Remote Application Server インストール ファイル (2XAppServer.msi) をサ ーバーにコピーし、そのファイルをダブルクリックしてインストールを起動します。
- **3** プロンプトが表示されたら、[次へ] をクリックし、エンド ユーザー使用許諾契約書に同意 します。
- **4** 2X Secure Client Gateway のインストール先のパスを選択し、[次へ] をクリックします。

- 5 インストール タイプの画面から [カスタム] を選択し、[次へ] をクリックします。
- 6 機能ツリーで [2X SecureClientGateway] をクリックし、[このコンピュータのローカルディ スクに全ての機能をインストールします]を選択して、2X Secure Client Gateway をインス トールします(以下のスクリーンショットを参照)。

🛃 Parallels 2X Remote Application Server 設定	
インストレーションタイプを選択してください。	IParallels
希望するインストレーションタイプを選択してください。	2003
Parallels 2X Remote Application Server	Feature Description
2X Publishing Agent	RAS は公開デスクトップ及び公
2X SecureClientGateway	開アプリケーションの負荷分散を
2X Terminal Server Agent	行います。この為、ネットワークの
2X VDI Agent	中心となるサーバー(ターミナルサ
2X Guest Agent	ーバーでもかまいません)にインス
2X PC Agent	トールする必要があります。
戻る(B)	次へ(N) キャンセル

手動による 2X Secure Client Gateway のインストール

- **7** 選択ツリーで他のすべてのコンポーネントが選択解除されていることを確認し、[次へ] をク リックします。
- 8 [インストール] をクリックしてインストールを開始し、インストールが終了したら[完了] をクリックしてウィザードを閉じます。

9 インストールが終了したら、管理者はコンソールを展開し、2X Publishing Agent の配置場 所を構成する必要があります(以下のスクリーンショットを参照)。

7	<mark>Parallels 2X Remo</mark> ァイル(F) 表示(V) 言	o <mark>te Application</mark> 言語(L) ヘルプ(I	Server Console H)				>	<
	<del>ህ</del> ረኑ:	-					利用できません 👻	1
	<u>ゲートウェイ</u> 全 情報 報	管理モード この2X 2XRAS	Secure Client Gateway(វ: 2008: 20002; 10. 124. 4. 18 所有権の変更 モード(M): 2X Publishing Agent: ポート(P):	2X Publishing Agent 14:20002(こより管理されてい) 14:20002 2XRAS2008 20002 55には新続を(使用(U)	ţす. ▼ デフォルト	×	<ul> <li>         ・         ・         は報         ゲートウェイを管理する2X         Publishing Agentを変更できます。         また、次のゲートウェイがデー         タを受取れるようゲートウェイ         の車広送設定が行なえます。     </li> </ul>	
						閉じる(	C) Apply Help	

手動による 2X Secure Client Gateway の構成

## 2X Secure Client Gateway の管理

ゲートウェイ オプションにアクセスするには、[ゲートウェイ] ノードからゲートウェイを選択 し、[タスク] ドロップダウン メニューで [プロパティ] をクリックします。 ゲートウェイの有効化および無効化

デフォルトでは、ゲートウェイはサイト内で有効になっています。ゲートウェイを無効にするに は、[プロパティ] タブで [サイト内の 2X Secure Client Gateway を有効化] オプションをオ フにします。

2X Secure Client G	ateway プロパティ	? ×
לםואדר 🛙 וף קיינ	/ス 「ネットワーク   SSL/TLS   HTML 5   Wyse   詳細   セキュリティ	
▶ サイト内の	2X Secure Client Gateway を有効化(E)	
サーバー( <u>s</u> ):	2XRA52008	
[説明( <u>D</u> ):		
	OK Cancel H	elp

サイトでのゲートウェイの有効化または無効化

Parallels 2X RDP クライアントの接続先の IP アドレスの構成

2X Secure Client Gateway は IPv4 と IPv6 の両方を認識します。デフォルトでは、IPv4 が有 効になっています。選択した 2X Secure Client Gateway に IPv4 だけでなく IPv6 も構成され ている場合、IPv4 または 6 を使用してクライアントがこのゲートウェイに接続できるようにす る設定を、このダイアログから適用できます。

IP( <u>I</u> ):	10.1	24.4.20		解決( <u>R</u> )
IP にバインドーーー 次の IPv4 にバイン	ヾ(∐): ┃<使用可(	能なアドレスすべて:	>	•
次の IPv4 (ご接続を	最適化(_):	利用できるもの無し	<,	•
次の IPv6 にパイン	<sup>%(E);</sup>	能なアドレスすべて:	>	7
)次の IPv6 (ご接続を	最適化(⊆);	利用できるもの無し	/>	-

Parallels 2X RDP クライアントの接続先の IP アドレスの構成

IP のバージョン

次の IP バージョンを使用 - この 2X Secure Client Gateway で使用する IP バージョンを選 択します。次の 3 つのオプションがあります。

- バージョン 4 IPv4 のみを使用します
- バージョン 6 IPv6 のみを使用します
- バージョン 4 と 6 の両方 IPv4 と IPv6 を使用します

**注意**: 2X Secure Client Gateway マシンで利用できる IPv4 と IPv6 の両方を解決するには、[プロ パティ] タブに指定したサーバー名をホスト名として追加する必要があります。

IP - [解決] をクリックすると、選択した IP バージョンに応じて 2X Secure Client Gateway の IP が解決します。

IP にバインド

次の IPv4/ IPv6 にバインド - ここで定義した IP アドレス上で IP address 2X Secure Client Gateway は接続を待機します。特定の IP または利用可能なすべてのアドレスを選択します。

次の IPv4/ IPv6 に接続を最適化 - このゲートウェイと Parallels 2X RDP クライアント間の 接続で高遅延が発生する場合(インターネットなど)、このオプションを使用することで、トラ フィックが最適化され、Parallels 2X RDP クライアントのパフォーマンスが向上します。特定 のアドレスまたは利用可能なすべてのアドレスを選択できます。また、[なし]を選択するとこ のオプションは無効になります。 2X Secure Client Gateway ポートの構成

デフォルトでは、ゲートウェイは TCP ポート 80 上で待機し、すべての Parallels 2X Remote Application Server トラフィックをトンネリングします。ポートを変更するには、[ネットワー ク] タブを選択し、[2X Secure Client Gateway ポート] 入力フィールドで新しいポートを指定 します。

2X Secure Client Gateway プロパティ	? ×
プロパティ IP アドレス ネットワーク SSL/TLS HTML 5 Wyse   詳細   セキュリティ   「設定	_ 1
▼ 2X Secure Client Gateway ボート(S): 88 デフォルト	
<b>■ RDPポート*(<u>R</u>)</b> 3389 デフォルト	
* このポートがターミナルサーバーポートと重複していないことを確認してください。	
✓ 2X Secure Client Gatewayのアドレスを配信する(B)	
☑ RDP UDP データトンネリングを有効化(U)	
✓ クライアントマネージャポート(M): 20009	
✓ RDP DOSアタックフィルターを有効にする(D)	
	P

ゲートウェイ ポートの構成

RDP ポート

負荷分散された基本的なデスクトップ セッションを必要とするクライアントでは、TCP ポート 3389 が使用されます。このポート上の接続では、公開したアイテムはサポートされません。

ゲートウェイの RDP ポートを変更するには、[ネットワーク] タブを選択し、[RDP ポート] オ プションを選択して、新しいポートを指定します。

注意:このポートを変更した場合、ユーザーはリモート デスクトップ クライアント内の接続文 字列にポート番号を追加する必要があります(例:[IP アドレス]:[ポート])。 Windows デバイスで UDP トンネルを有効にするには、[RDP UDP データ トンネリングを有効化] チェックボックスを選択します。Windows デバイスを [クライアント マネージャー] カテゴリ ーから管理するには、[クライアント マネージャー ポート] チェックボックスを有効にします。

[RDP DOS アタックフィルターを有効にする] を有効にすると、同一 IP からの一連の未完了セ ッションが拒否されます。たとえば、Parallels 2X RDP クライアントが、間違った認証情報を 使用して 2X RAS サーバーへの接続を複数回試みた場合、2X RAS はそれ以降の接続の試みを拒 否します。

2X Secure Client Gateway での SSL 暗号化の有効化

ユーザーとゲートウェイ間のトラフィックは常に暗号化されます。HTML 5 ゲートウェイを有効 にして、そのゲートウェイが有効な場合に自己署名証明書を使用して HTTP トラフィックを暗号 化するには、次の手順を実行します。

2X Secure Client Gateway プロ/	९७४ १९४
   	ーク S5L/TLS HTML 5 Wyse   詳細   セキュリティ
☑ SSL有効化(E):	443 デフォルト
許可される SSL バージョン(S):	TLS v1 - TLS v1.2
暗号強度(C):	ſŧ.
暗号(H):	ALL:!aNULL:!eNULL
キーファイル(K):	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
証明 ファイル(T):	
新しい自己発行証明書を作用	成します:
新しい証明書発行(G).	
証明書認証先へ送る新しい書	<b>町明書の要求を作成します</b> :
証明書要求の作成(R).	パブリックキーのインボート(1)
	OK Cancel Help

ゲートウェイでの SSL/TLS サポートの有効化

**1** ゲートウェイ プロパティの [SSL/TLS] タブに移動します。

2 [SSL 有効化] オプションを選択し、ポート番号を構成します(デフォルトは 443)。

- 3 (オプション) 2X Secure Client Gateway で許可される SSL バージョンを以下の [許可される SSL バージョン] ドロップダウン オプションから選択します (デフォルトは [TLS v1 TLS v1.2])。
  - TLS v1.2 のみ (強)
  - TLS v1.1 TLS v1.2
  - TLS v1 TLS v1.2
  - SSL v3 TLS v1.2
  - SSL v2 TLS v1.2 (弱)
- 4 (オプション)証明書の暗号化アルゴリズムの強度として、必要な[暗号強度(C)]を選択 します。
- 5 [新しい証明書発行]をクリックし、必要な詳細情報を入力します。

注意:信頼された機関からの証明書を使用して SSL を有効にするには、次の手順を実行します。

- 6 [保存]をクリックし、すべての詳細情報を保存し、新しい自己署名証明書を生成します。[キ ーファイル] と [証明ファイル]のデータは自動的に読み込まれます。
- **7** [OK] をクリックしてオプションを保存します。

カスタム暗号化

OpenSSL の標準に従って、必要なカスタム暗号化文字列を入力します。2X RAS で使用する暗号 化文字列を以下に示します。

- 低: ALL: !aNULL: !eNULL
- 中:ALL:!aNULL:!ADH:!eNULL:!LOW:!EXP:RC4+RSA:+HIGH:+MEDIUM

高:

- 最小 SSLv2 ALL: !aNULL: !ADH: !eNULL: !LOW: !MEDIUM: !EXP: +HIGH
- 最小 SSLv3 ALL: |SSLv2: !aNULL: !ADH: !eNULL: !LOW: !MEDIUM: !EXP: +HIGH
- 最小 TLSv1 ALL: !SSLv2: !SSLv3: !aNULL: !ADH: !eNULL: !LOW: !MEDIUM: !EXP: +HIGH
- 最小 TLSv1\_1 ALL: |SSLv2: |SSLv3: !TLSv1: !aNULL: !ADH: !eNULL: !LOW: !MEDIUM: !EXP: +HIGH
- 最小 TLSv1\_2 ALL: !SSLv2: !SSLv3: !TLSv1: !TLSv1. 1: !aNULL: !ADH: !eNULL: !LOW: !MEDIUM: !EXP: +HIGH

注意:デフォルトでは、ゲートウェイとサーバー間の接続のみが暗号化されます。ユーザーとゲート ウェイ間の接続も暗号化するには、すべての Parallels 2X RDP クライアントで、接続プロパティの 接続モードを [SSL モード] に変更します。

信頼された機関からの証明書を SSL で使用する

2X Secure Client Gateway 上で、信頼された機関から取得した証明書を使用して SSL を有効に するには、次の手順を実行します。

- **1** ゲートウェイ プロパティの [SSL/TLS] タブに移動します。
- **2** [証明書要求の作成] をクリックし、必要なすべての詳細情報を入力して、[保存] をクリックします。

しい証明書発行		?
キーサイズ (* 1024 b	'(K): bit C 2048 bit C 4096 bit	保存 キャンセル
国コード(C):	Malta (MT)	
都道府県(F):	MA	
市町村(I):	Gzira	
組織(0):	2X	
部門(U):	Testing	
メール(E):	sa@2x.com	
氏名(N):	10.124.4.116	

SSL 証明書の詳細の構成

**3** 準備が完了したら、ポップアップウィンドウに証明書要求が表示されます(以下のスクリーンショットを参照)。[コピー]をクリックすると、認証局に送信する要求がコピーされます。

	ສະ
BEGIN CERTIFICATE REQUEST MIIEpTCCAoOCAQAwYDELMAkGA1UEBhMCTVQxCzAJBgNVBAgMAk1BMQ4wDAYDVQQH AVHemlyYTELMAkGA1UECgwCMlgxEDAOBgNVBAsMB1Rlc3RpbmcxFTATBgNVBAMM DDEwLjEyNC4OLjExNjCCAiIwDQYJKoZIhvcNAQEBBQADggIPADCCAgoCggIBAOz+ DIDH23+zn2dcAbDJKJOJ4PeCpk3ZQwDx3TTwGtjfx4eYnb/YPmW6PtEIvOrL3KFF FhKkWxTV4Tr3HwMDg7TrPE1snTCQ5dB1fl+a21cyKxQdZRKTzcXF1SZK8J88/+Lf sUOBZx3rseetoHAfP/hNTXUyo1B7CUW8HisoZIYpzpn4hlf35hpVqm6QNELIjmO 80Wi4IjfB7QuL/9k9Tx18ww95PBJc+XHFJYqKWXvPXuVytuN31hP5bLMFEacxcBU 220ImxkVRkINri5ycDwtk4W7u3JbtLXRBiej7MxhWBA3/qsMswOM93xSUmmOQFIJ acOLaqQsNz2YhDIPNk/8snEwd+E+jGGyUEk2aC3SQRggUrP18x7EowN9Asih/qV CYhCE15kCrNBVTYBVKpXsT1xANfz+qDI82SG7NQZ86fEMtUqID9BGHTR+PGNO1XQ	コピー 要求をキ セル 閉じる
<pre>rest = rest = rest</pre>	

作成された証明書要求

- **4** 認証局から SSL 証明書を受け取ったら、[パブリック キーのインポート] をクリックし、パブリック キーが含まれる証明書ファイルを参照し、[開く] をクリックします。
- 5 [OK] をクリックして設定を保存します。

ゲートウェイでの HTML 5 サポートの有効化

要件:ゲートウェイでの HTML 5 のサポートを有効にするには、SSL/TLS を有効にして構成する 必要があります。 ゲートウェイでの HTML 5 のサポートを有効にするには、[HTML 5] タブの [サービス] セクシ ョンで [HTML5 接続を有効化] オプションを選択します。同じセクションで、HTML 5 モジュー ルに接続するためにゲートウェイで使用する [ポート] を構成することもできます。

2X Secure Client Gateway プロパティ ? 🗙
プロパティ IP アドレス ネットワーク SSL/TLS HTML 5 Wyse   詳細   セキュリティ
サービス
□ HTML5接続を有効化(E)
ポート( <u>P</u> ): 20020 デフォルト
HTML5デーダは暗号化されねばなりませんので、55L/TL5が有効となっていることを確認して下さい
URL; https://2XRAS2008/RASHTML5Gateway
▶ 自動的にデフォルト接続を作成する(C)
名前(N); Default Connection
- オブション
▼ ブラウザーが閉じられた時、ユーザーデータをクリアする(L)
□ ロッカイル デーカ(足方の整先をユーザー(に出さか( vio))
OK Cancel Help

ゲートウェイでの HTML 5 オプションの構成

HTML 5 接続のユーザー機能の構成

[HTML 5] タブの [接続] セクションでは、HTML 5 セッションへの接続時にユーザーにどのよう な機能を持たせるかを構成できます。[モード] ドロップダウン メニューから構成できるオプシ ョンは次のとおりです。

このゲートウェイのみに接続を許可

このオプションを選択すると、ユーザーは HTML 5 インターフェイスからこのゲートウェイへの 接続にのみアクセスできます。[自動的にデフォルト接続を作成する] オプションを選択すると、 ゲートウェイへの接続が HTML 5 インターフェイスですでに利用できる状態になります。

2X 接続の変更を許可
このオプションを選択すると、ユーザーは HTML 5 インターフェイスから、他のゲートウェイへの新しい接続を作成したり、他のゲートウェイへの既存の接続を変更したりできます。

2X と RDP 接続の変更を許可

このオプションを選択すると、ユーザーは HTML 5 インターフェイスから、他のゲートウェイへの新しい接続を作成したり、他のゲートウェイへの既存の接続を変更したりできます。また、HTML 5 インターフェイスから新しい RDP 接続を作成することもできます。

HTML 5 インターフェイスへのアクセス

ゲートウェイのHTML5インターフェイスに接続し、公開したリソースにアクセスするには、HTML 5 対応のブラウザーを使用して次の URL に接続します。

https://[Hostname]/2XHTML5Gateway/

ゲートウェイ モードと転送設定の変更

ゲートウェイ モードを通常モードから転送モード(またはその逆)に変更するには、関連する 設定を構成し、ゲートウェイ プロパティの [詳細] タブを選択します。

2X Secure Client Gateway プロパティ 🔋 🗙
プロパティ IP アドレス ネットワーク SSL/TLS HTML 5 Wyse 詳細 セキュリティ ゲートウエイ モード © 2X Publishing Agent と HTTPサーバー(こりクエストを転送(F)) セミコロンで区切って複数のサーバーを設定できます。
(例 localhost:20002;backup:20002) HTTPサーバー(H): localhost:81 ▼ デフォルト
<ul> <li>○ パロシス Secure Client Gateway() 切工人下を送信する。(カスケート・ファイ パワオール)(の)</li> <li>2X Secure Client Gateway() 転送(5):</li> </ul>
OK Cancel Help

ゲートウェイの詳細オプションの構成

通常モード

ゲートウェイを通常モードに設定するには、[2X 公開イング エージェントと HTTP サーバーに リクエストを転送]を選択します。

このタブでは、[HTTP サーバー] ドロップダウン メニューで、ゲートウェイがリクエストを転送する HTTP サーバーを構成することもできます。IPv6 サーバーを使用して HTTP サーバー エントリをセットアップできます。リクエスト元のブラウザーの IP バージョンと同じ IP バージョンが HTTP サーバーでサポートされる必要があります。

転送モード

ゲートウェイを転送モードに設定するには、[次の 2X Secure Client Gateway にリクエストを 送信する。 (カスケード ファイアウォール)]を選択します。

[2X Secure Client Gateway の転送] ドロップダウン メニューから転送ゲートウェイを選択します。

注意:転送モードで動作するようにゲートウェイを設定すると、IPv6 を待機している別のゲートウェイにデータが転送される可能性があります。ゲートウェイを転送モードで構成する場合、同じ IP バージョンのゲートウェイにデータを転送するようにゲートウェイを設定することをお勧めします。

ゲートウェイの複数の IP アドレスの管理

ゲートウェイに複数のアドレスがある場合は、[詳細] タブの [IP アドレス] セクションから、 1 つの IP アドレスで接続の待機と最適化を行うようにゲートウェイを構成できます(以下のス クリーンショットを参照)。 Wyse シン クライアント OS のサポート

Wyse シン クライアント OS を使用してアプリケーションを Parallels 2X Remote Application Server からシン クライアントに公開するには、ゲートウェイ プロパティの [Wyse] タブで [Wyse ThinOS を有効化する] オプションを選択します。

2X Secure Client Gateway プロパティ		?	×
プロパティ   IP アドレス   ネットワーク   SSL	/TLS HTML 5 Wyse	羊細   セキュリティ	
✓ Wyse ThinOSを有効化する(E)。			
このゲートウェイからブートしようとしてい プション188が このゲートウェイのIPアド	るシンクライアントは、DHCP : レスに設定されていることを確	Server上でDHCPオ 観忍してください。	
DHCPサーバーの設定を確認する場合	:は、テストをクリックしてください	, <b>ì</b> o	
Wyse ThinOSを有効化する場合、この す。	)ゲートウェイのSSLを有効化す	する事を推奨しま	
DHCP Server	WYSE Broker		
		WYSE	
	ОК	Cancel Help	

WYSE シン クライアント OS をサポートするようにゲートウェイを構成

このオプションを有効にすると、2X Secure Client Gateway が Wyse Broker として機能します。 タブで説明されているとおりに DHCP サーバーを構成したら、[テスト] ボタンをクリックして、 DHCP サーバーの設定を確認します。

2X Secure Client Gateway へのアクセスのフィルター

ゲートウェイへのユーザーのアクセスを MAC アドレスに基づいて許可または拒否できます。許可または拒否する MAC アドレスのリストを構成するには、ゲートウェイ プロパティの [セキュリティ] タブに移動します。次のオプションがあります。

- 以外を許可:このオプションを有効にした場合、このリストに含まれる MAC アドレスを除き、 ネットワーク上のすべてのデバイスがゲートウェイに接続できます。
- のみを許可する:このオプションを有効にした場合、リストに含まれる MAC アドレスのみが ゲートウェイに接続できます。

2X Secure Client Gateway プロパティ	? ×
プロパティ โ IP アドレス โ ネットワーク   SSL/TLS   HTML 5   Wyse   詳細 せ ・ 以外を許可(L):	241UF7
ΜΑCアドレス	
<ul> <li>のみを許可する(O);</li> </ul>	
масрких	
OK Cancel	Help

MAC アドレスによるゲートウェイへのアクセスの制限

その他のゲートウェイ設定

ゲートウェイ アドレスのブロードキャスト

ゲートウェイ プロパティの [ネットワーク] タブにある [2X Secure Client Gateway のアドレ スを配信する] オプションを使用して、ゲートウェイ アドレスのブロードキャストを有効にす ることができます。これにより、Parallels 2X Client でプライマリ ゲートウェイを自動的に 見つけることができます。

待機する IP アドレスの構成

2X Secure Client Gateway を実行しているサーバーに複数の IP アドレスがある場合、ゲート ウェイは、デフォルトで、すべての IP アドレス上で待機します。特定の IP アドレス上でのみ ゲートウェイが待機するように構成するには、ゲートウェイ プロパティの [詳細] タブにある [次の IP アドレスにゲートウエイをバインドする] ドロップダウン メニューから IP アドレス を選択します。

# ゲートウェイのトンネリングポリシー

トンネリングポリシーを使用して、ターミナル サーバーのグループを特定の 2X Secure Client Gateway または 2X Secure Client Gateway IP に割り当てることで、接続をロード バランスす ることができます。トンネリングポリシーは、[ゲートウェイ] ノードの [トンネリングポリシ ー] タブで構成できます。このポリシーは、ゲートウェイへのネイティブの RDP 接続が確立さ れたときに使用されます。

Braallels 2X Remote Application Server Console	
ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
こう	
ŮT 12XRAS	administrator@2x.testing 💌
アーム       2XRA52008         アーム       サイト - 2XRA5         サイト - 2XRA5       サイト - 2XRA5         アーム       アームデザイン         クートウェイ       トウェイ         レードバランス       クーミナルサーバー         シロホスト       リモートPC         ゲートウェイ       サイト         シロホスト       リモートPC         ゲートウェイ       サイト         シロボスト       リモートPC         ゲートウェイ       サイト         シロデーケリアップ       サーバー         トムB       設定         ユニバーサルフリント       シロレーム         シロレーム       レーム         レー       レーム         レー       レーム         レー       レーム         レー       レーム         シロシー       レーム         ジョン       レーム         シロシー       レーム         シロシー       レーム         シロシー       レーム     <	③     タスク ▼       説明     最       すべてのサイト     A       すべてのサイト     5)
接続	
クライアントマネージー ここでは、2X Secure Client Gatewayを管理できます。	
	閉じる(C) Apply Help

トンネリングポリシーの構成

トンネリングポリシーの構成

<デフォルト> ルールは、事前に構成されたルールであり、常に最後のルールになります。これ により、未構成のすべてのゲートウェイ IP が検出され、ファーム内のすべてのサーバー間でセ ッションがロード バランスされます。<デフォルト> ルールを構成するには、[トンネリングポ リシー] タブで [プロパティ] をクリックします。

新しいトンネリングポリシーの追加

新しいルールを追加するには、次の手順を実行します。

- 1 [タスク] ドロップダウン メニューから、[追加] を選択します。
- **2** [ゲートウェイ IP 選択] ドロップダウン メニューからゲートウェイ IP を選択します。
- 3 特定のゲートウェイ IP に接続しているユーザーをどのターミナル サーバー(複数可)に転送するかを指定します。転送先として、すべてのサーバー、サーバー グループ、個々のサーバー、個々のサーバーのグループを指定できます。

	? ×
RDP ロードバランス ルール ゲートウエイIP選択(I): 10.124.4.20	ОК
<ul> <li>サイト内の全サーバー(L)</li> </ul>	キャンセル
○ サーバーグループ(G)	
Group 1 Group 2	
◎ 個々のサーバー( <u>5</u> )	
□10.124.4.20 □10.124.4.19	
○ なし( <u>o</u> )	

新しいトンネリングポリシーの構成

トンネリングポリシーの管理

既存のトンネリングポリシーを変更するには、ポリシー名を選択し、[タスク] ドロップダウンメ ニューで [プロパティ] をクリックします。トンネリングポリシーを削除するには、ポリシー名 を選択し、[タスク] ドロップダウン メニューで [削除] をクリックします。

## 第 10 章

# 2X RAS ポータル

## この章の内容

Parallels RAS Web Portal:前提条件およびインストール	153
管理ページへのログイン	156
ファーム設定	156
一般設定	162

# Parallels RAS Web Portal:前提条件およびイ ンストール

Parallels RAS Web Portal を使用すると、ユーザーは、フィルター設定に従ってウェブ ポータ ルを使用してアクセスした複数のファームから、公開済みのアプリケーションと公開デスクトッ プを起動できます。

- Windows 2003/2008/2012 Server
- Microsoft .NET Framework II/III
- ・ IIS6 または IIS7
- Parallels 2X Remote Application Server

サポートされるクライアント オペレーティング システムとブラウザー

OS	IE7	IE8	IE9	IE10	IE11	Chrome	FireFox	Safari
Windows XP	~	~	n/a	n/a	n/a	1	~	>
Windows Vista	~	<ul> <li>✓</li> </ul>	~	n/a	n/a	<b>\</b>	~	>
Windows 7	n/a	n/a	~	~	1	~	~	~
Windows 8	n/a	n/a	n/a	~	n/a	~	~	>
Windowx 8.1	n/a	n/a	n/a	n/a	1	~	~	>
Linux	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	<b>\</b>	~	~
MAC	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	~	~	~
iOS	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	~	~	~
Android	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	~	~	n/a

OS	IE7	IE8	IE9	IE10	IE11	Chrome	FireFox	Safari
Windows XP	~	~	n/a	n/a	n/a	✓	~	~
Windows Vista	~	~	1	n/a	n/a	1	~	~
Windows 7	n/a	n/a	✓	~	1	<b>\</b>	<b>\</b>	~
Windows 8	n/a	n/a	n/a	~	n/a	~	~	~
Windowx 8.1	n/a	n/a	n/a	n/a	1	✓	~	~
Linux	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	1	~	~
MAC	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	<b>\</b>	~	~
iOS	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	~	<b>\</b>	~
Android	n/a	n/a	n/a	n/a	n/a	~	1	n/a

### クライアントの自動検出およびインストール

インストール

インストールを開始する前に、すべての Windows プログラムを閉じていることを確認してください。

Web Portal から公開済みのアプリケーションへのアクセス ポイントとして使用する IIS マシ ンで「2XWebPortal.msi」または「2X WebPortal-x64.msi」ファイルをダブルクリックし、Parallels RAS Web Portal のセットアップ プログラムを実行します。

Parallels RAS Web Portal を Active Directory マシンにインストールしないことをお勧めします。

ようこそダイアログ ボックスが表示されます。他の Windows プログラムを閉じて、[次へ] を クリックします。インストール ウィザードの説明を読みます。以下のように記載されています。

- 2X Secure Client Gateway は、デフォルトでポート 80 にインストールされ、HTTP リクエ ストをポート 81 でローカル ホストに転送するように構成されます。したがって、クライア ントは、依然として ポート 80 から 2X ウェブ ポータルにアクセスできます。2X ウェブ サ ービスを他のポートにインストールできます。また、他のウェブ サイトで使用されている既 存のポートを使用することもできます。
- IIS7 は動的コンテンツと静的コンテンツをキャッシュします。

Parallels RAS Web Portal ディレクトリの .aspx、.asmx、および .ashx ページとセッション 状態に依存する asp.net ページのキャッシュを無効にするには、「2X ウェブ サーバー」、「2X ウェブ ポータル」、および「2X ウェブ サービス」で以下の手順を実行します。これらは以下 のスクリーンショットに示されています。

Server Hanager (2008AD1)	Internet Information Services (115) Mana	Internet Information Services (IIS) Manager					
Profes     Res     Active Directory Domain Se	() () () 20054D1 + Stee +	2X Web Server 🔸	W - S 10				
Barrer     Application Server     Barrer     Harburgs Policy and Access     Harburgs Policy and Access     Web Server (US)     Web Server (US)     Barreret Enformation Se     Dagmantics     Configuration     Configuration     Storage	Connections	2X Web Server Home       Rer     Ref       Aspect       Aspect       Astronamic       Astronamic	Actives  Coperation  Coperatio				

.aspx、.asmx、および .ashx で構成されるフォルダーのキャッシュの無効化

- 1 サーバー管理コンソールを実行します。
- 2 [役割] > [ウェブ サーバー (IIS)] > [Internet Information Services] の順に移動します。
- **3** 「2X Web Server」、「2XWebPortal」、「2XWebService」の各サイトでステップ 4 ~ 12 を 繰り返します。
- 4 キャッシュをオフにする.aspx、.asmx、.ashxページを含んでいるフォルダーを選択します。
- 5 [機能ビュー]で、[出力キャッシュ]をダブルクリックします。
- 6 . aspx 拡張子のルールがすでに存在する場合、それをダブルクリックしてステップ 8 から手 順を続行します。それ以外の場合は、右クリックして、[追加...] を選択します。
- **7** [ファイル名拡張子] として「.aspx」と入力します。
- 8 [ユーザー モード キャッシュ] を確認します。
- 9 [すべてのキャッシュの禁止]を選択します。
- 10 [カーネル モード キャッシュ] を確認します。
- 11 [すべてのキャッシュの禁止] を選択します。
- **12** [OK] をクリックします。

13 サーバー管理コンソールを閉じます。

# 管理ページへのログイン

Parallels RAS Web Portal のインストールが完了したら、ブラウザーから

[http://localhost/2XWebPortal/Admin.aspx] ページにアクセスします。管理者権限のある[ユ ーザー名] と [パスワード] を入力し、[ログイン] を押して、Parallels RAS Web Portal にロ グインします。ログイン領域を次の図に示します。

ログインしてください	
ユーザー名:	administrator
バスワード:	
セキュアログイン	
	ログイン

Parallels RAS Web Portal:管理ページへのログイン

# ファーム設定

[ファーム設定] では、管理者が複数のファームを追加できます。これにより、ユーザーは公開 済みのアプリケーションとデスクトップを [ユーザー ログオン ページ] から起動できます。

ユーザーログオン ページ			ようこそ administrator   ログアウト
	Parallels <sup>®</sup> RAS Web Portal		
F	RAS Web Portal - コンソール ファームの一覧	オンラインマニュアル ファーム設定 一般設定	
	■ 77 - A [2001::11a] 2xts 2x local 10.125 0.50	RAS Web Portalは、ユーザーがマルチブルファームから公開されたアプリケーションとデスクトップを開 くことを許可します。 ウェブサーバーで管管を損損ののあるユーザはこのインタフェースでクァームの追加ができます。 続しいフ アームを追加する操行はRAS クライアントゲートウェイのIPかホスト名を入力ファームの追加をクリックし ます。ファームは追加後に詳細設定ができます。 通用ボタンをクリックした後後続い、設定が有効になります	
	ファーム名 ファーム台加		

Parallels RAS Web Portal:[ファーム設定] ページ

ファームを追加するには、2X Secure Client Gateway の IP またはホスト名を入力し、[ファーム追加]をクリックします。左ペインの[ファーム一覧] ツリーの下にファームが追加されます。

RAS Web Portal - コンソール

Parallels RAS Web Portal:ファームの追加

ファームの詳細

[ファーム詳細] では、管理者は各種プロパティを構成できます。以下の図は、選択したファー ムのファームの詳細を示しています。2X ウェブ サービスと Parallels 2X RDP クライアントは、 これらの設定を使用して 2X Secure Client Gateway に接続します。

	オンラインマニュアル	ファーム設定	一般設定
		ファームの削除	適用
ファームディテールズ			
これらのセッティングは、RASWebServic RASClientGatewayとの接続の為に行い RAS クライアントゲートウェイの詳細: エイリアスサーバー:	eとParallels2XRDPから、選択し ます。	たファームにある	
ブライマリホスト名 / IP:	JP Server		
セカンダリホスト名 / IP:			
接続タイプ:	ダイレクトモード ・		
ボート:	80		

Parallels RAS Web Portal:ファームの詳細

サーバーエイリアス:

追加したファームを適切に説明するエイリアス名を入力します。「エイリアス」名によって接続の表示名をわかりやすいものにします。

プライマリ ホスト名 / IP:

この設定はファームの追加時に自動的に追加されます。これは、2X Secure Client Gateway の IP/ ホスト名になります。

セカンダリ ホスト名 / IP:

別の 2X Secure Client Gateway に対してセカンダリ ホスト名または IP を追加できます。「プ ライマリ ホスト名」が失敗した場合、セカンダリの 2X Secure Client Gateway が公開済みの アプリケーションと公開デスクトップをユーザーに提供します。

接続タイプ:

これは、ファームの追加時に [ダイレクト モード] に自動的に設定されます。2X ウェブ サー ビスは、この接続モードの方法を使用して 2X Secure Client Gateway に接続します。

接続モードを [SSL モード] に設定すると、2X ウェブ サービスと 2X Secure Client Gateway 間 がセキュアにトンネリング接続されます。

ポート:

デフォルト ポート番号はポート 80 に設定されます。このポートは、2X Secure Client Gateway 上に設定されたポートと同じである必要があります。

詳細設定

詳細設定を使用して、2X RDP クライアントのファーム設定を上書きします。これにより、2X RDP クライアント上の設定が変更されるため、ユーザーが設定を変更する必要はありません。

以下の設定とParallels 2X RDPの設定が異なった場合でも、以下の設定となります。		
☑ RAS クライアントゲートウェイの上書きする IP/Host:		
プライマリホスト名 / IP: Remote Terminal Server		
セカンダリホスト名 / IP:		
□ ゲートウェイポートの上書 80		
□ SSLゲートウェイポートの上書 443		
デフォルト接続モード: <b>自動</b> ▼		

Parallels RAS Web Portal:詳細設定

2X Secure Client Gateway IP/Host の上書き: [RAS Secure Client Gateway IP/Host の上書] を 選択し、ファームの [プライマリ ホスト名/IP] を上書きします。オプションで、[セカンダリ ホ スト名/IP] を指定することもできます。

ゲートウェイの上書き:この設定を選択して、「ゲートウェイ」のポートをデフォルトポート80 以外に上書きします。

SSL ゲートウェイ ポート: この設定を選択して、「ゲートウェイ SSL」のポートをデフォルト ポ ート 443 以外に上書きします。

デフォルト接続モード:ファームの接続モードを次のいずれかに上書きできます。

自動

ファームで構成された接続設定に応じて、「接続モード」が自動的に設定されます。 通常のゲートウェイ

160

クライアントは 2X Secure Client Gateway に接続し、セッション接続は最初に利用可能な接続 を介してトンネリングされます。ゲートウェイを介してのみサーバーにアクセスできるようにす る場合は、このモデルをお勧めします。このモデルは、高レベルのセキュリティを必要としませ ん。

ダイレクト モード

クライアントは最初に 2X Secure Client Gateway に接続され、利用可能な最適なサーバーにア クセスします。その後、クライアントはその特定のサーバーに直接接続されます。クライアント とサーバーが同一ネットワーク上に存在する場合、これが最も適しています。

SSL モード

クライアントはセキュア モードで 2X Secure Client Gateway に接続されます。トンネリング されるデータが暗号化され、セキュアな接続が維持されます。

ダイレクト SSL モード

クライアントは最初に SSL を使用して 2X Secure Client Gateway に接続され、利用可能な最 適なサーバーにアクセスします。その後、クライアントはその特定のサーバーに直接接続されま す。クライアントとサーバーが同一ネットワーク上に存在し、高レベルのセキュリティ保護が必 要な場合、これが最も適しています。

設定の適用

ファームの設定を構成したら、[適用] ボタンをクリックして設定を適用できます。これにより、 設定が保存されます。

ファームの削除

ファームを削除するには、[ファーム一覧]からファームを選択し、[ファーム削除]を押します。

RAS Web Portal - コンソール		オンラインマニュアル ファーム設定 一般設定
● ファームの一覧		ファームの削除 通用
□ ファーム [2001::11a] 2xts.2x.local 10.125.0.50	ファームディテールズ これらのセッティングは、RASWebServid RASClientGatewayとの接続の為に行い RAS クライアントゲートウェイの詳細: エイリアスサーバー:	eとParallels2XRDPから、選択したファームにある ます。
<i>ファーム</i> 名	ブライマリ ホスト名 / IP: セカンダリ ホスト名 / IP:	2xts.2x.local
	接続タイブ: ボート:	ダイレクトモード 80

Parallels RAS Web Portal:ファームの削除

一般設定

管理者は、[一般設定]から、ログ、セッション タイムアウト、他のセキュリティ設定など、各 種設定を構成できます。また、Parallels RAS Web Portal の外観をカスタマイズすることもで きます。Parallels RAS Web Portal の設定は、バックアップを目的として他のサーバーに複製 できます。また、管理者は Parallels RAS ウェブポータルの最新バージョンのアップデートが ないかどうかも確認できます。



Parallels RAS Web Portal:ファームの削除

ログ

管理者は Parallels RAS Web Portal のログを有効にできます。これにより、サービス上で実行 された変更を追跡できます。 [ロギングの有効化]を選択すると、Parallels RAS Web Portal でログが開始され、実行された あらゆるアクティビティが記録されます。

[更新] ボタンをクリックすることで、ログ表示を更新できます。

ログ エントリをクリアするには、[ログをクリア] をクリックします。これにより、以前のログ がログ表示から削除されます。

[リポジトリをダウンロード] をクリックすることで、現在のログのコピーを Parallels RAS Web Portal からダウンロードできます。デフォルトでは、圧縮されたログ ファイルが週単位でバッ クアップされます。管理者は任意のログを必要に応じて追跡できます。

	適用
ログ	
	1
ログファイルは毎週圧縮リポジトリーにバックアップされます。	
最新の情報に更新 ログクリア リポジトリーをダウン	/ <b>□</b> 'ド

Parallels RAS Web Portal:ログ設定

システム設定

[システム設定]は、[ログオン設定]と[セキュリティ設定]の2つのセクションに分かれています。

ログオン設定

このセクションでは、セッション タイムアウトを指定します。これは、操作がない場合に Parallels RAS Web Portal のログオン ページと管理ページをアイドル状態のまま残しておくこ とができる時間です。この時間を過ぎると、ユーザーにメッセージが表示され、セッションがタ イムアウトしたことと、Parallels RAS Web Portal からユーザーが自動的にログオフされるこ とが示されます。セッション タイムアウト値は 20 分に設定されます。

RAS Web Portal - コンソール		オンラインマニュアル	レ ファーム設定	一般設定
General Settings				適用
□ 一般設定	ログオン設定			
システム設定	セッション タイムアウト (分):	20		

Parallels RAS Web Portal:システム設定

セキュリティ設定

以下の設定は、Parallels RAS Web Portal へのログイン時と 2X Secure Client Gateway への 接続時のセキュリティ設定を強化します。

セキュリティ設定
◉ プライベートログオン (ユーザーデータは、コンビューター上で保持されます。)
◎ 公共ログオン (ユーザーデータは、コンビューター上で保持されません。)
◎ Public / Private ログオンのオプションを表示
□ セキュリティーの実行 (HTTPS / SSL)
☑ [接続モード] オプションを表示する
☑ お気に入りを有効にする
☑ Advanced Client Securityの実行 このオブションを有効にすると、clientにはセッション設定が保存されません。 このオプションは、
clientバージョン10.1かそれ以上であることが必要です。
☑ [バスワードを変更する] オブションを表示する
■ Adminページのセキュリティを有効にする。
localhost
■ IP アドレスの削除
IP アドレスの追加

Parallels RAS Web Portal:セキュリティ設定

プライベート ログオン

このオプションを選択すると、ユーザー データをローカル コンピューター上に保存できます。 データはブラウザーのキャッシュに保持され、ユーザーがセッションをログオフしてもデータは クリアされません。

パブリック ログオン

このオプションを選択すると、ユーザーデータをローカルコンピューター上に保存できません。 データの永続性がなくなり、ユーザーがセッションをログオフするとデータはクリアされます。 パブリック/プライベートログオン オプションを表示する

このオプションを有効にすると、ユーザーは「パブリック」または「プライベート」のどちらと して接続するかを選択できます。このオプションは、Parallels RAS Web Portal のユーザー ロ グオン ページに表示されます。

セキュリティ (HTTPS / SSL) を適用する

このオプションを有効にすると、ユーザーは Parallels RAS Web Portal に SSL (HTTPS) モー ドで強制的に接続されます。2X コンソールで SSL が有効にされていない場合、ユーザーは「フ ァーム」に接続できません。

お気に入りを有効にする

このオプションを有効にすると、ユーザー ログオンページに [お気に入り] が表示されます。

詳細なクライアントセキュリティを適用する

このオプションを有効にすると、ユーザーが Parallels RAS Web Portal にログオンするとき に、.2xa ファイルのみが開きます。Parallels RAS Web Portal のセッションがタイムアウトに なると、ユーザーは .2xa ファイルを開くことができません。

パスワード変更オプションを表示する

このオプションを有効にすると、ユーザー ログオン ページに [パスワード変更] オプションが 表示されます。

管理ページのセキュリティを有効にする

このオプションを有効にすると、管理者は、リスト内の IP アドレスと一致するマシンからのみ 管理ページにログインできます(以下の図を参照)。

Adminベージのセキュリティを有効にする。

localhost	<u>ـ</u>
	▼ IP アドレスの削除
	IP アドレスの追加

Parallels RAS Web Portal:管理ページのセキュリティを有効にする

これにより、管理ページのセキュリティが強化されます。

166

IP アドレスを追加するには、テキストボックスに IP アドレスを入力します(上の図を参照)。 次に、[IP アドレスを追加]を選択すると、入力したアドレスがリストに追加されます。

注意: IPv6 対応のマシンの場合、[IP アドレスを追加] に IPv6 を追加してください。

システム設定を構成したら、[設定の適用]を選択して設定を保存します。

Parallels 2X RDP Client

公開済みのアプリケーションと公開デスクトップを起動するには、クライアントに Parallels 2X RDP クライアントをインストールする必要があります。Parallels 2X RDP クライアント インス トールを自動的に検出するように Parallels RAS Web Portal を構成できます。

Parallels 2X RDP クライアント インストールを検出するには、[クライアントの検出] オプションを選択します(以下の図を参照)。

RAS Web Portal - コンソール		オンラインマニュアル ファーム設定 一般設	定
General Settings		道	I用
□ 一般設定 ログ	クライアントのインストール設定		
システム設定	🗷 クライアント検出		
Parallels 2X RDP 来客筋	☑ クライアント検出の詳細を保存		
🗉 表示のカスタマイズ			
■ 複写設定	クライアント検出失敗時のオプション:	エラーメッセージを表示し、再テストする	
カスタマエクスペリエンスプログ ラム	- Windows Parallels 2X RDP のイン	ストール	
ソフトウェアのアップデート			
'製品について	🗹 Windows フル クライアント (管	管理者権限が必要)	
	説明		
	● Parallels 2X サイトからの	⊿ )最新バージョン	
	バージョン: <b>14.0.32</b>	225	
	◎ 特定のクライアント バージョン: N/A	アップロード	

Parallels RAS Web Portal: クライアント検出失敗時のオプション

Parallels 2X RDP クライアントの検出に失敗した場合、[クライアント検出失敗時のオプション] を使用してユーザーに通知できます。管理者は以下のオプションを選択できます。

エラー メッセージを表示し、再テストを許可する

このオプションを選択すると、エラー メッセージが表示されるほか、ユーザーは Parallels 2X RDP クライアントの検出を再テストできます。このオプションでは、Parallels 2X RDP クライ アントをインストールするためのオプションは提供されません。 エラー メッセージを表示し、インストールまたは再テストを許可する

このオプションを選択すると、エラー メッセージが表示されるほか、Parallels 2X RDP クライ アントをインストールするためのオプションが提供されます。ユーザーは、Parallels 2X RDP ク ライアントの検出の再テストを選択することもできます。

エラー メッセージを表示し、インストールを許可する

このオプションを選択すると、エラー メッセージが表示されるほか、Parallels 2X RDP クライ アントをインストールするためのオプションが提供されます。このオプションでは、Parallels 2X RDP クライアントの検出を再テストするためのオプションは提供されません。

エラー メッセージのみを表示する

このオプションを選択すると、エラー メッセージが表示されます。Parallels 2X RDP クライア ントのインストールまたは再テストのオプションは提供されません。 さまざまな OS プラットフォームに応じて Parallels 2X RDP クライアントをダウンロードでき ます。以下の表に、Parallels 2X RDP クライアントでサポートされるプラットフォームと、各 OS のダウンロード可能なインストール パッケージのタイプを示します。

OS	Type of Installation	Description
Windows	Full Client Installation	This will perform 2X Client installation, installing full resources.
	Basic Client installation	This will perform 2X Client installation using minimal resources/
Linux	.deb Package	This will download the Debian Package from 2X <u>Web-site</u> .
	.rpm Package	This will download the RPM Package Manager from 2X Web-site.
	.tar.bz2	This will download the 2X Client for Linux in a compressed file from 2X Web-site.
Mac	.pkg	This will download and install the 2X Client on the Mac desktop from the Mac Store.
Android	.apk	This will download and install the 2X Client on the Android device from the Google Play.
iOS		This will download and install the 2X Client from the App Store.

カスタマイズした外観

[カスタマイズした外観] では、管理者は Parallels RAS Web Portal の外観をカスタマイズで きます。管理者は、異なる会社名の表示、カスタム バナーの追加、カラー テーマの変更などを 行って、Parallels RAS Web Portal をカスタマイズできます。

Parallels RAS Web Portal

#### 

RAS Web Portal - コンソール	オンラインマニュアル ファーム設定 一般設定
General Settings	適用
<ul> <li>一般設定</li> <li>ログ</li> <li>システム設定</li> <li>Parallels 2X RDP 来客筋</li> <li>こ 表示のカスタマイズ</li> <li>Default</li> <li>設定名</li> <li>2 複写設定</li> <li>カスタマエクスペリエンスプログラム</li> <li>ソフトウェアのアップデート</li> <li>・ 製品について</li> </ul>	表示のカスタマイズ           表示のカスタマイズは、複数のログオン画面のカスタマイズを行ならめのです。           ウェブマシーンの管理者構限を持つユーザーは、このインターフェースから変更できます。新しい設定を 追加するには、設定名を入力し、てびされい。           通用をクリックすると新しい設定が上書きされます。           井通カスタマイズ           プローバルペッセー ?           This is a global message

Parallels RAS Web Portal:カスタマイズした外観

カスタマイズした外観の追加

Parallels RAS Web Portal の外観をカスタマイズするための設定を追加するには、わかりやす い設定名を入力テキスト フィールドに入力します。[設定の追加] をクリックするか、Enter キ ーを押して、外観設定のカスタマイズを開始します。

	Delete Apply Settings	
Customised Appearance		
Customised Appearance allows administra logon screens.	ators to add the customisation details for multiple	
Users with administrative rights on the Web Service machine are allowed to add customised apperance settings from this interface. To add a new setting, enter the Setting name and click "Add Setting". Further to that, a screen will be displayed prompting you to insert the Company Name, Company Logo and Message.		
New settings will get activated once the A	pply button has been pressed.	
These settings are used to configure multip	ple logon screens.	
Company ID:	Personalised	
Display Company Name:	Personalised	
Banner:	RAS Web Portal	
	The image file should be in GIF format and ideally scaled to 300 X 40 pixels. Images larger than the mentioned preferred size, will be resized.	
	Choose File No file chosen	

## Online Manual Farm Settings General Settings

Parallels RAS Web Portal:カスタマイズした外観

#### 会社 ID

デフォルトでこの設定項目に設定される名前は、Parallels RAS Web Portal の外観をカスタマ イズするための設定を作成したときの名前と同じです。

#### 会社名の表示

外観をカスタマイズするための設定を作成したときに設定したデフォルト設定以外の名前を会 社名として表示する場合は、その名前を入力します。

#### バナー

カスタム バナーを Parallels RAS Web Portal に追加できます。バナーには GIF 形式のイメー ジを使用し、バナーのサイズを 300 x 40 ピクセル以内とする必要があります。

バナーをアップロードするには、[参照] ボタンをクリックし、バナーを選択します。[アップロ ード] をクリックすると、バナーが 2X ウェブ サービス マシンにアップロードされます。

メッセージ

[ユーザー ログオン ページ] から Parallels RAS Web Portal へのログイン時にログオン セク ションの下にメッセージを表示するには、入力テキスト フィールドにそのメッセージを入力し ます。これを使用して、カスタマイズした Parallels RAS Web Portal の説明を表示することが できます。

#### URL

カスタマイズした Parallels RAS Web Portal にユーザーが接続できるように URL でリンクを 明示します。この URL は、カスタマイズした新しい設定を作成するときに自動的に生成されま す。

注意:ユーザーが [ユーザー ログオン ページ] にアクセスできるように、Parallels RAS Web Portal のインストールが含まれるサーバーを一般に公開する必要があります。

既定のドメイン

既定のドメインを入力します。これにより、ユーザーは [ユーザー ログオン ページ] にログインするときに、既定のドメインに自動的にログインします。

カラーの変更

このセクションでは、管理者はカスタマイズした外観ごとに配色を構成できます。色を構成する には、カラーピッカーやカラーのテーマを使用できます(以下の図を参照)。

172

追加のカラーのテーマを作成するには、カラーピッカーから他の色を選択します。

Logon Settings		
Default Domain:		
Colour Modification		
Colour Themes	2X -	
Login Container	#E5E5E5	0
Header	#8D181C	
Dahboard Title	#E5E5E5	
Dashboard Content	#F3F3F3	0
Footer	#333333	
Title Text	#666666	
Content Text	#666666	
		Reset

Parallels RAS Web Portal:カスタマイズした配色

[カラーのテーマ]をデフォルトにリセットするには、[リセット]ボタンをクリックします。

## 第 11 章

# 2X バックアップ サーバー

## この章の内容

2X バックアップ サーバーの追加	174
バックアップ サーバーの管理	176

# 2X バックアップ サーバーの追加

プライマリの 2X Publishing Agent に障害が発生してもサービスが中断しないようにするには、 Parallels 2X Remote Application Server ファームのサイトごとにバックアップの Publishing Agent サーバーを構成します。

サイトにバックアップ サーバーを追加するには、次の手順を実行します。

**1** Parallels 2X Remote Application Server Console を開き、ナビゲーション ツリーの [バ ックアップ サーバー] ノードに移動します。

Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F)表示(V)言語(L) ヘルプ(H)			
	<b>ב</b> זעצב¥א ע		
サイト2XRAS 👻			administrator@2x.testing 👻
アァーム       アァーム・2XRAS2008         アァーム       サイト・2XRAS         ロードバランス       マテームデザイン         ロードバランス       マーム・2XRAS         シードバランス       マテームデザイン         シードバランス       マテーム・アントマネージェー         ロードバランス       アナーム・2XRAS         シード・アントマネージェー       アナーム・デリーン         1       アナーム・デリーン         シードウェイ       アナーム・アントマネージェー         ウライアントマネージェー       「情報 このセクションでは、バックアップサー/	バックアップ サーバー バックアップ サーバー (B): サーバー 2XRAS2008 ✓ SEANBIANCO-LPT ▲	フスター マスター 1 バックアップサーバー	<ul> <li>●●●●●タスクマ</li> <li>ステイタス 星</li> <li>エージェントが確認されまし Ac</li> <li>●確認されませんでした Ac</li> </ul>
		85	
			lじる( <u>c</u> ) <u>A</u> pply Help

サイトのバックアップ サーバーの構成

- **2** [タスク] ドロップダウンで [追加] をクリックし、バックアップ サーバー ウィザードを起 動します。新しいバックアップ サーバーとなるサーバーの IP アドレスを指定します。
- **3** ウィザードの2番目のステップでは、ターゲットサーバーに2Xバックアップサーバーサ ービスがまだインストールされていない場合、インストールを要求されます。[インストール] をクリックしてバックアップサービスをインストールします。

**注意**:サーバーが他の役割で現在使用されている場合は、インストールではなく引き継ぐためのオプ ションを利用できます。サーバーを引き継いでバックアップサーバーとして使用する場合は、[引き 継ぐ] ボタンをクリックします。

**4** [2X Terminal Server Agent のインストール] ダイアログで、2X Agent のインストール先の サーバー名を選択します。 5 (オプション)別の認証情報を使用してサーバーに接続し、2X Agent をインストールするには、[認証情報の上書き]を選択し、その認証情報を指定します(以下のスクリーンショットを参照)。

2X Redundancy Service をインストールしています	? ×
サーバー	
サーバー(5); 10.124.4.116	
05; Windows (x32)	キャンセル
55Hポート(R): 22 デフォルト	
□ 認証情報の上書き(V)	
ユーザー名(U); Sean	
パスワード(P):	
ステイタス 進行	
サーバー ステイタス タイプ	
☑ 10.124.4.116 待機 バックアップサーバー	

2X Terminal Server Agent のインストール

- 6 [インストール] をクリックしてエージェントをインストールし、インストールが正常に終了 したら[完了] をクリックします。
- 7 [OK] をクリックし、サーバーをファームに追加します。

# バックアップ サーバーの管理

バックアップ サーバーの有効化または無効化

サイトのバックアップ サーバーを有効または無効にするには、ナビゲーション ツリーの [バッ クアップ サーバー] ノードでサーバー名を選択し、サーバー名の横にあるチェック ボックスを オンまたはオフにします。 バックアップ サーバーの優先順位の変更

リスト内の各バックアップ サーバーには優先順位が与えられます。デフォルトでは、ローカル の 2X Publishing Agent にマスター優先順位が与えられます。この優先順位を変更することは できません。ファーム内の他のバックアップ サーバーの優先順位を変更するには、サーバー名 を選択し、[ムーブ アップ] と [ムーブ ダウン] ボタンを使用して、適切な優先順位を割り当 てます。

バックアップ サーバーからマスター サーバーへの昇格

プライマリ サーバーを復元できない場合、次の手順に従って、2X バックアップ サーバーをマ スター サーバーに昇格できます。

1 昇格の対象となるサーバーで Parallels 2X Remote Application Server Console を開きま す(サーバーをバックアップサーバーとして追加すると、すべての必要なファイルが自動的 にインストールされます)。 2 [ファーム] カテゴリーを開き、[バックアップ サーバー] ノードに移動します。サーバー名を選択し、[タスク] ドロップダウン メニューで [バックアップをマスターへ昇格する] を クリックします(以下のスクリーンショットを参照)。

A Parallels 2X Remote Application Server Console     ファイル(に) まテ(い) 言語(い) へルプ(り)			
アプリケーション グループ デスクトップ 既存のアプリケーション	• אינאבאא		
サイト2XRAS 👻			administrator@2x.testing 🔻
アーム・2XRAS2008         アーム・2XRAS2008         サイト・2XRAS         サイト・2XRAS         マームデザイン         ● ターミナルサーバー         ● マーシールデー         ● マーシール         ● マートウェイ         ● アー・ウェイ         ● アー・ウェイ         ● マーシー・マー・         ● マートウェイ         ● マートウェイ         ● マートウェイ         ● アー・         ● マートウェイ         ● マード・         ● マード・         ● マード・         ● マード・         ● マード・         ● マード・         ● ロード・         ● ロード・         ● ロード         ● マード         ● マード         ● ロード         ● ロード         ● ロード         ● ロード         ● ロード         ● ロード         ● ロード	バックアップ サーバー   バックアップ サーバー (B): サーバー 型 2XRAS2008 ▼ SEANBIANCO-LPT	プライオリティ マスター 1 バックアップサーバー	
クライアントマネージャー	●の追加と管理ができます。		
			開じる(C) Apply Help

バックアップ サーバーからマスターへの昇格

**3** プロセスが完了したら、[OK] をクリックします。

バックアップ サーバーの削除

バックアップ サーバーを削除するには、サーバー名を選択し、[削除] ボタンを押すか、キーボ ードで Delete または Del キーを押します。

## 第 12 章

# ロード バランス

## この章の内容

リソース ベースのロード バランスおよびラウンド ロビンのロード バランス.	179
ロード バランスの詳細設定	182
高可用性ロード バランス	183

# リソース ベースのロード バランスおよびラウンド ロビンのロード バランス

#### はじめに

ロード バランサは、Parallels 2X Remote Application Server クライアントからの RDS 接続 および VDI ホスト接続を適切にロード バランスすることを目的として設計されています。次の 2 つのタイプのロード バランス方法が利用できます。

- リソース ベース
- ラウンド ロビン

リソース ベースのロード バランスでは、各サーバーのビジー状態に応じて、セッションが各サ ーバーに分配されます。つまり、新しい受信セッションは、ビジー状態の程度が最も低いサーバ ーに常にリダイレクトされます。

ラウンドロビンのロードバランスでは、セッションが順番にリダイレクトされます。たとえば、 最初のセッションがサーバー 1 にリダイレクトされ、2 番目のセッションがサーバー 2 にリダ イレクトされます。ファームに存在するターミナル サーバーが 2 つの場合、3 番目のセッショ ンは再度サーバー 1 にリダイレクトされます。 この章では、この 2 つの方法について説明します。ロード バランスの各オプションは、ナビゲ ーション バーの [ロード バランス] カテゴリーから構成できます。

器 Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
この	
サイト2xRAS       □ードパランス         アーム       □ードパランス         アーム       □ードパランス         方法(他):       □-ザーセッション         ウンター(C):       □ニーザーセッション         マーサー       マーサー         シボ町       □ーザー         シボロ       □ードパランス         方法(他):       □ニーザー         ウンター(C):       □ニーザー         マーサー       マーサー         シボロ       □ーサー         マーサー       マーサー         マーサー       レーサー         マーサー       レーサー         シーサー       レーサー         シーサー       レーサ         アントロションと限定した場合、全ター       シーボー         アントーワントアのみでの       セッションと限定した場合、全ター         アントッブごとに       ローサー         アントッブごとに       ローサー         アントリッブごとに       ローサー         アントッブジント用のデフォルトのタイムアウトを変更したい場合は、構成 構成(2)         設定が、すべてのサイトに       マージョンと         酸定が、すべてのサイトに       マージョン	administrator@2x.testing ▼ ● 情報 使用するロードバランス方法を選択できます。 選択した方法にどちらのカウ ンターを使用するか選べます。 「切断されたセッションへの再 接続」を有効にするか、また は、同じユーザーセッションへの再 接続かを、選択できます。
	S(C) Apply Help

[ロード バランス] カテゴリー

リソース ベースのロード バランスの有効化

サイト内に利用できるサーバーが複数ある場合、ロード バランスはデフォルトで有効になっています。デフォルトのロード バランス方法はリソース ベースのロードバランスです。

ラウンド ロビンのロード バランスをリソース ベースに戻すには、[方法] ドロップダウン メ ニューから [リソース ベース] を選択します。

リソース カウンターの構成

リソース ベースのロード バランスでは、以下のカウンターを使用して、各サーバーのビジー状態が比較されます。
- ユーザーセッション:セッション数の最も少ないサーバーにユーザーをリダイレクトします。
- メモリ: RAM の「空き/使用中」比率が最も高いサーバーにユーザーをリダイレクトします。
- CPU: CPU時間の「空き/使用中」比率が最も高いサーバーにユーザーをリダイレクトします。

すべてのカウンターが有効になっている場合、2X LoadBalancer は各カウンターの比率を合計し、 最も適切な合算比率のサーバーにセッションをリダイレクトします。

等式からカウンターを削除するには、[カウンター] セクションでカウンター名の横にあるチェ ックボックスをオフにします。カウンターを等式に戻すには、チェックボックスをオンにします。

ラウンド ロビンのロード バランス

ラウンドロビンのロードバランスでは、セッションが順番にリダイレクトされます。たとえば、 ファームに 2 個の RDS サーバーがある場合、最初のセッションはサーバー 1 にリダイレクト され、2 番目のセッションはサーバー 2 にリダイレクトされ、3 番目のセッションは再度サー バー 1 にリダイレクトされます。

ラウンド ロビンのロード バランスの有効化

ラウンド ロビンのロードバランスを有効にするには、[ロード バランス] セクションの [方法] ドロップダウン メニューから [ラウンドロビン] を選択します。

ロード バランスの詳細設定

セッション管理

接続解除されたセッションの再接続

[ロード バランス] タブの [接続解除されたセッションを再接続する] オプションを有効にする と、受信ユーザー セッションは、すでに接続解除されたセッションのうち同じユーザーが所有 していたセッションにリダイレクトされます。

クライアント IP のみでのセッションの再接続

接続解除されたセッションに再接続するときに、Parallels 2X Remote Application Server は、 再接続を要求するユーザー名と、接続解除されたセッションのユーザー名を照合し、セッション を一致させます。このオプションを有効にした場合、Parallels 2X Remote Application Server は、ソース IP を照合し、接続解除されたどのセッションにセッションを再接続するかを決定し ます。

ユーザーのセッション数の制限

このオプションを有効にすると、同一ユーザーが複数のセッションを開くことができなくなります。

## ロード バランスの詳細設定

サーバーの接続およびアップタイムのテストに関する構成

応答していない RDS サーバーに接続を送信しないよう、Parallels 2X Remote Application Server は、ターミナル サーバー エージェントが依然として応答していることを頻繁に確認します。[ロ ード バランス] タブの下部にある [構成] ボタンをクリックすることで、このテストの時間間 隔を構成できます。次のオプションがあります。

TS エージェントがレスポンスしない場合:応答しないサーバーを停止として宣言するために必要な秒数を指定します。停止したサーバーはロード バランサから除外されます。

TS エージェント更新時間:ターミナル サーバー エージェントへのアクセスが可能かどうかを Parallels 2X Remote Application Server が確認するために必要な秒数を指定します。

CPU カウンターからのプロセスの除外

サーバーの CPU 時間の「空き/使用中」比率に影響しないようにプロセスを除外するには、次の 手順を実行します。

- [ロード バランス] オプションの下部にある [構成] ボタンをクリックします。
- [CPU ロード バランサを有効にする] オプションを選択し、[除外リスト] をクリックします。

除外プロセスリスト	? ×
তি 💿 🖉 🖉	• ок
除外するプロセス	
rdpclip.exe	キャンセル
wininit.exe	
ロードバランスから除外するプロセス。	
	11.

ロード バランスからのプロセスの除外

- 〔追加〕をクリックし、実行しているプロセスのリストからプロセスを選択します。または、 ダイアログボックスの下部にある[プロセス名を入力してください]入力フィールドでプロ セス名を指定することもできます。
- [OK] をクリックして [除外プロセス リスト] ダイアログを閉じるか、[追加] をクリックし て他のプロセスを追加します。

除外プロセス リストからプロセスを削除するには、プロセスを選択し、[削除] をクリックします。

## 高可用性ロード バランス

HALB(高可用性ロード バランス)は、ユーザーと Parallels 2X ゲートウェイ間で機能するソ フトウェア ソリューションです。複数の HALB アプライアンスを同時に実行できます。1 つが マスターとして機能し、その他がスレーブとして機能します。利用できる HALB アプライアンス の数が多いほど、ダウンタイムの可能性が低くなります。マスターとスレーブのアプライアンス は、共通 IP または仮想 IP (VIP とも呼ばれる)を共有します。マスターの HALB アプライア ンスに障害が発生した場合、スレーブがマスターになるように要求され、マスターの地位をシー ムレスに引き継ぎます。エンド ユーザーの接続に影響することはありません。

HALB は 2 段階のプロセスでセットアップします。まず、HALB アプライアンスのインストール と構成を行ってから、Parallels 2X RAS Console で HALB アプライアンスを追加します。

#### ハイパーバイザの前提条件

Parallels 2X RAS Console で HALB を構成する前に、まず、HALB アプライアンスを Microsoft Hyper-V、Virtual Box、または VMware のいずれかのハイパーバイザ プラットフォームにイン ポートします。アプライアンスは、事前に構成された仮想マシンです(オペレーティング シス テムと他の関連設定が含まれます)。

#### Virtualbox/VMware

Virtual Box または VMware の場合、2X Web サイト (http://www.2x.com/ras/downloadlinks/) から取得した OVA アプライアンス ファイルまたは zip 形式の VMDK アプライアンス ファイル を使用して、このアプライアンスをインポートする必要があります。

OVA ファイルを使用して展開する場合、構成済みのマシン仕様とともに VM が適用されます。また、VMDK ファイルを使用する展開では、事前構成された仕様なしで VM が展開されます。この VM の最小仕様を以下に示します。

- **1** 1 x CPU
- **2** 256 MB RAM

**3** 1 x ネットワーク カード

Microsoft Hyper-V

Microsoft Hyper-V の場合、2X Web サイト (http://www.2x.com/ras/downloadlinks/) から取 得した VDH ファイルを使用して、このアプライアンスをインポートする必要があります。

HALB アプライアンスのインストールおよび構成

HALB アプライアンスは、Parallels 2X RAS と同じローカル ネットワークに接続されている独 立したマシン上で動作しているハイパーバイザにインポートする必要があります。次の手順に従 って、サポートされるハイパーバイザに HALB アプライアンスをインポートします。

- 仮想化プラットフォームの管理コンソールから HALB アプライアンス ファイルをインポート します。
- 2 新しいアプライアンスの電源をオンにして(起動して)、[HALB 初回起動構成] 画面を表示します。
- 3 ネットワーク設定を(必要に応じて)調整し、[適用]をクリックして続行します。
- 4 構成コンソールが表示されます。これで HALB アプライアンスを Parallels 2X RAS ファームに追加することができます。

注意:複数の HALB アプライアンスを作成するには、上のプロセスを繰り返します。

Parallels 2X RAS からの HALB アプライアンスの追加

HALB アプライアンスのインストールが完了したら、次の手順に従って、Parallels 2X Remote Application Server ファームからアプライアンスを構成します。

Parallels 2X Remote Applicat ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘノ	tion Server Console ルプ(H)			
🔣 🚺 📕	。 トップ 既存のアプリケーション ドキ	לעאב אעאב		
サイト2XRAS 👻				administrator@2x.testing 💌
	アーム - 2XRA52008     HALE       イト - 2XRA5     ア       ファームデザイン     ターミナルサーバー       ターミナルサーバー     伊       ソロ ホスト     サ       リモートPC     サ       ゲートウェイ     デ       バックアップ サーバー     F       HALE     ド       設定     ア       ジンシン     デジー	<ul> <li>ALB を有効化(E)</li> <li>説想 IP(V):</li> <li>ブネット マスク(S):</li> <li>パイスあたりの最大セッション数(M):</li> <li>ILB ゲートウェイペイロード(G)</li> <li>ILB SSL ペイロード(L)</li> <li>バイス</li> <li>ILB コンポーネントのインストール方:</li> </ul>	172.22.32.9 255.255.0.0 2000 構成(C) 構成(O) ステイタス	
				ll'ටි(C) Apply Help

HALB の有効化

- **1** Parallels 2X RAS Console にログインし、[ファーム] > [HALB] の順に移動します。HALB チェック ボックスを有効にして、以下のフィールドを構成します。
  - 仮想 IP:利用可能な IP アドレスを [仮想 IP] フィールドに入力します。この IP は、 クライアントの接続先の IP です。この HALB アプライアンスおよび他の HALB アプライ アンスで使用されているフローティング IP を使用することもできます。
  - サブネット マスク:適切なネットワーク マスクを入力します。

• デバイスあたりの最大セッション数:許容される最大同時接続数を設定します。

HALB 構成 ///		? X
ポート(P): ポート(P): elmo.2x.testing(172.22.18.7) ↓ Leonardo.2x.testing(10.125.0.50) □ pebbles.2x.testing(172.22.51.13) □ tesla.2x.testing(172.22.51.99)	ステイタス       利用できます       利用できます       利用できます       利用できます	<u><u></u><u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u><u></u></u></u>
負荷分散の対象となる IP を持つゲートウェイ 注意: ゲートウェイごとに使用できる IP は 1	イを選択します. つのみです.	
	OK Cancel	Help

ロード バランスするゲートウェイを選択します

- **2** [LB ゲートウェイ ペイロード] を有効にして、通常のゲートウェイ接続をロード バランス します。[構成] をクリックすると、[HALB 構成] ウィンドウが表示されます。
  - ポート:トラフィックをゲートウェイに転送するために HALB アプライアンスで使用する ポートを入力します(ゲートウェイ上に構成されたポート)。
  - HALB アプライアンスでロード バランスするゲートウェイを選択します。

[OK] をクリックして設定を適用します。

HALB 構成 「ゲードウェイ 】	? X
ポート(P): 443 モード(M): パススルー	<b>デフォルト</b> 構成(C)
ゲートウェイ ステイタス	
elmo.2x.testing(172.22.18.7) 利用できます	
Ceonardo.22xtesting(10,125,0,50) *1/HC (34,9)	
負荷分散の対象となる IP を持つゲートウェイを選択します. 注意: ゲートウェイごとに使用できる IP は 1 つのみです.	
OK Can	icel Help

ロード バランスするゲートウェイを選択します

- **3** 必要に応じて、[LB SSL ペイロード] を有効にして、SSL 接続をロード バランスします。[構成] をクリックすると、[HALB 構成] ウィンドウが表示されます。
  - ポート:トラフィックをゲートウェイに転送するために HALB アプライアンスで使用する ポートを入力します(デフォルトは 443)。
  - モード: [パススルー] または [SSL オフローディング] を選択し、SSL 暗号化解除をどの場所で実行するかを定義します。デフォルトでは、SSL 接続はゲートウェイに直接トンネリングされ(パススルーとも呼ぶ)、そこで SSL 暗号化解除プロセスが実行されます。

• HALB アプライアンスでロード バランスするゲートウェイを選択します。

HALB 構成	? ×
ゲートウェイ	
SSL	×
レキュリティーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	
許可される SSL バージョン(S):	TL5 v1.1 - TL5 v1.2 (強調太字)
暗号強度(P):	低
暗号(H):	ALL:!aNULL:IeNULL
キーファイル(K):	SelfSignedCertificate.crt
証明 ファイル(T):	SelfSignedCertificate.crt
新しい自己発行証明書を作用	成します:
新しい証明書発行(	G)
証明書認証先へ送る新しい言	正明書の要求を作成します:
証明書要求の作成(	R) パブリックキーのインポート(I)
	OK キャンセル(C)
	OK Cancel Help

SSL を構成します

SSL 暗号化解除プロセスを HALB アプライアンスで実行するように設定するには、[SSL オフ ローディング]モードを選択し、[構成]をクリックします。このモードでは、SSL 証明書が HALB アプライアンスにインストールされている必要があります。以下の情報を入力し、新し い証明書を発行します。

- ・ 強固な暗号だけを許可する:(オプション)有効にすると、強固な暗号化アルゴリズムを 使用する証明書を使用できます。
- 許可される SSL バージョン: 選択した暗号化強度を持つ SSL バージョンを受け付けます。

[新しい証明書発行]をクリックし、必要な詳細情報を入力します。[キーファイル]と[証明ファイル]のデータは自動的に読み込まれます



### 証明書要求を作成します

または、[証明書要求の作成]をクリックし、必要な詳細情報を入力して、[保存]をクリッ クすると、上記の証明書要求ウィンドウが表示されます。[コピー]をクリックして要求をコ ピーします。 この証明書要求を認証局に送信する必要があります。認証局から SSL 証明書を受け取ったら、 [パブリック キーのインポート] をクリックし、パブリック キーが含まれる証明書ファイル を参照し、[開く] をクリックします。

🛣 Parallels 2X Remote /	Application Server Console			_ 🗆 ×
ファイル(F) 表示(V) 言語	(L) ヘルプ(H)			
Ξ.	Ko 🔁			
アプリケーション グループ	デスクトップ 既存のアプリケーション	ドキュメント		
サイト2XRAS 👻				administrator@2x.testing 🔻
	<mark>l 77 –                                 </mark>	HALB		1
ファーム		✓ HALB を有効化(E)		
		仮想 IP(V):	172.22.32.9	
ロードバランス		サブネット マスク(S):	255.255.0.0	
		デバイスあたりの最大セッション数(M):	2000	
公開		🔽 LB ゲートウェイペイロード(G)	構成(C)	
🚔	🚯 設定	□ LB SSL ペイロード(L)	構成(0)	
ユニバーサルプリント		デバイフ(ロ):		
		デバイス デバイス	25192	
接続				
クライアントマネージャー		2X HALB コンポーネントのインストール方法	去の言羊細	
<b>ジ</b> ポリシー <b>・</b>	「情報 HALB			
			閉じる	(C) Apply Help

HALB アプライアンスを追加します

4 次に、このファームで管理する HALB アプライアンスの追加に進みます。上の図に示されている緑のプラス アイコンをクリックし、[HALB デバイスの追加] ウィンドウを開きます(以下の図を参照)。

HA	LB デバイスの追加		? ×
Ŧ	川用可能な HALB デバイス		
	<u>デバイス</u> 10.125.0.122	<u>(住所</u> 利用できます	OK 更新 キャンセル
F	· アドレス:		
			li.

検出された HALB アプライアンスの IP アドレスを追加するか、または手動で入力します

Parallels 2X RAS は、ネットワーク上の HALB アプライアンスを検出し、それらをリストとして表示できます。検出された HALB アプライアンスをこのリストから選択することで、新しいアプライアンスを追加することをお勧めします。何らかの理由でアプライアンスを検出できない場合は、アプライアンスの IP を [IP アドレス] フィールドに指定することで HALB アプライアンスを手動で追加することもできます。[OK] をクリックして構成を適用します。

5 [OK] ボタンを押すと、アプライアンスが初期化され、リストに追加されます。

<ul> <li>Parallels 2X Remo</li> <li>ファイル(F)表示(V) す</li> <li>E</li> <li>アプリケーション グル・</li> </ul>	te Application Server Console 言語(L) ヘルプ(H) ・ 「「」 ープ デスクトップ 既在のアプリケー・	د
サイト2XRAS ・ サイト2XRAS ・ ロードパランス 公開 ユニパーサルブリント ユニパーサルスキャン 接続 クライアントマネージャ		administrator@2x.testing ▼       HALB       Image: Hall b b f a f a f a f a f a f a f a f a f a
ポリシー	HALB	開じる(C) Apply Help

HALB アプライアンスの構成を完了します

6 最後に、[適用]をクリックし、追加したすべての HALB アプライアンスに構成を適用します。

**注意**: Parallels 2X が推奨する完全な手順については、次のガイドを参照してください。 http://www.2x.com/support/ras/deploy-and-configure-halb-appliance/ http://www.2x.com/support/ras/deploy-and-configure-halb-appliance/

## 第 13 章

# 2X ユニバーサルプリント

この章の内容

ユニバーサルプリントサーバーの管理	193
フォント マネジメント	195

## ユニバーサルプリントサーバーの管理

プリンターのリダイレクトによって、リモート デスクトップに接続しているユーザーや公開済 みのアプリケーションにアクセスしているユーザーは、ローカルに取り付けられたプリンターで 印刷を行うことできます。 ユニバーサルプリントでは、ローカルに取り付けられたプリンターのプリンター ドライバーを サーバーにインストールする必要がないため、印刷プロセスが簡素化され、プリンター ドライ バーのほとんどの問題が解決します。したがって、ユーザーは、マシンに取り付けられているプ リンターのタイプやブランドに関係なく、いつでも印刷を行うことができます。また、管理者は、 ネットワーク上のプリンターごとにプリンター ドライバーをインストールする必要がありませ ん。

🖀 Parallels 2X Remote Application Server Console	
ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
📑 🖬 🦾 📑 📑 アプリケーション グループ デスクトップ 既存のアプリケーション ドキュメント	
サイト2XRAS 👻	administrator@2x.testing 💌
フォーム       フォーム         アラーム       ブリンターのリネーム         パターン(P):       ※PRINTERNAME% for User: %USERNAME%         ビードバランス       設定が、すべてのサイトに複製されました。         シロードバランス       ジロードバー(S):         サーバー       タイブ         ロードバワリント       ジローバー(S):         サーバー       タイブ         サーバー       タイブ         リーバー       クイブ         ロ.124.4.19       ターミナルサーバー         10.124.4.20       ターミナルサーバー         シras2006R2       VDI ホスト         アンドマネージー       イカカ         ジボホ       グ目	administrator@2x.testing ▼ このページでは、各サーバーに 対し、ユニバーサルプリントを 有効にできます。 プリンターの呼称パターンでプ リンターの合成名称を決定し ますが、事前定義変数を使 って設定可能です。
開いる	δ( <u>C)</u> <u>A</u> pply Help

ユニバーサルプリントの構成

デフォルトでは、ユニバーサルプリントドライバーは、ターミナル サーバー、VDI ゲスト、リ モート PC エージェントとともに自動的にインストールされます。そのため、サーバーをファー ムに追加すると、ユニバーサルプリントがインストールされます。32 ビット形式と 64 ビット 形式のユニバーサルプリントドライバーが用意されています。

ユニバーサルプリントサポートの有効化および無効化

特定のサーバーのユニバーサルプリントサポートを有効または無効にするには、次の手順を実行 します。 194

- **1** Parallels 2X Remote Application Server Console を開き、[ユニバーサルプリント] カテ ゴリーを選択します。
- 2 [サイト内のサーバー] リストから変更するサーバーの名前を選択し、[タスク] ドロップダ ウンメニューで[有効]をクリックしてユニバーサルプリントサポートを有効にするか、[無 効時]をクリックして無効にします。

プリンター名の変更パターンの構成

デフォルトでは、Parallels 2X Remote Application Server は次のパターンを使用してプリン ター名を変更します。%PRINTERNAME% for %USERNAME% by 2X。つまり、ローカルで PRINTER1 を 取り付けているユーザーである Robert がリモート デスクトップまたは公開済みのアプリケー ションに接続した場合、このユーザーのプリンター名は「PRINTER1 for Robert by 2X」に変更 されます。

プリンター名の変更で使用するパターンを変更するには、Parallels 2X Remote Application Server Console から [ユニバーサルプリント] ノードに移動し、[プリンターのリネーム] の [パ ターン] 入力フィールドに新しいパターンを指定します。プリンター名の変更で使用できる変数 は次のとおりです。

- %PRINTERNAME%: クライアント側のプリンター名
- %USERNAME%:サーバーに接続しているユーザーのユーザー名
- %SESSIONID%: アクション セッションのセッション ID
- <2X Universal Printer>:レガシーモード。これは、ユーザーが複数のプリンターをローカルに取り付けていても、1つのプリンター名のみが表示され、使用されることを意味します。このモードでは、仮想プリンターのハードウェア特性がローカルプリンターとは異なります。

サーバー プロパティから、サーバーごとに異なるプリンター名変更パターンを構成することもできます。

**注意**: リダイレクトされたプリンターにアクセスできるのは、管理者と、プリンターをリダイレクト したユーザーのみです。

# フォント マネジメント

フォントを埋め込む必要があります。ユニバーサルプリントを使用してドキュメントを印刷する 場合、ドキュメントがクライアント マシンのローカル スプーラーにコピーされ印刷されます。 クライアント マシンにフォントが存在しない場合、印刷が正しく出力されません。 印刷ジョブ内でフォントの埋め込みを制御するには、[フォントマネジメント] タブを使用して、 [フォントを Embed する] オプションをオンまたはオフにします。

器 Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
E I I I I I I I I I I I I I I I I I I I	
サイト2XRA5 👻	administrator@2x.testing 💌
アーム       コニバーサルブリント フォントマネジメント         アーム       アーム         アーム       アーム         ロードバランス       アントをEmbedする(E)         ス開       アイム         マニバーサルプリント       アオントをEmbedする(C):         フォントを       Aharoni         Algerian       Andalus         Angerian       Andalus         Algerian       Angerian         Algerian       Angerian         Algerian       Angerian         Algerian       Angerian         Algerian       Algerian         Algerian       Algerian         Algerian       Algerian         Algerian       Algeri	<ul> <li></li></ul>
	δ(C) <u>A</u> pply Help

[フォントを Embed する] オプション

フォントの埋め込みの除外

特定のフォント タイプを埋め込まないようにするには、[以下のフォントの Embed を除外する] セクション の [タスク] ドロップダウン メニューで [追加] をクリックし、リストからフォン トを選択します。

サーバーとクライアントへのフォントの自動インストール

サーバーとクライアントに特定のフォントタイプを自動的にインストールするには、[自動的に インストールされるフォント] セクションの [タスク] ドロップダウン メニューで [追加] を クリックし、リストからフォントを選択します。 注意:デフォルトでは、自動インストール リストに追加されているフォントは埋め込みリスト から除外されます。そのようなフォントは Windows クライアントにインストールされているた め、埋め込む必要はありません。[フォントの選択] ダイアログ ボックスで [自動的にフォント を除外する] オプションをオフにすると、フォントは埋め込みリストから除外されません。

除外するフォントのリストをデフォルトにリセット

除外するフォントのリストをデフォルトにリセットするには、[タスク] ドロップダウン メニュ ーで [デフォルトにリセット] をクリックします。

### 第 14 章

## 2X ユニバーサルスキャン

### この章の内容

ユニバーサルスキャンの管理	198
スキャン アプリケーションの管理	201

## ユニバーサルスキャンの管理

スキャナーのリダイレクトによって、リモート デスクトップに接続しているユーザーや公開済 みのアプリケーションにアクセスしているユーザーは、クライアント マシンに接続されたスキ ャナーを使用してスキャンを行うことができます。

ユニバーサルスキャンでは、TWAIN および WIA リダイレクトが使用されます。これにより、こ のどちらかのテクノロジーを備えたハードウェアを使用する任意のアプリケーションをクライ アント デバイスに接続し、スキャンを行うことができます。ユニバーサルスキャンでは、サー バーにスキャナー ドライバーをインストールする必要がありません。ターミナル サーバーで現 在使用されているユーザーやセッションの数に関係なく、1 つのスキャナーのみがサーバー上で 示されます。 **注意**: ターミナル サーバーで WIA と TWAIN の両方のスキャンを有効にするには、「デスクトップエクスペリエンス」というサーバー機能が必要です。

🖀 Parallels 2X Remote Application Server Console	
ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
アプリケーション グループ デスクトップ 既存のアプリケーション ドキュメント	
ザイト2XRAS 👻	administrator@2x.testing 💌
	1
ファーム ファーム ファーム	• 1 情報
パターン(P): %SCANNERNAME% for %USERNAME% by 2X	WIA 対応デバイスへのリモー
ロードバランス 設定が、オペアのサイトに推測されました。 🔽 設定を推測する	(R)
	10 V
ユニバーサルプリント 10.124.4.20 ターミナルサーバー 🥥 有効	
接続	
	問じる(C) Apply Help

ユニバーサルスキャンのオプション

デフォルトでは、ユニバーサルスキャンドライバーは、ターミナル サーバー、VDI ゲスト、リ モート PC エージェントとともに自動的にインストールされます。そのため、サーバーをファー ムに追加すると、ユニバーサルスキャンがインストールされます。

**注意:**32 ビット形式と 64 ビット形式のユニバーサルスキャンドライバーが用意されています。現在、 32 ビット アプリケーションのみがサポートされます。 スキャナー名の変更パターンの構成

デフォルトでは、Parallels 2X Remote Application Server は次のパターンを使用してスキャ ナー名を変更します。%SCANNERNAME% for %USERNAME% by 2X。つまり、ローカルで SCANNER1 を 取り付けているユーザーである Samuel がリモート デスクトップまたは公開済みのアプリケー ションに接続した場合、このユーザーのスキャナー名は「SCANNER1 for Samuel by 2X」に変更 されます。

スキャナー名の変更で使用するパターンを変更するには、Parallels 2X Remote Application Server Console から [ユニバーサルスキャン] ノードに移動し、[スキャナーのリネーム] の [パ ターン] 入力フィールドに新しいパターンを指定します。スキャナー名の変更で使用できる変数 は次のとおりです。

- %SCANNERNAME%: クライアント側のスキャナー名
- %USERNAME%:サーバーに接続しているユーザーのユーザー名
- %SESSIONID%: アクション セッションのセッション ID

サーバー プロパティから、サーバーごとに異なるスキャナー名変更パターンを構成することも できます。

**注意**: リダイレクトされたスキャナーにアクセスできるのは、管理者と、スキャナーをリダイレクト したユーザーのみです。

ユニバーサルスキャンサポートの有効化および無効化

特定のサーバーの WIA または Twain のユニバーサルスキャンサポートを有効または無効にする には、次の手順を実行します。

- **1** Parallels 2X Remote Application Server Console を開き、ナビゲーション バーの [ユニ バーサルスキャン] カテゴリーを開きます。
- 2 [WIA] タブまたは [TWAIN] タブをクリックします。
- 3 変更するサーバーの名前を選択し、[タスク] ドロップダウン メニューで [有効] をクリックしてユニバーサルスキャンサポートを有効にするか、[無効時] をクリックして無効にします。

## スキャン アプリケーションの管理

スキャン アプリケーションの追加

ユニバーサルスキャン機能を使用する TWAIN アプリケーションを、[TWAIN] タブから [TWAIN ア プリケーション] ボタンを選択して追加する必要があります。これにより、TWAIN アプリケーシ ョンで Twain ドライバーを使用できるようになるため、管理者は TWAIN アプリケーションを容 易にセットアップできます。次の手順に従って、アプリケーションをスキャン アプリケーショ ンのリストに追加します。

- **1** Parallels 2X Remote Application Server Console を開き、[ユニバーサルスキャン] カテ ゴリーを開きます。
- **2** [TWAIN] タブをクリックします。
- **3** [TWAIN アプリケーション] ボタンをクリックし、[追加] をクリックします。
- 4 アプリケーションの実行ファイルを参照し、[開く]をクリックします。

🖀 Parallels 2X Remote Application Server Console	2		
ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)			
アプリケーション グループ デスクトップ 既存のアプリ			
サイト2XRA5 👻			administrator@2x.testing 🔻
WIA TWAIN			
ファーム スキャナーのリネーム			• 情報
	RNAME% for %USERNAME% by 2	×	TWAIN 対応デバイスへのリモ
	設定が、すべてのサイトに複製されま	:した。 🕑 設定を複製する(R)	
公開 り11(へのりーハー(2):	カイツ		
10.124.4.19	<u></u> ターミナルサーバー	● 有効	
ユニバーサルプリント 10.124.4.20	ターミナルサーバー	⊘ 有効	
<b>ニニ</b> バーサルスキャン			
接続			
クライアントマネージェー			
		即	Sa(C) Apply Help

スキャン アプリケーションの構成

**注意**:アプリケーションによっては、異なるまたは複数の実行ファイルが使用される場合があります。 使用するすべての実行ファイルをスキャン アプリケーションのリストに追加したことを確認してくだ さい。

スキャン アプリケーションの削除

リストからスキャンアプリケーションを削除するには、アプリケーション名を選択し、[タスク] ドロップダウン メニューで [削除] をクリックします。

**注意**:スキャン アプリケーションのリストからアプリケーションを削除しても、アプリケーションの インストールは影響を受けません。

## 第 15 章

# デバイスの管理

### この章の内容

デバイスを接続するようユーザーを招待	203
デバイスのモニタリング	206
Windows デバイスの管理	207
Windows デバイスグループ	217
Windows デバイスおよびグループの電源サイクルのスケジューリング	220
Parallels 2X RDP クライアント設定の管理	223

# デバイスを接続するようユーザーを招待

Parallels 2X Remote Application Server は、デスクトップ PC や MAC からモバイル デバイ スや ChromeApps にいたるまで、多くのプラットフォームをサポートします。招待メール機能は、 インストールやクライアントのロールアウト プロセスに伴う複雑さを軽減することを目的とし て設計されています。この機能により、管理者はクライアント インストール手順および自動構 成手順をエンドユーザーに集中管理コンソールから送信することができます。 ユーザーへの招待メールの送信

処理を開始する前に、まず、次のページで説明されているとおりに [メールボックス設定] を正 しく構成したことを確認してください。

http://www.2x.com/support/ras-documentation/manual/monitoring-counters/#h.1fob9te http://www.2x.com/support/ras-documentation/manual/monitoring-counters/#h.1fob9te

[管理] カテゴリーでの招待状の送信に関する設定

確認が完了したら、[管理] > [招待状の送信] に移動し、以下のオプションを構成します。

- **1** まず、[受信者] セクションから受信者を選択します。Active Directory を参照し、ユーザーまたはグループを単に選択することもできます。
- 2 [オプション] セクションで、以下のオプションを構成します。
  - [対象デバイス] 受信者が実行しているプラットフォームを選択します。利用可能な現在のプラットフォームは次のとおりです。

- Windows XP 8.1 デスクトップ
- Linux デスクトップ
- MAC デスクトップ
- Android
- i0S
- Chrome アプリ
- HTML5 対応ブラウザー
- パブリック ゲートウェイ IP ゲートウェイ (GW) のドメイン名または IP を選択しま す。リモート ユーザーがシステムにアクセスできるように、これを パブリック IP とす ることができます。
- ゲートウェイモード ゲートウェイの接続モードを選択します。SSLモードでは、GWで SSLを構成する必要があります。

->	k−)μ
	Dear %RECIPIENT%,
	You have been invited by %SENDER% to connect to 2X Remote Application Serve
	%INSTRUCTIONS%
	招待状の送付(5) プレビュー(V) デフォルト

デフォルトの招待メール テンプレート

- 3 [メール] セクションには、[受信者] セクションで追加したメール アドレスに送信するメッ セージが表示されます。このメールのテキストを編集するように選択するか、デフォルトの まま残します。メールに追加できる変数は次のとおりです。
  - %RECIPIENT% 受信者のユーザー名
  - %SENDER% メールの送信元の管理者アカウント
  - %INSTRUCTIONS% 自動構成プロセスが含まれます
  - %MANUALINSTRUCTIONS% 手動構成プロセスが含まれます
- 4 完了したら、[招待状の送信]をクリックして追加した受信者にメールを送信するか、[プレビュー]をクリックして、ユーザーにメールがどのように表示されるかを確認するか、[デフォルト]をクリックして、メールを元のテキストに戻します。

## デバイスのモニタリング

Parallels 2X Remote Application Server Console の [クライアント マネージャー] カテゴリ ーでは、システムに接続されたすべてのクライアントを表示したり、Parallels 2X Remote Application Server コンポーネントを管理したり、管理するデバイスにそのコンポーネントを 展開したりできます。また、Windows 2X Client の設定の制限および適用を行うこともできます。

はじめに

[クライアント マネージャー] カテゴリーの [デバイス] タブでは、Parallels 2X Remote Application Server に接続されたすべてのクライアントの概要を確認できます。また、同じタ ブで、Parallels 2X Remote Application Server に接続されたデバイスを検索したり、下部に あるデバイス ツールバーを使用して、2X RDP クライアントを実行しているデバイスの電源オン またはオフ、再起動、ログオフを行ったりすることもできます。

### デバイスのステイタス

Parallels 2X Remote Application Server に接続されたデバイスとシンクライアントのステイ タスは以下のいずれかになっています。

- オフ:デバイスはオフになっています
- 起動中:デバイスは起動中です
- インストール中:デバイスはインストール中です
- 接続済み:デバイスは接続されています
- ログイン済み:デバイスはシステムにログインしています
- 再起動中:デバイスは再起動中です
- スタンドアロン:デバイスは Parallels 2X Remote Application Server に以前接続されて いましたが、2X RDP クライアントを使用していません。そのため、このデバイスを管理でき ません
- 許可が必要です:デバイスを Parallels 2X Remote Application Server に接続するには許可が必要です
- 不許可:デバイスは Parallels 2X Remote Application Server へのアクセスを拒否されました
- サポートされていません:デバイスは Parallels 2X Remote Application Server でサポー トされていません
- エラー:デバイスでエラーが発生しています
- 外部管理:ファームに接続していますが、別のファームによって管理されています 206

 管理できません: クライアントバージョンに対応していないか、インストールされていない コンポーネントがあるため、クライアントを管理できません

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	このようになった。 このようには、「このよう」 このようには、「このよう」 このようには、「このよう」 このようには、 こいよいは、 こい	ני אלאביא ארשיע איז איז דער איז איז דער איז דער דער גער איז דער			
					administrator@2x.testing
	デバイス Windows デバイ	スグループ   オプション   ス	ケジューラー		
77-4	デバイス(D):		G	🔍 🔍 🗢	↓ 情報
-	名前	IP	住所	最後のユーザー	このページでは、デバイスを管
ロード(5)シス 公開 ユニバーサルプリント エニバーサルスキャン	SEAN-EA73A61810 SEAN-PC SEAN-PC SEANBIANCO-LPT	172.19.0.135 172.19.0.97 10.124.4.111 10.124.4.129 10.124.4.184	日本できません 管理できません 管理できません 停止 停止 サポートされていません スタンドアロン	administrator@ administrator@	また、このリストにある端末の 起動、シャットダウン、再起動 ができます。 2X SecureClientGatewaysの いくっかがSSを有効にしてい ません。これにより、データ転 送が安全ではない場合があ ります。
接続	Connected: 0	Logged On: 0	Total: 8	<u></u>	
ライアントマネージ 	, (し) 電源オン) (し) 電影	原オフ) 🕘 再起動) 🚺	ログオフ <u>健</u> シャドー 🕻	<u></u> ★ × ×	

[クライアント マネージャー] カテゴリーに表示されたデバイスのリスト

# Windows デバイスの管理

クライアント マネージャー機能を使用すると、管理者は、Windows XP から Windows 8.1 まで を実行する Windows デバイスをシンクライアントのような OS に変換できます。これを行うに は、管理者は、まず、ファームに接続されたデバイスを管理するように選択する必要があります。 Windows デバイスを管理するには、Windows 用の Parallels 2X RDP クライアントの現在のバー ジョンが Windows デバイスで実行されている必要があります。

Windows 用の Parallels 2X RDP クライアントを 2X ファームに接続し、デバイスを登録および 管理するために必要な手順を以下に示します。 インストールおよび構成

まず、Windows 用の Parallels 2X RDP クライアントを http://www.2x.com/ras/downloadlinks/ からダウンロードし、「2xclient.msi」または「2xclientx64.msi」をダブルクリックして実行 し、インストール ウィザードに従ってインストールを実行します(64 ビット バージョンを 64 ビット Windows にインストールします)。

🚡 Parallels 2X RDP	- I ×
ファイル(F) アプリケーション(A) ツール(T) 表示(V) ヘルプ(H)	
開く 更新 アップ フォルダー 表示 オプション 接続プロパティ	
検索(s): 【 【 情報 】	×
新しい接続	
2) C Remote Application Server 安全なビジネス接続	
6	
<sup>1</sup> ● 標準RDP (7リー) 安全でない接続	
OK	

Parallels 2X Remote Application Server の接続を追加します

完了したら、Parallels 2X RDP クライアントを実行し、次の手順に従って新しい 2X RAS 接続 を構成します。

- **1** [ファイル] をクリックします。
- **2** [新しい接続を追加] をクリックします。

3 [Parallels 2X Remote Application Server] を選択し、[OK] をクリックします。

'新しいRASの	接続'の接続ブロパラ	î1	<u>?</u> ×
接続 デス	フレイ 印刷中 入	キャン中   ローカル リソース   エクスペリエンス	
接続設定	1		
	プライマリ接続(P):	<u> </u>	
	接続モード <b>(</b> C):	ゲートウエイ	
	ポ−Ւ <mark>(0)։</mark>	80	
		セカンダリ接続(5)	
	エイリアス <mark>(A)</mark> :		
<u> </u>			
6	オートログオン(L)	)	
	▶ システム証明書	:(550)の使用(U)	
	ユーザー名(E):	Sean	
	パスワード <mark>(W)</mark> :		
		▶ パスワード保存(V)	
	ドメイン <b>(D)</b> :		
		OK Cancel He	lp

Parallels 2X Remote Application Server の接続を構成します

- 4 次に、以下の接続プロパティを構成します。
  - プライマリ接続 Parallels 2X Remote Application Server の FQDN または IP を指定 します。
  - ユーザー認証情報 ユーザー名、パスワード、ドメインを入力します。
- 5 [OK] をクリックして、新しい接続を作成します。

完了すると、Windows デバイスが [クライアント マネージャー] カテゴリーの [デバイス] リストに表示され、公開リソースにアクセスできます。

### デバイスの管理

Windows デバイスの登録

電源オフ、再起動、シャドーなどの機能を使用するには、Windows デバイスが管理されている必要があります。ファームで Windows デバイスを自動的に管理するように設定したり、最初に管理者の承認を要求するように設定したりできます。

Parallels 2X Remote A ファイル(F) 表示(V) 言語() E アクリケーション グループ	pplication Server Const L) ヘルブ(H) 「つうつう」 [] デスクトップ 既存のアプ	ole ອີ 🔒 ປກ-ນານ ກິສາມານ			
サイト2xRAS ▼ サイト2xRAS ▼ アテーム ロードバランス ご ご ご ご こ 二 パーサルプリント こ 二 バーサルスキャン	デバイス Windows デバイ デバイス(D): 名前 3cxs-iPad html5-e97698bc iPad-3 NOKIA RM-820_na SEAN-PC SEAN-PC SEAN-PC SEAN-PC	スグループ   オプション   IP 172.19.0.105 172.19.0.135 172.19.0.97 10.124.4.130 10.124.4.130 10.124.4.139 10.124.4.159 10.124.4.14 10.124.4.129 10.124.4.129	スケジューラー         住所         管理できま         管理できま         管理できま         管理できま         サポートさ         サポートさ         サポートさ、         サポートさ、         サポートさ、         サポートさ、         サポートさ、         ウェートさ、         ウェートさ、         アバイス情報を入手         サポートさ、         ウェートさ、         アバイス情報を入手         ウェートさ、         マンドアロン	● 【 タスク ▼ ● 【 タスク ▼ ● 「 します(R), ● 「 します(I) 00 18 ator@2x C( ator@2x C( ator@2x D(	administrator@2x.testing ▼ ① 情報 このページでは、デバイスを管理できます。 また、このリストにある端末の 記動、シャットダウン、再起動 ができます。 2X SecureClientGatewaysの (べつかがSSIを有効にしてい ません。これにより、データ転 送が安全ではない場合があ ります。
接続 ウライアントマネージャー グットマネージャー ポリシー  マ	<ul> <li>【●】</li> <li>【●】 電源オン】</li> <li>【●】 電源オン】</li> </ul>	Logged On 泉オフ) (① 再起動) (『	: 0 Total: 12 中ログオフ) (旦 シャドー) (国 検索) マ	 >> 閉じ?	5(C) Apply Help

クライアント マネージャーから Windows デバイスを管理します

次の手順に従って、2X RAS Console から、Parallels 2X Remote Application Server でデバイ スを管理することを承認します。

- 1 [クライアント マネージャー] > [デバイス] に移動します。
- 2 デバイスを選択します。
- **3** [タスク] をクリックします。
- 4 [デバイスの管理]をクリックします。

デバイスが再接続されるまでデバイスの状態が [ペアを保留中] に変わります。[ファーム] > [ゲ ートウェイ] でゲートウェイを選択し、[タスク] > [プロパティ] > [ネットワーク] で、[クラ イアントマネージャー ポート] が有効になっていることを確認します。無効になっている場合、 デバイスの状態は [ペアを保留中] のままです。



管理されたデバイスが [ログイン済み] として表示されます

Parallels 2X RDP クライアントが再接続されると、登録プロセスが完了し、デバイスの状態が[ロ グイン済み]に更新されます。これは、デバイスが 2X RAS で管理されていることを示します。

次の手順に従って、Parallels 2X Remote Application Server で Windows デバイスを自動的に 管理するように設定することもできます。

- 1 [クライアント マネージャー] に移動します。
- **2** [オプション] をクリックします。

**3** [Windows デバイスを自動的に管理する] を有効にします。



管理された Parallels 2X RDP Client

これで、管理者はデバイスの状態を確認し、電源オン、電源オフ、再起動、ログオフなど、電源 制御の各操作を実行できます。

**注意:**古いバージョンの Parallels 2X RDP クライアントを実行しているデバイスを管理することは できません。そのようなデバイスは「サポートされていません」としてマークされます。 Windows デバイスのシャドー

Windows デバイスをシャドーして、デスクトップ全体にアクセスし、システムでローカルに実行 されているアプリケーションだけでなく Parallels 2X Remote Application Server から公開さ れたリモート アプリケーションを制御します。

🚡 Parallels 2X Remote Application Server Console	Al toutol rest	👌 🖬 🤋 🖉 🔹 Document - WordPad 📃 😐 🕱
2ヶ(ル9) 表示(1) 高級(1) ヘルプ(10)		10 Face 200 - 0
アフリケーション グループ デスクトップ 既存のアフリケーション ドキュメント		Eatr         ■ I I = X X ≤ 2: Ar         ■ I = I = I         B = I = I
th1 h2iRAS ▼ administrator@2testing ▼	19 C - Charametologies -	se se reci <mark>ne. Seconde que contra esta de la companye se avec de companye de la companye de companye</mark>
デバイス Window 57 (イスジループ) オブリョン スクジューラー      デバイス Window 57 (イスジループ) オブリョン スクジューラー      デバイス Window 57 (イスジループ) オブリョン スクジューラー      ディーム		
1.2     10.214-513     10.214-51     10.214-5     10.	Local Application	Remote Application
Tage 42304189 伊祉     Tage 42304189     Tage 42304189     Tage 42304189     Tage 42304189     Tage 42304189     Tage 4230418     Tage 423041     Tage 42304     Ta		
Alf Connected: 0 Logged On: 0 Total: 13		
システム (作成演 デバイス #41: SEMBERNICO-APT オン 07/14/15 12-02:53。		
Micatico Acoby Help		
	a laterate laterate	100 🕒 🗸 🕑 ,
		호 (200 호 (200 년 20

Windows デバイスのシャドー

Windows デバイスをシャドーするには、次の手順を実行します。

- 1 [クライアント マネージャー] > [デバイス] に移動します。
- 2 デバイスを選択します。
- **3** [シャドー] をクリックします。

**注意**:Windows ユーザーは、管理者から制御されること、および管理者からアクセスを拒否される可能性があることを許可するように要求されます。管理者は、[クライアント マネージャー] > [デバイス] > \*Windows デバイスの選択\* > [タスク] > [プロパティ] > [シャドーイング] で、[承認要請] プロンプトを無効にすることができます。

また、シャドーイングを行うには、コンソールの実行元であるマシンとデバイス自体の間に直接 接続が必要になります。 デスクトップを置換

[デスクトップを置換] オプションを有効にすると、ユーザーはシステム設定の変更や新しいア プリケーションのインストールを制限されます。Windows デスクトップを Parallels 2X RDP ク ライアントで置換すると、オペレーティング システムを置換することなく、Windows オペレー ティング システムがシンクライアントのような OS に変換されます。この方法では、ユーザー はアプリケーションを 2X Client からしか展開できません。したがって、管理者は、接続され たデバイスを高いレベルで制御できます。また、キオスク モードを有効にした場合のみユーザ ーによる電源の再投入が制限されます。

Windows デバイス 🔹 😢	]	R 2X RDP - 172.22.51.152 [Managed]
メイン OS設定 シャドーイング      「 ユーザーグループの設定(U)       マ テスクトップを置換(R)     「 キオスクモードを有効にしまぁ。(K)       管理者モードパスワード(A):     ● ● タスク ▼       パスワードの表示(S)     マ ケィールを有効にする(E)       受付指ホート(I):     ● ● タスク ▼       ポート     ブロトコル       50005     TCP       QC     OK       Carcel     Help		Prince regulatories from the regulatory for the reg

[デスクトップを置換]を有効にします。

[デスクトップを置換]機能を有効にするには、次の手順を実行します。

- **1** Windows デバイスを選択し、[タスク] をクリックします。
- 2 [プロパティ] をクリックします。
- **3** [OS 設定] をクリックします。
- 4 [デスクトップを置換]を有効にします。
- **5** [OK] をクリックします。

**注意**:この機能を使用するには、Windows デバイスでユーザー モードから管理者モードに切り替える ための管理パスワードを設定する必要があります。[ユーザー グループの設定]を有効にした場合、 デバイスの所属先のグループから設定が継承されます。

管理者モードに切り替え

ユーザー モードでは、ユーザーが使用するアプリケーションは、管理者が提供するアプリケー ションのみに制限されます。システム設定を変更するには、デバイスを管理モードに切り替えま す。



管理者モードに切り替え

管理者モードに変更するには、システム トレイ アイコンを右クリックし、[管理者モードに切 り替え]を選択して、構成済みのパスワードを入力します。

Feature	User Mode	Admin Mode
2X RDP Client Global Options		х
2X Client Farm Connection Properties		х
Configuration of Local Applications		х
Ability to add New 2X Remote Application Server Connection		x
Ability to add New Standard RDP Connection		х
Ability to Manage Standard RDP Connections and Folders		х
Display Settings	Х	х
Mouse Settings	Х	Х
Printer Settings		Х
Task Manager		Х
Control Panel		х
Command Prompt		х
Windows Explorer		х
Import / Export Settings		Х

上の表は管理者モードとユーザー モードで使用できる機能を示しています。

Parallels 2X RDP クライアントの代替デスクトップを使用する場合のローカル アプリ ケーションの構成

[デスクトップを置換] オプションを有効にした場合、管理者は、リモート アプリケーションまたはリモート デスクトップを展開し、ネイティブの OS を使用してリモート接続に必要なソフトウェアを単に展開するだけで済みます。ただし、場合によってローカル アプリケーションが必要になることもあります。管理者は Parallels 2X RDP クライアントの代替デスクトップ内にローカル アプリケーションを表示するように構成することもできますが、その前に管理者モードに切り替える必要があります。

ローカル アプリケーションを公開するには、次の手順を実行します。

- ユーザーのセッションをシャドーするか、ユーザー デバイス ステーションを直接使用します。
- **2** Parallels 2X RDP クライアントの代替デスクトップを管理者モードに切り替えます。
- **3** 「ファイル] > 「新しいアプリケーションを追加] をクリックします。

0	ーカルアプリケ	ーションの追加		×
[				
	エイリアス:	Visio		
	パス:	C: Program File	es (x86)\Microsoft Office\Office15\VISIO.EXE	
	コマンド ライ:	2引数:	-silent	
			ОК	キャンセル
				115 C/

ローカルアプリケーションを追加します
4 アプリケーションの情報を入力します。

S = an a feb = 10 − 30 − 37 − 30 − 57 − 37 − 37 − 37 − 37 − 37 − 37 − 37	_ 6 ×
第二ています 最新の様態に走時 Ppd 2mlが 表示 オプション 接流プロドイ マン2枚定 (所) ログオフ シャットダウン 再起始	
(#素()) → × (18月)	×
- S Nalls Office Viso	
e _ Apticators ← Douments	
· _ Destops - 실 객류 Roy 원왕	
■ MUC2485	
👁 Start 🔯 🗟	😔 🗄 🐨 😌 🗃 🤉 😂 🚺 🕤 🏜 🗢 🛢 😘 13:29

ローカルアプリケーションにアクセスします

5 追加されたアプリケーションはアプリケーション ランチャーに表示されます。

6 必要なすべてのアプリケーションを構成したら、ユーザー モードに戻ります。

OS ごとのすべてのデスクトップ置換機能については、次のページを参照してください。 http://www.2x.com/windows-desktop-replacement/ http://www.2x.com/windows-desktop-replacement/

# Windows デバイス グループ

Windows デバイス グループを使用すると、管理されたいくつかの Windows デバイスをグループ 化し、それらをまとめて管理できます。Windows デバイスが管理対象になると、そのデバイスは デフォルト グループから設定を自動的に継承します。

注意:グループから継承された設定を上書きするようにグループ内の特定のデバイスを構成できます。

Windows デバイス グループの構成

Windows デバイス グループを構成するには、次の手順を実行します。

**1** [クライアント マネージャー] カテゴリーの [Windows デバイス グループ] タブに移動し、 [タスク] ドロップダウンメニューで [追加] をクリックします。

Win	idows デバイスグル・	-7			? ×
×	イン   OS 設定   シ・	ャドーイング			
	· ·				
	グループ名(G):	WinDevGroup(1)			
	1088(r))·				
	8/6-71(0/7)	1			
			ОК	Cancel	Help

Windows デバイス グループを追加します

2 [メイン] タブで [グループ名] と [説明] (オプション) を指定します。

Windo	ws デバイスグループ		? ×
342	/ OS 設定 シャドーイング		
	以下の設定の構成設定:		
	□ デスクトップを置換(R)		
	🥅 キオスクモードを有効にします。(K)		
	管理者モードパスワード(A): ●●●●●		パスワードの表示(5)
	▼ ファイアウォールを有効にする(E)		
	受信ポート(I):		💿 💿 😓 👻
	ポート	( วํอหวม	ว้อวร4ม
	50005	TCP	全て
		ОК	Cancel Help

[OS 設定] タブ

- 3 このグループ デバイスのインターフェイスを制限するには、[OS 設定]で[デスクトップを 置換]オプションを有効にするように選択します。有効にした場合は、デバイスをユーザーモ ードから管理者モードに切り替える際に必要となる[管理者モードパスワード]を指定しま す。
- 4 受信ポートを追加するには、[ファイアウォールを有効にする] オプションを選択します。[タ スク] > [追加] で、受信ポートを追加します。

Windows デバイスグル	-7			? ×
メイン   OS 設定   シ	ャドーイング			
以下の設定の構	構成設定:			
☑ 承認要請()	R)			
		ОК	Cancel	Help

[シャドーイング] タブ

5 次に、Windows デバイス ユーザーのデスクトップをリモートで制御する前にそのユーザーに プロンプトを表示するために、[シャドーイング] タブで [承認要請] を有効にします。有効 にした場合、ユーザーは接続を拒否することができます。 グループへの Windows デバイスの追加

管理された Windows デバイスをグループに追加するには、次の手順を実行します。

🖀 Parallels 2X Remote Application Server Console ファイルド)表示(V) 言語(L) ヘルブ(H)					
アプリケーション グループ デスクトップ 既存のアプリケーション ドキュメント		Windo	ws デバイス		? X
₩1+2xRAS	administrator@2x.testing 🔻	( <del>אר</del> נ	/ 05 設定 [シャドーイング]	1	
アドイス     ツバ・ペンジャン       ア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<ul> <li>1 情報 こがへってた、デバイスを管 道できます。 また、このリストにある様本の 起動、シットタウン、再起動 ができずる。</li> <li>2: Secure Clent Catewaysの いくつからますねとしてしま まだったしまれた。 はかなった。</li> </ul>		MACアドレス: ホスト名(H): 最新のIP: 最(款:ログオンしたユーザー: グループのメンバ~(G): 記述(D): (注所:	18-03-73-86-55-5F           SEAN-PC           10.124-4.141           ADMINSTRATOR@2X <c0fault>           CoFault&gt;           Cofault&gt;</c0fault>	ncel Help
musa musa	Apply         Help				

Windows デバイスをグループへ追加します

- **1** [クライアント マネージャー] > [デバイス] に移動し、管理された Windows デバイスを選 択して、[タスク] ドロップダウン メニューで [プロパティ] をクリックします。
- [メイン] タブで [グループのメンバー] ドロップダウン リストをクリックします(追加されたすべてのグループが表示されます)。
- 3 デバイスの追加先であるグループを選択し、[OK] を選択します。

これで、管理者は、デバイスのグループに対して、電源オン、電源オフ、再起動、ログオフなど、 電源制御の各操作を実行できます。

## Windows デバイスおよびグループの電源サイク ルのスケジューリング

[クライアント マネージャー] カテゴリーの [スケジューラー] タブでは、自動電源オンまたは オフ、および Windows デバイスまたはデバイス グループの再起動をスケジュール設定できます。

新しいスケジュールの追加

新しいスケジュールを追加するには、次の手順を実行します。

**1** [タスク] ドロップダウン メニューで [追加] をクリックし、[このスケジュール入力を有効 にする] オプションを有効にします。

<u>ک</u>	ンクライアントスケジ	ューラーのプロパティ	? ×
Г			
	🔽 このスケジューノ	ル入力を有効にする。(E)	
	アクション(A):	デバイスのオン	•
	ターゲット(T):	SEAN-PC	•
	開始(5):	25/06/2015	•
	時刻(I):	14:34:08	÷
	ሀピート(R):	毎週	•
	[捝明(D):		
		OK ¥	ャンセル

デバイスまたはグループのメンテナンス スケジュールの設定

- 2 [アクション] ドロップダウン メニューからアクションを選択します。次のアクションを選 択できます。
  - 1. デバイスのオン
  - 2. デバイスのログオフ
  - 3. デバイスのオフ
  - 4. デバイスのリブート
  - 5. デバイスグループのオン
  - 6. デバイスグループのログオフ
  - 7. デバイスグループのオフ
  - 8. デバイスグループのリブート
- **3** アクション オプションに基づいて、管理されたデバイスまたはグループを [ターゲット] ドロップダウン メニューから選択します。
- 4 アクションの開始日と開始時刻を [開始] および [時刻] オプションで指定します。
- 5 スケジュールを繰り返す場合は、[リピート] ドロップダウンメニューで頻度を指定します。 次のオプションがあります。
  - 1. 使用しない

- 2. 毎日
- 3. 毎週
- 4. 2 週間毎
- 5. 毎月
- 6. 毎年
- 6 スケジュールについてのわかりやすい説明名を [説明] 入力 フィールドに入力します。スケ ジュールの構成が完了したら、[OK] をクリックします。

スケジュールの管理

既存のスケジュールの変更

既存のスケジュールを変更するには、[スケジュール リスト] からスケジュール名を選択し、[タ スク] ドロップダウン メニューで [プロパティ] をクリックします。

スケジュールの有効化または無効化

無効になっているスケジュールを有効にするには、スケジュール名の横にあるチェックボックス を選択するか、スケジュールのプロパティで[このスケジュール入力を有効にする]オプション を選択します。スケジュールを無効にするには、このどちらかのオプションをオフにします。

スケジュールの実行

構成された時間まで待たずにスケジュールを実行するには、[スケジュール リスト] からスケジ ュール名を選択し、[タスク] ドロップダウン メニューで [実行してください] をクリックしま す。

スケジュールの削除

スケジュールを削除するには、スケジュール名を選択し、[タスク] ドロップダウン メニューで [削除] をクリックします。

## Parallels 2X RDP クライアント設定の管理

[ポリシー] カテゴリーで、ファーム内のサーバーに接続しているネットワーク上のすべてのユ ーザーを対象とする Parallels 2X RDP クライアント設定ポリシーを管理できます。Parallels 2X RDP クライアント ポリシーを追加すると、ユーザーをグループ化し、ポリシーに応じて異なる Parallels 2X RDP クライアント設定およびオプションをユーザーにプッシュできます。

🛣 Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
ごう ごう こう ひんしつ デスクトップ 既存のアプリケーション ドキュメント	
サイト2XRA5 👻	administrator@2x.testing 💌
★リシー          □ードバランス       ポリシー(P):         公開       パージョン         公開       1         ごパーサルプリント       ごのち         ごパーサルプリント       ごい         注意       1         クライアントマネージャー       アントマネージャー         パージョン       1         グライアントマネージャー       ・         ビー・ビー・       ・	クラゴリー       毎         技術プロパティ       A         技術プロパティ       A         接続プロパティ       A         接続プロパティ       A         接続プロパティ       A         接続プロパティ       A         技術プロパティ       A         レージンを管理できます。       シを管理できます。
	開じる(C) Apply Help

[ポリシー] カテゴリー

注意:このポリシーは、Windows (Windows CE および XP Embedded を含む) にインストールされた Parallels 2X RDP クライアントにのみ適用されますこのオプションを使用するのにデバイス ライセ ンスは必要ありません。

新しい Parallels 2X RDP クライアント ポリシーの追加

新しい Parallels 2X RDP クライアント ポリシーを追加するには、次の手順を実行します。

- **1** [ポリシー] カテゴリーに移動し、[タスク] ドロップダウン メニューで [追加] をクリック します。
- 2 [ポリシー名]を指定します。
- 3 [ユーザーとグループグループ] セクションで、[ブラウジング モード] ドロップダウン メニューからブラウジング モードを選択し、[追加] をクリックして、どのユーザーとグループにクライアント ポリシーを適用するかを指定します。注意:ブラウジング モードとして[セキュア識別子]を選択することをお勧めします。他のオプションは後方互換性を維持する場合にのみ使用してください。

(オプション)クライアント ポリシーの基準の構成

デフォルトでは、どのような場合も、構成されたユーザーとグループにクライアント ポリシー が適用されます。基準と一致する場合にのみポリシーを適用すように、基準を構成することがで きます。基準を使用すると、同じユーザーに対して複数のポリシーを作成し、ユーザーがどのデ バイスおよびどの場所から接続しているかに応じてポリシーを適用できます。新しい基準を作成 するには、次の手順を実行します。

- 1 [基準] タブをクリックします。
- [ゲートウェイ] セクションで、ユーザーが接続されているまたは接続されていないゲートウェイのリストを指定します。
- **3** [MAC アドレス] セクションで、リストに指定されているユーザーの MAC アドレスと一致するまたは一致しない MAC アドレスのリストを指定します。

接続プロパティおよびオプションの構成

**1** [接続プロパティ] ノードを選択し、Parallels 2X RDP クライアント ユーザーに対して、どのオプションを制限または適用するかを指定します。

**2** [オプション] ノードを選択し、Parallels 2X RDP クライアント ユーザーに対して、どのオ プションを制限または適用するかを指定します。

ボリシーのプロパティ				? ×
★リシーのプロパティ □ ● ● 接続プロパティ □ ● オブション	クライアント ポリシー   基 ポリシー ポリシー名(P): Ar ブラウジングモード(B): ユーザ WinNT://2X/tester10 WinNT://2X/tester10 WinNT://2X/tester10	準 Indroid WinNT (LDAPより速い、 クイブ 02 user 03 user 04 user	グループネスティング ② C SID	? × ■U) ▼ 9227 ▼
		OK	Cancel	Help

Parallels 2X RDP クライアントを管理するための 2X クライアント ポリシーの構成

2X Client、接続プロパティおよびオプションの詳細については、2X ドキュメント ページ (http://www.2x.com/support/ras-documentation/) で入手できる Parallels 2X RDP クライア ントのマニュアルを参照してください。

#### 第 16 章

### レポート

#### この章の内容

2X レポートの展開および構成	226
Parallels 2X RAS レポート	230

### 2X レポートの展開および構成

2X RAS を使用してレポートを生成するには、まず、MS SQL と 2X Reporting サービスをインス トールして構成する必要があります。これを行う前に、マシンが以下の前提条件に適合している かどうかを確認してください。確認が終了したら、インストールおよび構成プロセスに進みます。

#### 前提条件

#### 環境要件

- 1 Windows Server 2008、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012、または Windows Server 2012 R2 を実行しているマシン
- 2 ユーザー名 RASREPORTINGVIEW の Active Directory ユーザー。このユーザーを使用してレ ポートが表示されます。
- 3 Microsoft SQL Server 2008 SP1、Microsoft SQL Server 2008 R2 SP1、または Microsoft SQL Server 2012。Parallels 2X Remote Application Server を実行しているマシンと同じマシン、またはネットワーク内で実行されている異なるマシンにデータベース インスタンスがインストールされている必要があります。

SQL 構成要件

- 4 インストール済みの MS SQL Server 機能 (データベース エンジン サービス、レポート サ ービス、ネイティブの管理ツール)。
- 5 MS SQL の名前付きインスタンス: RASREPORTING、インスタンス ID: RASREPORTING
- 6 SQL Server 管理者(システム管理者(SA)、AD 管理者、システム ユーザー)。
- 7 8085 に設定された SSRS ポート

MS SQL のインストールおよび構成に関する推奨の詳細手順については、次のガイドを参照して ください。http://www.2x.com/support/ras/setting-up-reporting/ http://www.2x.com/support/ras/setting-up-reporting/

注意:複数のサーバー ファーム環境で実行するインストールの場合は、MS SQL を専用マシンに インストールすることをお勧めします。

Parallels 2X RAS レポートのインストール

2X RAS レポートをインストールするために必要な管理権限を持つアカウント(AD)を使用して、 MS SQL を実行しているマシンにログインします。

- **1** Parallels 2X RAS レポートの最新バージョンのセットアップを 2X のウェブサイト (http://www.2x.com/ras/downloadlinks/) からダウンロードします。
- **2** 2XRASReporting をダブルクリックして、インストール ウィザードを実行します。プロンプトが表示されたら [次へ] をクリックします。
- 3 エンド ユーザー使用許諾契約書を確認および承認して、[次へ]をクリックします。
- **4** 2X RAS のインストール先のフォルダーの場所を指定し、[次へ] をクリックします。
- 5 [インストール] をクリックして構成を確定し、インストールを開始します。 完了したら、[完了] をクリックします。

Parallels 2X Remote Application Server からのレポートの構成

レポートは Parallels 2X Remote Application Server Console から生成されます。レポートを 生成するには、レポート サービスと通信するように 2X RAS を構成する必要があります。



[管理] カテゴリーでのレポート設定

Parallels 2X Remote Application Server Console からのレポートを構成するには、[管理]>[2X Reporting] に移動します。[2X レポート作成機能を有効化]チェックボックスを有効にして、 レポートを有効にして、以下のオプションを構成します。

- サーバー レポート サービスのインストール先である SQL データベースをホストするマシンの IP アドレスを指定します。Mobile Device Management のインストール先と同じマシンにデータベースが配置されている場合、ローカルホストを使用することもできます。
- ポート 2X Reporting サービスとの通信で使用するポートを指定します。
- ユーザーにログイン情報の入力を求める レポートの生成時に AD 認証情報をユーザーに要求します。

• 次の資格情報を使用 - レポートを生成するたびに使用する AD ユーザー名とパスワードを指定します。

以上のオプションを構成した後、[テスト接続]をクリックして構成をテストし、[適用]をクリ ックして構成を確定します。

注意:デフォルト ユーザーは、インストール プロセス中に作成した RASREPORTINGVIEW です。ブラ ウザー権限を使用して、SSRS で代替ユーザーを構成する必要があります。

詳細設定

詳細設定では、管理者は、レポート サービスで収集したデータを詳細に調整したり、パージま でのデータの保持期間を定義したりできます。

詳細設定	? ×
「ビッンヨノ」作業版	
☑ 追跡を有効化(E)	
このオブションでは、サーバー上で開かれているセッションを追跡できます	
情報を次の期間保持 デフォルト	
サーバーカウンター情報	
✓ 追跡を有効化(T)	
このオブションでは、CPU、メモリ、セッション数といった、サーバーカウンターを追踪できます	
情報を次の期間保持 デフォルト	
変更が次の数字よりも多い場合に CPU カウンターを追跡 10 デフォルト	
変更が次の数字よりも多い場合にメモリカウンターを追跡 10 デフォルト	
OK キャンセル	

2X Reporting の詳細設定

レポートの詳細オプションにアクセスするには、[管理] > [報告] > [詳細] に移動します。ここで、以下のオプションを構成します。

- 1 [セッション情報] セクションで、以下のオプションを構成します。
- 追跡を有効化 セッション データが記録されます(「サーバー レポート」以外のすべての レポートに影響します)。
- 情報を次の期間保持 パージまでのセッション情報の保持期間を指定します
- 1 [サーバー カウンター情報] セクションで、以下のオプションを構成します。
- 追跡を有効化 サーバー カウンター データが記録されます(「サーバー レポート」のみ に影響します)。

- 情報を次の期間保持 パージまでのサーバー カウンター情報の保持期間を指定します。
- 変更が次の数字よりも多い場合に CPU/メモリ カウンターを追跡 データを記録するために 必要な CPU/メモリ リソースの最小使用率を設定します。

追跡オプションを無効にした後、データは収集されなくなりますが、それ以前に収集および保持 されていたデータは、以前の期間を対象として生成されるレポートに表示されます。

### Parallels 2X RAS レポート

アプリケーション使用率



アプリケーション使用レポート

Parallels 2X では、[レポート] カテゴリーから多くのレポートが提供されます。合計で 14 レ ポートあり、それらのレポートは次のように 5 つのグループに分けられます。

- 1 ユーザー レポート エンドユーザーが Parallels 2X RAS をどのように使用しているかを 把握するための情報が提供されます。
  - ユーザーアクティビティ システム内のすべてのユーザーが生成したすべてのセッションが示されます。レポートには各セッションの情報(アクティブ時間、アイドル時間、非接続時間など)が含まれます。
  - ユーザー セッション アクティビティ -1 つのユーザーが生成したすべてのセッション が示されます。レポートには各セッションの情報(アクティブ時間、アイドル時間、非接 続時間など)が含まれます。
  - 使用したデバイス(ユーザー別) ユーザーが使用しているデバイスの情報が示されます。レポートには、デバイスベンダー、デバイスモデル、合計使用時間などの情報が含まれます。

- 使用したクライアント オペレーティング システム (ユーザー別) 特定のユーザーが 使用しているオペレーティング システム (オペレーティング システム、合計使用時間な ど)が示されます。
- 2 グループ レポート ユーザー グループが Parallels 2X RAS をどのように使用しているか に関する情報が提供されます。
  - グループアクティビティ システム内のすべてのグループが生成したすべてのセッションが示されます。レポートには、アクティブ時間、アイドル時間、非接続時間などの情報が含まれます。
  - グループ セッション アクティビティ システム内の1 つのグループが生成したすべてのセッションが示されます。レポートには、グループ内の各ユーザーが生成した各セッションの情報(開始時間、終了時間、アクティブ時間、アイドル時間、非接続時間、合計時間など)が含まれます。
  - 使用したデバイス(グループ別) 特定のグループのメンバーであるユーザーが使用しているデバイスの情報が示されます。レポートには、デバイスベンダー、デバイスモデル、合計使用時間などの情報が含まれます。
  - 使用したクライアント オペレーティング システム (グループ別) 特定のグループの メンバーが使用しているオペレーティング システム (オペレーティング システム、合計 使用時間など)が示されます。
- **3** デバイス レポート Parallels 2X RAS に接続しているデバイスに関する情報が提供されます。
  - 使用したデバイス システムを使用しているすべてのデバイスが示されます。レポートには、製造元、モデル、デバイスで開かれたセッション数などの情報が含まれます。
  - 使用したクライアント オペレーティング システム システムを使用しているデバイス と、対応するオペレーティング システムが示されます。レポートには、デバイスモデル、 オペレーティング システム、デバイス数などの情報が含まれます。
  - 使用した 2X RDP バージョン RDP クライアントのバージョン、そのバージョンを使用 しているデバイス、そのデバイスが使用されている数が示されます。
- **4** サーバー レポート Parallels 2X RAS サーバー コンポーネントのアクティビティに関す る情報が提供されます。
  - サーバー上のセッションアクティビティ 特定のサーバーでのユーザーのセッションア クティビティが示されます。レポートには、開始時間、終了時間、アクティブ時間、アイ ドル時間、非接続時間などの情報が含まれます。
  - サーバー ヘルス(サーバー別) 特定のサーバーの CPU および RAM の使用状況がグラ フで示されます。
- 5 アプリケーション レポート Parallels 2X RAS とともに使用されたアプリケーションに関 する情報が提供されます。

アプリケーション使用率 - システム内で使用されたアプリケーションに関する情報が提供されます。レポートには、アプリケーション名、使用回数、アプリケーションの合計使用時間などの情報が含まれます。

**注意**:レポートを最初に表示するときに、信頼できるウェブサイトとして http://<サーバーのドメイン/IP>を追加するように要求される場合があります。これは、Parallels 2X RAS マシンの [Internet Explorer セキュリティ強化の構成] に基づいて表示されます。

レポート インターフェイス



レポート インターフェイス

レポート インターフェイスは便利なツールで構成されており、いくつかのセクションに分割されています。詳細について、以下で説明します。

- 1 グループ ノードを取り除き、下にあるレポート リストを更新します。
- 2 生成されたレポートはこのセクションのタブとして保持されます。タブをクリックすると、 生成されたレポートが表示されます。タブをキャンセルして、レポートを閉じることもでき ます。
- 3 青のボタンを押すと、レポートインターフェイスがフルスクリーンで表示されます。また、 タスクドロップダウンを使用して、レポートに対して次のアクションを適用できます。複製 する、フルスクリーンに切り替える、レポートを閉じる、その他のレポートを閉じる、右側 のレポートを閉じる、すべてのレポートを閉じる。
- 4 このセクションには、レポートの対象となる時間枠、チャートタイプなど、レポートに制約 を適用するために使用できる引数が表示されます。これらは、選択したレポートによって異 なります。

- 5 [レポートを表示] ボタンを押すと、セクション 4 で設定した、レポートを生成するうえでの制約が適用されます。
- **6** この矢印をクリックすると、セクション 4 と 5 が縮小されます。
- 7 このセクションでは、レポートの更新、レポートの印刷、データフィードへのデータのエク スポート、レポートの保存(XML、CSV、PDF MHTML、TIFF、Word のいずれかの形式)ができ ます。
- **8** この矢印をクリックすると、レポート リストが縮小されます。
- 9 このセクションには、新しいレポートのダイアログや、セクション2で選択した古いレポートが表示されます。

注意: Parallels 2X RAS レポートを使用するには、MS SQL とレポート サービスがインストー ルされて構成されている必要があります。

### 第 17 章

# 接続および認証の設定

### この章の内容

2X Publishing Agent の接続設定	235
二要素認証	237
OS ビルド番号によるアクセスの制限 2	238

## 2X Publishing Agent の接続設定

2X Publishing Agent の接続設定には、システム メニューにある [接続] カテゴリーからアク セスします。

arallels 2X Remote Application Server Console	_ 🗆 🗙
ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ こ	
サイト2XRAS 👻	administrator@2x.testing 💌
	- î) #±#8
	このページでは、Active Directoryの構造によって、認 証のオプションを構成設定で きます。
<ul> <li>○ 信頼性のある全ドメイン(L)</li> <li>公開</li> <li>▽ 指定されたクライアントドメインを使用(C)</li> <li>□ トニ (T) ト(C) (C)</li> </ul>	ドメインの代わりに、Windows のWorkgroupの構成設定を することもできます。
設定が、すべてのサイトに複製されました。	
	S(C) Apply Help

Publishing Agent の認証設定の構成

#### 認証の適用

デフォルトでは、ユーザーは公開済みのアプリケーションまたはデスクトップにアクセスする前 に、必ず Parallels 2X Remote Application Server に対して接続を認証する必要があります。 この要件を無効にするには、[確認証明] タブにある [アプリケーションリストに対してユーザ ーの信頼性チェックを毎回ログオン時にする] オプションを無効にします。 認証の構成

認証を構成したら、特定のドメインに対してユーザーを認証するように Parallels 2X Remote Application Server を構成することもできます。そのためには、ドメイン名を [ドメイン]入 カフィールドに入力します。または、[参照] ボタンを使用して、ネットワーク上で利用できる ドメインまたはワークグループを選択します。

**注意**:[指定されたクライアント ドメインを使用] オプションを無効にすると、管理者が指定したド メイン名が Parallels 2X Client に自動的に読み込まれます。

推奨:ドメイン名の変更や、その他の認証関連の変更を行った後は、[セッション ID のキャッシュを削除する] ボタンをクリックしてください。

クライアントに NetBIOS 資格情報の使用を強制する

このオプションを有効にすると、Parallels 2X Client はユーザー名を NetBIOS ユーザー名で 置き換えます。

セッション アイドルの宣言までの時間

このオプションはレポート統計に影響します。これにより、指定した時間アクティビティがない場合、セッションはアイドル状態として宣言されます。

キャッシュ セッション タイムアウト

セッションをキャッシュしている時間を指定します(時間が長いほど AD トランザクションが少なくなります)。

複数のドメインに対する認証

Parallels 2X Remote Application Server に接続するユーザーがフォレスト内の異なるドメインに保存されている場合、[信頼性のある全ドメイン] オプションを選択します。

ドメイン ユーザー以外に対する認証

スタンドアロン マシンで指定されたユーザーに対してユーザー セッションを認証するには、ド メイン名の代わりに [ワークグループ名] / [マシン名] を入力する必要があります。ワークグ ループ WORKGROUP のメンバーである SERVER1 と呼ばれるマシン上のローカル ユーザーのリス トに対してユーザーを認証する場合、ドメイン フィールドには次のように入力します。 WORKGROUP/SERVER1

### 二要素認証

二要素認証を構成することで、セキュリティを許可することができます。

メカニズム

ユーザーはネットワークにアクセスするのに連続する 2 つのステージを経て認証する必要があ ります。第 1 レベルの認証はネイティブ認証(Active Directory/LDAP)を使用しますが、第 2 レベルの認証では、次のいずれかを使用できます。

- Dualshield 認証プラットフォーム
- Safenet サーバー
- Radius サーバー

第2レベルの認証は第1レベルの認証と比べてより強固なセキュリティを提供します。第2レ ベルの認証では、標準のユーザー名とパスワードを使用する代わりに、静的ユーザー名と、トー クンによって生成された一時パスワードを使用します。

二要素認証は、[接続]カテゴリーの[二要素認証]タブで構成できます。

DualShield 認証サーバーの構成

DualShield と Parallels 2X Remote Application Server の統合を構成する方法については、 二要素認証に関するページ (リンク)

(http://www.2x.com/support/ras-documentation/second-level-authentication/) で「Implementing Dualshield (Dualshield の実装)」を参照してください。

Safenet サーバーの構成

Safenet 認証サーバーと Parallels 2X Remote Application Server の統合を構成する方法については、二要素認証に関するページ(リンク)

(http://www.2x.com/support/ras-documentation/second-level-authentication/)で「Working with Safenet (Safenet を使用する)」を参照してください。

Radius サーバーの構成

Radius サーバーと Parallels 2X Remote Application Server の統合を構成する方法について は、二要素認証に関するページ(リンク)

(http://www.2x.com/support/ras-documentation/second-level-authentication/)で「Working with Radius (Radius を使用する)」を参照してください。

## OS ビルド番号によるアクセスの制限

[接続] カテゴリー > [許可されたデバイス] タブで、システムへのアクセスのために実行して いる必要があるクライアント ソフトウェアのバージョンを構成できます。このルールを制限す るには、[これらのクライアントのみからの接続を許可] オプションを有効にします。

る Parallels 2X Remote の ファイル(F) 表示(V) 言語	Application Server Console (L) ヘルプ(H)			
E I	ごろうしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう	لاید الالد		
サイト2XRAS 👻				administrator@2x.testing 💌
77-L	確認証明 二要素認証 許可されたう モード: 選択したクライアントのみに	デバイス   システムへの接続を許可		・
ロードバランス 公開 ユニバーサルプリント	クライアント ✓ Windows クライアント ✓ RAS Web Portal ✓ Java クライアント ✓ Android クライアント ✓ IOS クライアント		●         タスク ▼           最小ビルド         ▲           508         ▲           527         ▲           1188         ↓           1188         ↓	ロビアクビスビョンクイアンド のタイプとバージョンを構成で きます。 Parallels 2X RDP クライアント の最新バージョンを持たない ユーザーのアクセスを管理者 が拒否する場合があります。
ユニバーサルスキャン 王三バーサルスキャン 接続			1188 827 827 827 827 827	
クライアントマネージ	 設定が、す 	べてのサイトに複製されました。	✓ 設定を複製する(R)	
				a(C) Apply Help

[接続] カテゴリー - [許可されたデバイス] の設定

特定のクライアントを有効または無効にするには、その名前の横にあるチェックボックスをオン またはオフにします。ビルド番号を変更するには、リストでクライアント名を選択し、[タスク] ドロップダウン メニューから [編集] を選択します。 このオプションを有効にすると、クライアント ソフトウェアのビルド番号が確認されます。ビルド番号が構成済みのビルド番号よりも低い場合、クライアントにエラーが表示されます(以下のスクリーンショットを参照)。



構成済みのビルドよりも古いビルドを使用した場合にクライアントに表示されるエラー

### 第 18 章

# 2X Remote Application Server の管理

### この章の内容

Parallels 2X Remote Application Server のステイタス	241
モニタリング カウンターおよび電子メール アラートの構成	242
Parallels 2X Remote Application Server の構成変更のモニタリング	245
ログの構成	247
Parallels 2X Remote Application Server の維持および構成のバックアップ	251

# Parallels 2X Remote Application Server のス テイタス

Parallels 2X Remote Application Server に備えられているいくつかの機能を使用して、ファ ーム上のアクティビティをモニタリングしたり、システム通知や他のいくつかのオプションを構 成したりできます。

📅 Parallels 2X Remo ファイル(F) 表示(V)	o <mark>te Applica</mark> 言語(L) へ	ation Server Consol ルプ(H)	e						
三つ II アプリケーション グル	🧿 📕	<b>し</b> う 王 クトップ 既存のアプリ・	ן 🔒 🔓						
サイト2XRAS 👻								administrator@2×	testing 🔻
二二パーサルプリント		りル情報 サイト情報	₩~ <b>ト</b>						
	, .	Date & Time: - <b>Servers</b>	Thu	Jun 25 1	4:34:39 20	15			
		ID Server	Туре	Agent	CPU	Memory	Active Sessions	Disconnected Sessions	
接硫		3 10.124.4.20	RDP	ОK	39%	50%	1	0	
		5 10.124.4.19	RDP	OK	7%	39%	0	0	
カニノマントマウィンジャ		2 2xras2008R2	VDI	Not Verif	ied				
001/054/258	-	1 2XRAS2008	Gateway	ок	51%	51%			
		O active connectio	n(s)						
ポリシー									
		- 2X Secure (	Client Gatewa	y on 2)	(RAS20	008			
0		Microsoft Window	s Server 2008 R2 S	tandard E	dition (WO	W 64)			
管理									<b>_</b>
		Vereien		1.4	1.76-014-03	041			
		更新(R) りりッフ	パボードヘコピー(C)						
							閉じる(		Help

[サイト情報] タブ

[情報] カテゴリーの [ローカル情報] タブでは、ログオンしているサーバーで実行されている Parallels 2X Remote Application Server サービスの概要を確認できます。また、[サイト情報] タブでは、ログオンしているサイト上のサーバーやセッションなどの概要を確認できます。さら に、[サポート] タブには連絡先情報が表示されており、サポート リクエストをコンソールから 直接送信することもできます。

# モニタリング カウンターおよび電子メール ア ラートの構成

モニタリング カウンターの構成

[管理] カテゴリーの [通知] タブでは、各種通知カウンターの有効化と無効化ができるほか、 カウンターがトリガーされたときに管理者にメールでアラートを送信するようにカウンターを 構成できます。これらの設定は、ファーム内のすべてのサーバーに適用されます。構成できるモ ニタリングのタイプは、次のとおりです。

- サーバーの CPU 使用率が、構成された値よりも高い
- サーバーのメモリ使用率が、構成された値よりも高い
- サーバーに接続されているセッション数が、構成された値よりも多い
- 接続解除されたセッション数が、構成された値よりも多い

• 2X Terminal Server Agent がファームから接続解除された、またはファームに再接続した

器 Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
🖅 🔽 🦾 📑 📑 アプリケーション ドキュメント	
サイト2XRA5 👻	administrator@2x.testing 🔻
<ul> <li>管理 メールボックス設定 招待状の送信 通知 レポート バックアップ ソフトウェアアップデー</li> <li>公開</li> <li>通知条件</li> <li>② ③ タスク ▼</li> <li>イベント</li> <li>パラメーター</li> <li>イベント</li> <li>パウメーター</li> <li>イベント</li> <li>イベント</li> <li>パウメーター</li> <li>イベント</li> <li>ジロ(使用)警告値</li> <li>90</li> <li>セッション数の警告値</li> <li>500</li> <li>オモリ(使用の警告値</li> <li>500</li> <li>オモリ(使用の警告値</li> <li>500</li> <li>マンターミナルサーバー エージェント が接続解解除されたが再</li> </ul>	<ul> <li>ト 設定監査 CEP</li> <li>シ 情報</li> <li>このページで、システム管理 者に通知すべきイベントの設定をすることができます。</li> <li>メールボックスの設定が正しく されていることを確認して下さい。</li> <li>各管理者は、これらの通知の 受信を選択することができます。</li> </ul>
通知間隔(N): 60 🔄 分	
開じ	δ(⊆) <u>A</u> pply Help

モニタリング カウンターの構成

メールを介してシステム通知を行うように SMTP サーバー接続を構成する

モニタリング カウンターの構成が終了したら、[メールボックス設定] タブで SMTP サーバー接続の詳細を構成し、モニタリング カウンターがトリガーされたときにシステムがメールを送信 できるようにする必要があります。サーバーからメールを送信できるようにするには、[メール ボックス設定] タブで次の設定を構成する必要があります。

- 送信者のメール アドレス
- SMTP サーバーの IP または FQDN
- TLS / SSL 暗号化通信の無効化または有効化

• SMTP サーバーが認証を要求する場合の SMTP サーバーの認証情報

Parallels 2X Remote Application Server Console       ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
Parallels 2X Remote Application Server Console          ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)            Pフリケーション グルーブ デスクトップ 既存のアプリケーション ドキュメント          サイト2XRAS ▼            administrator@2x.testing             公開	▼ 
ポリシー デストメール送信	
問じる(C) Apply He	:lp

通知のための SMTP サーバーの構成

上の例では、gmail アカウントが構成されています。SMTP サーバー接続の構成が完了すると、 システム通知をメール経由で受信するように構成された管理者アカウントは、モニタリング カ ウンターがトリガーされた(サーバーの CPU 使用率が高いなど)ときにアラートを受け取りま す。管理者のアカウント通知オプションを構成するには、「管理者アカウントの追加」(ペー ジ)を参照してください。

#### 通知間隔の構成

デフォルトでは、ステイタスが変わらない限り、通知は 60 分おきに送信されます。[通知] タ ブの下部にある [通知間隔] オプションを使用して、これよりも長いまたは短い時間枠を構成で きます。

# Parallels 2X Remote Application Server の構 成変更のモニタリング

[管理] カテゴリーの [設定監査] タブでは、あらゆる Parallels 2X Remote Application Server 管理者から加えられた、Parallels 2X Remote Application Server 構成のすべての変更を確認 できます(以下のスクリーンショットを参照)。

Parallels 2X Remote Ap ァイル(F) 表示(V) 言語(L	p <mark>lication Server Consol</mark> .) ヘルプ(H)	e					
	Lo Etteration						
ックククージョン クルーン サイト2XRAS ▼	テスクトップ 5314のアプリ	א עפערי	*13.75				administrator@2x.testing 💌
		(	- (			^	. =1.005000
	管理   メールホックス設定	招待状の送1	言  週知   レボー	ト バックアップ :	ソフトワェ	アアップデー	·ト 該定監査   CEP
公開	設定監査:					タスク 👻	(1) 情報
🗕 📗	日付	セッション	ユーザー名	アクション	ID	#1▲	このページア(† Davallak 2V
ユニバーサルプリント	06/25/15 14:22:44	405914	Administrator	スイッチサイト	#2	#1	Remote Application Server@
	06/25/15 14:22:44	405914	Administrator	ログイン済み	#2	グロ	設定変更の監査を表示しま
22	06/25/15 14:10:07	353438	Administrator	ロクオフ	#2	#1	20
フェバーサルスキャン	06/25/15 12:42:09	353438	Administrator	スイッナサイト	#2	#1	変更を行ったユーザーの操作が
	06/25/15 12:42:09	353438	Administrator	ロジオン済み	#2	20	記録されています。
	06/25/15 12:38:22	283092	Administrator	ロクオノ	#2	#1	
按结	06/25/15 12:17:36	283092	Administrator	スキッチサキト	#2	#1	
150026	06/25/15 12:17:36	283092	Administrator	ロジキン済め	#2	20	
	06/25/15 12:17:03	216834	Administrator	山クオノ 法国された認定	#2	#1	
	06/25/15 12:17:02	216834	Administrator	週用されに設定	#2	#1	
リライアントマネーンヤー	06/25/15 12:13:55	216834	Administrator	スイッナサイト	#2	#1	
	06/25/15 12:13:55	216834	Administrator	ロクイン済み	#2	20	
	06/25/15 11:06:20	136224	Administrator	ロクオノ	#2	#1	
ポリシー	06/25/15 10:56:59	136224	Administrator	人イッチサイト	#2	#1	
	06/25/15 10:56:59	136224	Administrator	ロクイン済み	#2	20	
197 I	4	211002		a na	* 1		
管理							
						閉じ	ිති(⊆) <u>A</u> pply Help

[設定監査] タブに一覧表示された構成変更

監査エントリーをダブルクリックすると、構成変更のすべての詳細が表示されます(以下のスク リーンショットを参照)。

ントリーの監査					? ×
事前データ(D):				A	アップ ダウン
	4			<b>▼</b>	
事後データ(A):					
名前(N):		セッションID(5):	405914		
ユーザー名(U):	Administrator@2X	アクション(C):	スイッチサイト		
ログオン(L):	06/25/15 14:22:44	ID:	1353		
タイプ(T):	Adminセッション	サイト(E):	#1 (2XRAS)		問題

監査エントリーの詳細

Parallels 2X Remote Application Server Console の構成変更通知

ログインしている管理者がファーム内で構成変更を適用すると、そのたびに通知メッセージが Parallels 2X Remote Application Server Console の左下に表示されます。これにより、ログ インしている他のすべての管理者に注意が喚起されます。以下のスクリーンショットで強調され ている部分が構成変更通知です。

🛣 Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)			
	الله المركز الرلاد الجام		
サイト2XRAS 👻			administrator@2x.testing 🔻
Tr - L     Tr -	ファーム情報 ファーム名: 2XRA52008		77~丛名の変更(C)
	ታ/ኑ 2XRA5	メインのPublishing Agent 2XRA52008	<ul> <li>              タスク ▼      </li> <li>             プライオリティ         </li> </ul> <li>             プライオリティ         </li> <li>             プライオリティ         </li> <li>             プライセンスサーバーサイト…             の             こ         </li>
	Site 2	10.124.4.19	ቲክンダリー サイト 🧥 🤉
<u>こ</u> ユニバーサルスキャン			
接続	•		
	削除、またはファーム名の変更が	できます。	
システム 作成済 デバイス #30: 'SEANBIANCO-LPT' オン 06/02/15	13:41:05.		
		閉じ	න්(C) Apply Help

構成変更通知

### ログの構成

Parallels 2X Remote Application Server では、ログはデフォルトで無効になっています。[フ ァーム] カテゴリーの、サイトの [設定] ノードから、サイトごとのログを構成できます。 Parallels 2X Remote Application Server の監査ログ

はじめに

監査ログには、開いているセッション、および各セッションの合計時間に関する情報が含まれま す。監査ログは、サイトの[設定]ノードの[監査]タブで構成できます。

Parallels 2X Remote Application Server Console ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
	↓ ドキュメント administrator@2x.testing ▼
アーム       マアーム       - 2XRA52008         ファーム       サイト - 2XRA5         ロードバランス       ダーキナルサーバー         公開       サートウェイ         ユニバーサルプリント       デー         液焼       野田         クライアントマネージー       「情報 このセクションでは、サイト固有の設定を行	ガローバル ロギング URUJダイレクト     (次のプロセスのフィルタリング(E):         ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・  ・
	開じる( <u>C</u> ) <u>Apply</u> Help

サイトごとの監査ログの構成

監査ログファイルに表示しないプロセスの定義

[プロセス] リストの下に表示されているプロセスは、[監査を表示する] をクリックしたときに 生成される監査ログファイルに表示されません。[タスク] ドロップダウンを使用して、リスト からプロセスの追加、編集、削除ができます。また、デフォルトのリスト アイテムを復元する こともできます。

監査ログの有効化

サイトで監査ログを有効にするには、[監査] ドロップダウン メニューから [有効] を選択します。

Parallels 2X Remote Application Server の監査ログへのアクセス

監査ログファイルにアクセスするには、[監査]タブで[監査を表示する]ボタンをクリックし、 2X Monitor を起動します。

Parallels 2X Remote Application Server の監査ログ ファイルの管理

ログファイルをクリアするには、[監査ファイルをクリア] ボタンをクリックします。また、[ロ グファイルのバックアップ] ドロップダウン メニューからバックアップ サイクルを選択し、 ログファイルのバックアップを構成することもできます。

注意:バックアップ ログ ファイルは、他のログ ファイルと同じディレクトリに保存されます。 バックアップ ログ ファイルは、2X Monitor アプリケーションの [バックアップ] ノードから 表示できます。

Parallels 2X Remote Application Server のログ (サーバー別)

Parallels 2X Remote Application Server のログは、2X サポート部門が問題のトラブルシュー ティングを行うために使用します。したがって、指示があった場合にのみ、これを有効にする必要があります。

ログの有効化(サーバー別)

特定のサーバーのログを有効にするには、[ファーム] カテゴリーからサーバーを選択し、[タス ク] ドロップダウン メニューから [ロギングの有効化] を選択します。

サーバーのログの表示

特定のサーバーのログファイルを表示するには、[ファーム] カテゴリーからサーバーを選択し、 [タスク] ドロップダウン メニューから [ログの収集] を選択します。

サーバーのログ ファイルのクリア

サーバーのログファイルをクリアするには、[ファーム] カテゴリーからサーバーを選択し、[タ スク] ドロップダウン メニューから [ログ ファイル クリア] を選択します。

Parallels 2X Remote Application Server のログ (サイト別)

サイト内のすべてのサーバーを対象として、ログをグローバルに有効化、無効化、管理すること もできます。サイトのログファイルは、サイトの[設定]ノードの[グローバル ロギング]タ ブでグローバルに管理できます。 注意:2X サポートに問題を報告する場合、ログ ファイルを準備し、サポート リクエストとと もに送信することをお勧めします。ログ ファイルを準備するには、次の手順を実行します。

- 1 [グローバル ロギング] タブに移動します
- 2 すべてのログをクリアします
- 3 問題を再現します
- 4 すべてのログを停止します
- 5 ログ ファイルを取得します
- 6 生成したファイルをサポート リクエストに添付します

各サーバーでログの開始、ログの停止、すべてのログのクリアを行うには、[動作] セクション で該当のボタンをクリックします。サーバーのすべてのログ ファイルが含まれる zip ファイル を生成するには、[すべてのログを回収] をクリックします。

🛣 Parallels 2X Remote Application Server Console	
ファイル(F) 表示(V) 言語(L) ヘルプ(H)	
E 10 この E 10 E 1	ב אלעביליז ע אלעביליו ביינור ביינו
サ1 h2xRAS	administrator@2x.testing 🔻
アァーム       ファーム - 2XRA52008         アァーム       サイト - 2XRA5         ロードバランス       マートウェイ         ロードバランス       リモートPC         ごごバーサルブリント       デー・ウェイ         ユニバーサルスキャン       設定         技統       レロートロ	監査 グローバル ロギング URLUダイレクト) 動作
	目を管理できます。
	開じる(C) Apply Help

サーバーのログの表示

# Parallels 2X Remote Application Server の維 持および構成のバックアップ

Parallels 2X Remote Application Server を最新の状態に保つ

デフォルトでは、Parallels 2X Remote Application Server は、Parallels 2X Remote Application Server Console が起動されるたびにアップデートがないかどうかを確認します。この機能を無効にするには、[管理]カテゴリーの[ソフトウェア アップデート]タブで [Parallels 2X Remote Application Server の立上げ時にアップデートのチェックをします]オプションを無効にします。

また、[ソフトウェア アップデート] タブの [すぐにチェック] ボタンをクリックして、アップ デートがないかどうかを手動で確認することもできます。

同じ [ソフトウェア アップデート] タブで、Parallels 2X Remote Application Server で使用 されているモジュールの読み取り専用リストも利用できます。2X サポート チームからこの情報 を参照するように指示されない限り、この情報を参照する必要はありません。

Parallels 2X Remote Application Server 構成のバックアップ

Parallels 2X Remote Application Server のファーム構成をバックアップするには、[管理] カ テゴリーに移動し、[バックアップ] タブで [エクスポート] をクリックします。

**注意**: Parallels 2X Remote Application Server 構成のバックアップには、実際の構成のみが含まれ ます。ダウンロードされた OS など、関連する構成オブジェクトはバックアップに含まれません。

構成を復元するには、[インポート] ボタンをクリックし、バックアップファイルに移動します。
# 第 19 章

# 追加情報

### この章の内容

トラブルシューティングおよびサポート	1
VDI Agent 技術文書インデックス	3
前のバージョンの文書	4

# トラブルシューティングおよびサポート

#### はじめに

このトラブルシューティングの章では、可能性のある問題をどのように解決するかについて説明 します。ユーザーが利用できる主な情報ソースは次のとおりです。

マニュアル - マニュアルを読み、参照することで多くの問題を解決できます。

Parallels 2X サポート サイト (http://www.2x.com/support/) - Parallels 2X ウェブサイト からアクセスできます。ナレッジ ベースとよくある質問 (FAQ) が含まれます。

メール (support@2x. com) による 2X サポート部門へのお問い合わせ

電話による当社のサポート部門へのお問い合わせ。連絡先の詳細については、Parallels 2X の 連絡先に関するページ(http://www.2x.com/company/contact/)を参照してください。

#### ナレッジベース

Parallels 2X はナレッジ ベースを管理しています。これには、最もよく問い合わせのあった問題に対する回答が含まれます。問題が発生した場合は、まずナレッジベースを参照してください。 ナレッジベースは継続的に更新されており、サポートに関する最新の質問とパッチが掲載されています。

ナレッジベースを参照するには、http://www.2x.com/support/ にアクセスしてください。

メールによるリクエストのサポート

ナレッジベースを使用し、このマニュアルを参照しても問題を解決できない場合は、2X サポー ト部門にお問い合わせください。

あらゆる参照資料と問題の例を添付して、メールで当社にお問い合わせください。これにより、 問題を迅速かつ効率的に解決できます。

いくつかの情報を収集していただくようお客様にお願いすることがあります。また、お客さまに いくつかの質問をする場合もあります。これらの質問には時間をとって正確に答えていただくよ うお願いします。適切な情報なしに問題を診断することはできません。

当社はお客様の問い合わせに対して、お客様のタイム ゾーンに応じて 24 時間以内に回答いた します。

電話によるリクエストのサポート

Parallels 2X のテクニカル サポートに電話で問い合わせることもできます。当社のサポート ウェブサイトで適切な連絡先番号を確認してください。地域や営業時間によって番号は異なります。

Parallels 2X について

Parallels によって買収された 2X Software 社は、バーチャル アプリケーションとモバイル デ バイスの管理ソリューションにおいて世界をリードする企業です。世界中の数千もの組織が 2X 製品の信頼性と拡張性に信頼を置いています。2X は Parallels と連携し、さまざまなソリュー ションを提供し、クラウド コンピューティングへのシフトをすべての組織が容易に手ごろな価 格で実現できるようにします。2X Software 社の製品は、ローカル、プライベート データ セン ター、クラウドのどの場所からでも、企業や個々のお客様がシンプルでコスト効率のよい方法で アプリケーションを使用できるようにすることで、複雑なエンジニアリングとユーザー操作に関 する問題を解決します。





# VDI Agent 技術文書インデックス

#### Citrix XenServer

- 1 Parallels Remote Application Server のために Citrix XenServer を用意する http://www.2x.com/support/ras-documentation/vdi-agent-technology/prepare-citrix-xe nserver/
- 2 Parallels Remote Application Server を構成して Citrix XenServer ゲストを使う http://www.2x.com/support/ras-documentation/vdi-agent-technology/xenserver-guests/
- 3 Parallels 2X RDP クライアントを Citrix XenServer と使う http://www.2x.com/support/ras-documentation/vdi-agent-technology/2x-client-with-ci trix/

#### Microsoft Hyper-V

- 1 Parallels Remote Application Server のために Hyper-V を用意する http://www.2x.com/support/ras-documentation/vdi-agent-technology/preparing-hyper-v /
- 2 Parallels Remote Application Server を構成して Hyper-V ゲストを使う http://www.2x.com/support/ras-documentation/vdi-agent-technology/hyper-v-guests/
- 3 Parallels 2X RDP クライアントを Hyper-V と使う http://www.2x.com/support/ras-documentation/vdi-agent-technology/2x-client-with-hy per-v/

#### VMWare vSphere

- 1 Parallels Remote Application Server のために VMware vSphere を用意する http://www.2x.com/support/ras-documentation/second-level-authentication/preparingvmware-esxi/
- 2 Parallels Remote Application Server を構成して VMware vSphere ゲストを使う http://www.2x.com/support/ras-documentation/vdi-agent-technology/use-esxi-guest/
- 3 Parallels 2X RDP クライアントを VMware vSphere と使う http://www.2x.com/support/ras-documentation/vdi-agent-technology/use-esxi-guests/

# 前のバージョンの文書

Parallels 2X Remote Application Server

# 英語

- Parallels 2X Remote Application Server v14 マニュアル (http://www.2x.com/doc/en/manuals/pdf/2xremoteapplicationservermanual\_v14.pdf)
- Parallels 2X Remote Application Server v12 マニュアル http://www.2x.com/doc/en/manuals/pdf/2xremoteapplicationservermanual\_v12.pdf
- Parallels 2X Remote Application Server v11 マニュアル http://www.2x.com/doc/en/manuals/pdf/2XApplicationServerXGV11.pdf

# ドイツ語

- Parallels 2X Remote Application Server v14 マニュアル (http://www.2x.com/doc/de/manuals/pdf/2xremoteapplicationservermanual\_v14.pdf)
- Parallels 2X Remote Application Server v12 マニュアル http://www.2x.com/doc/de/manuals/pdf/2xremoteapplicationservermanual\_v12.pdf
- Parallels 2X Remote Application Server v11 マニュアル http://www.2x.com/downloads/docs/de/manuals/pdf/2XApplicationServerXGV11.pdf

# スペイン語

 Parallels 2X Remote Application Server v11 マニュアル http://www.2x.com/downloads/docs/es/manuals/pdf/2XApplicationServerXGV11.pdf

# フランス語

 Parallels 2X Remote Application Server v11 マニュアル http://www.2x.com/downloads/docs/fr/manuals/pdf/2XApplicationServerXGV11.pdf

# イタリア語

 Parallels 2X Remote Application Server v11 マニュアル http://www.2x.com/downloads/docs/it/manuals/pdf/2XApplicationServerXGV11.pdf

# ロシア語

 Parallels 2X Remote Application Server v11 マニュアル http://www.2x.com/downloads/docs/ru/manuals/pdf/2XApplicationServerXGV11.pdf < 現在のバージョンの文書に戻る (http://www.2x.com/Learn/documentation/)